

凌 霜

444



「追 憶」

年頭にあって……………	大坪 清…	1
神戸大学とのご縁……………	安永 祐司…	22
神戸大学学生震災救援隊の活動に参加して……………	西谷 彩香…	42



パッケージには、 使命がある。

これは、とある段ボール箱の物語。

「お届けものでーす」

玄関先に出た女性が配達員から箱を受け取った。差出人に気づき、顔がパツと明るくなる。今年、就職で上京した息子からだ。急いで中身を確認しようとしたが、慌てたのがよくなかった。玄関の段差でつまずき、放り投げられた箱はドスンと大きな音を立てて床に落ちた。箱を見ると、角が大きく凹んでしまっている。

率直に言って、その姿は不格好だった。だが箱は、自分の姿を嘆くところか、むしろ誇りに思っていた。この凹みは、落下時の衝撃を吸収し、大切な贈り物を守り抜いた証だった。

暮らしをつつみ、明日をひらく。

パッケージのレンゴー



動画はこちら



私たちは、安心かつ快適な暮らしやビジネスの基盤づくりを通じて、
お客さまと街、社会全体の明るい未来の実現に貢献します。

関電不動産開発

事業内容

分譲住宅事業

永住品質の住まいを提供
マンション、戸建住宅、宅地の開発 / 販売

不動産ファンド事業

投資家のニーズに合致した
多彩な不動産ファンドの企画・運用

賃貸住宅事業

幅広いライフスタイルに
柔軟に対応する賃貸マンション

不動産ソリューション事業

お客さまのあらゆるニーズに
総合力で応えるソリューション事業

賃貸ビル事業

ビジネスの明日を見据えた
オフィスづくり

海外事業

住宅開発事業、収益不動産事業などの
海外における事業展開

賃貸施設事業

地域のニーズにお応えする商業施設

関連事業

・ミネラルウォーター事業
・グリーンソリューション事業

グループ会社 ・ 関電ファシリティーズ ・ 関電コミュニティ ・ 関電アメニックス ・ 関電不動産投資顧問 ・ 関電アセットマネジメント



人に、街に、明るい未来を

関電不動産開発

〒530-0005 大阪市北区中之島3丁目3番23号
(中之島ダイビル内) TEL.06-6446-8821(代表)

<https://www.kanden-rd.co.jp/>

関電不動産開発



ヴィッセル神戸は2025年に 創設30周年を迎えます

これからも神戸とトモニ



VISSEL KOBÉ

Kobe will go forward forever. Let's move on up together.
Whatever happens, we will overcome. Live the dream.

公式SNSをフォローしてヴィッセル神戸を応援しよう！

ここでしか見られないヴィッセル神戸のコンテンツを日々更新中



@visselkobe



@visselkobe



@visselkobe



@VISSELKOBÉ



@visselkobe_official



www.vissel-kobe.co.jp

2024年12月1日から運用開始

会員システムが新しくなりました

ご利用ページが2種類あります

ホームページからご利用いただけるサービスです

1. 会員マイページ

2. 凌霜会会員専用ページ

ページのご利用には

それぞれの新しいログイン情報（IDとパスワード）が必要です



1. 会員マイページ

会員情報のご登録確認・更新
パスワード変更
会員名簿の閲覧
(公開されている会員のみ)



2. 会員専用ページ

動画の閲覧
(講演会・就活など)
会誌「凌霜」e-book閲覧
2024年度ログイン情報
ID: ryosokai パスワード: 652024

新ログイン情報はメール、お電話またはフォームでお問い合わせください

一般社団法人 凌霜会

所在地: 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

神戸大学 三木記念同窓会館

サイト: www.ryosokai.net/wp

電話: 078-805-3833・3834



東京六甲クラブ移転のお知らせ

2025年 1 月吉日

東京六甲クラブ 理事長 番 尚志

帝劇ビル建替えに伴い、下記の「有楽町電気ビル」に移転します。

場 所：東京都千代田区有楽町一丁目7番1号 有楽町電気ビル南館 地下1階

広 さ：約36坪（現状の6割程度）

時 期：2025年 3 月 3 日(月)予定、帝劇ビル利用は1月末終了

電話番号・メールアドレス：現在と同じ

03-3211-2916 tokyo@rokko-club.jp

1966年10月に東京凌霜クラブとして帝劇ビル5階出光興産内で発足し、1970年12月に現在の帝劇ビル地下2階に移転、2011年4月には一般社団法人神戸大学東京六甲クラブとして新たに設立登記しました。60年に亘り当地で活動してまいりましたが、帝劇ビルの建替えに伴い有楽町電気ビルに移転します。

神戸大学卒業生の関東における唯一の活動拠点として当クラブは貴重な存在です。皆様に少しでも役に立てるような活動を続けたくと思っています。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

以 上



謹 賀 新 年

凌霜C P A会有志一同

高谷 晋介 (昭 49 経)	東 誠一郎 (昭 50 営)
後藤 研了 (昭 55 営)	増田 明彦 (昭 56 営)
高田 篤 (昭 62 経)	高濱 滋 (昭 62 営)
石田 博信 (昭 63 営)	西野 裕久 (平 元 営)
安井 一浩 (平 元 営)	田邊 太郎 (平 4 営)

凌霜C P A会は公認会計士、公認会計士試験合格者等で構成される神戸大学の同窓会です。

謹 賀 新 年

凌霜法曹会有志一同

中嶋 進治 (昭 52 法)	金井美智子 (昭 59 法)
張 界満 (平 7 法)	中嶋 勝規 (平 8 法)
本元 宏和 (平 9 法)	伊藤 芳晃 (平 10 法)
藤原 孝洋 (平 10 法)	杵山 栄理 (平 11 法)
小島豊一郎 (平 12 営)	藪内 俊輔 (平13法、平14法修)

凌霜法曹会は、神戸大学・神戸大学法科大学院を卒業・修了した法曹有資格者を中心として構成される同窓団体です。活動、行事等については、凌霜法曹会のウェブサイト (<https://ryousouhousoukai.wixsite.com/website>) をご覧ください。

凌霜会理事長

大坪 清 (昭37経)

(レンゴー株式会社
代表取締役会長兼CEO)

凌霜会副理事長 (大阪支部担当)

宮本 又郎 (昭44経修)

(大阪大学名誉教授)
(神戸大学大阪クラブ理事長)

凌霜会副理事長 (東京支部担当)

番 尚志 (昭44営)

(東京六甲クラブ理事長)

校友会会長

凌霜会副理事長 (本部担当)

坂井 信也 (昭45経)

(阪神電気鉄道株式会社名誉顧問)

凌霜会専務理事

岸本 晴夫 (昭52営)

凌霜会理事

東 誠一郎 (昭50営)

(公認会計士 東 誠一郎 事務所)

凌霜会理事

高士 薫 (昭50法)

(神戸新聞社相談役)
(一般社団法人大学都市
神戸産官学プラットフォーム代表理事)

凌霜会理事

小堀 秀毅 (昭53営)

(旭化成株式会社 取締役会長)

凌霜会理事

蔭山 秀一 (昭54経)

(株式会社ロイヤルホテル
取締役会長)

凌霜会理事

森地高文（昭56営）

（神鋼商事株式会社相談役）

凌霜会理事

吉井満隆（平22MBA）

（バンドー化学株式会社
取締役会長）

江崎勝久（昭39営）

（江崎グリコ株式会社
代表取締役会長）

凌霜会理事

城友美子（昭61法）

（公益財団法人
兵庫県国際交流協会理事長）

凌霜会監事

岡田信吾（昭43経）

（学校法人大阪産業大学理事）
（公益財団法人神戸大学六甲台後援会
評議員）

凌霜会相談役

宮崎徹夫（昭40経）

（東京六甲クラブ理事）

凌霜会理事

桑原千香（昭63法）

（大阪ガス株式会社
理事京都地区統括支配人）
（石田喜久夫ゼミ）

凌霜会監事

池口毅（昭61法）

（弁護士法人大阪西総合法律事務所社員
大阪弁護士会所属弁護士）

凌霜会相談役

森口隆宏（昭42経）

（東京六甲クラブ理事）

凌霜会相談役

平松 秀 則 (昭42営)

(公益財団法人神戸大学六甲台後援会
評議員)

凌霜会顧問

田 邊 弘 幸 (昭43営)

(双日株式会社顧問)
(神戸大学名誉顧問)
(東京六甲クラブ理事)

福山支部支部長

佐藤 卓 己 (昭51営)

(株式会社サンエス社長)

凌霜会顧問
神五会 (昭32)

吉 田 昭 彦 (昭32営)

(地域学研究處 つゆのむら主宰)

凌霜会顧問

稲 垣 滋 (昭45経)

(公益財団法人
神戸大学六甲台後援会理事長)

神戸大学
ニュースネット委員会

同窓会有志一同

神戸大学関連のニュースは…
<https://kobe-u-newsnet.com>



凌霜会顧問
山麓会 (昭36)

繁 田 恵 弘 (昭36経)

(藤井茂ゼミ 兵庫県加西市出身)

凌霜会代議員

中 嶋 進 治 (昭52法)

(弁護士 中嶋・高橋法律事務所)

神戸大学宝生会

(卒業生会)

神戸大学宝生流能楽部

(学生クラブ)

神
五
会（昭32）

さ
ん
さん
会（昭33）

凌
霜
三
四
会（昭34）

代表 高崎 正弘

三四会は、今年も絆を深めてまいります。
引き続き、よろしくお願い申し上げます。



企画デザイン・印刷・ホームページ制作・動画制作・アプリ制作等、お気軽にお問合せください。

PRODUCE

すべてのお客様のご要望をカタチに

PRODUCT



丸山印刷株式会社
<https://www.maruyama-p.co.jp/>

第18回 神戸大学ホームカミングデイ

10月26日 出光佐三記念六甲台講堂 全体式典

(関連記事 9、14ページ)



作家・福田和代氏(平2工)による講演
「人生に無駄なことはない」



全体式典で挨拶をされる藤澤学長(左)と
校友会会長・坂井信也氏(昭45経、右)



応援団と応援団吹奏楽部によるパフォーマンス



混声合唱団アポロンによるコーラス



藤澤学長の挨拶でランチパーティースタート
アカデミア館 BELBOXにて



六甲台5部局企画講演会
シティライツ法律事務所
弁護士 水野祐氏(平19法科大学院)
による講演会



凌霜12回生(昭39) 卒業60周年記念の集い

10月26日 六甲台、神戸三宮「餐」



(関連記事49ページ)

経・営・法学部 昭59年卒 卒業40周年同期会

10月26日 六甲台アカデミア館 さくら



鈴木直子さん（左端）の名司会で
終始和やかに進行



経・営・法学部 平6年卒 卒業30周年同期会

10月26日 六甲台アカデミア館 BELBOX



参加者全員で記念撮影



近況報告や思い出話に花を咲かせました

(関連記事50ページ)

ここが変わった神戸大学 「六甲台祭」パンフレットの表紙

提供 六甲祭実行委員会



1971年



1972年

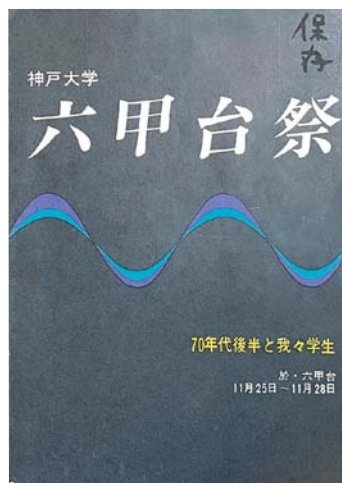


1973年



1974年

「昔、カラスは白かった」



1976年



1977年



1978年



1979年

(関連記事30ページ)

凌霜会創立100年

会誌「凌霜」を辿る

広告編

昭和初期：第二次大戦前まで



昭和15年2月15日発行
凌霜皇紀2600年記念号
表紙と裏表紙



昭和5年5月30日発行 凌霜37号
YAMAHAピアノの「YAMAHA」が「山葉」とは知りませんでした。

昭和4年9月28日発行
凌霜33号



大正8年4月10日発行 凌霜54号
現在のラジオとは違って、重厚感があります。

年百六千二紀皇祝

立創年四十四治明

所張出店支

東京、名古屋、山田、下關、萩、若松、門司、別府、博多、福岡、京橋、仁川、清津、台北、台中、基隆、高雄、新竹、台東、大連、奉天、新京、哈爾濱、鞍山、齊齊哈爾、牡丹江、佳木斯、錦州、北京、天津、秦皇島、張家口、石家莊、太原、太原、大同、青島、芝罘、濟南、徐州、上海、南京、蘇州、鎮江、漢口、廈門、福州、廣東



門司市本町
出光商會

店主 出光 佐三
支配人 福井 敬三

目品業營

石油、揮發油、輕油、機油、重油、其他各種礦油、石油製品、アセチレン、コークス、セメント、石灰、耐火土、各種電機、自動自動車、三輪車及同部分品、機械工具、鋸鋼材、車輪、岩鋼式ギヤ、マシナリー、照明器具、變壓器、電氣器具、無線電機材料、熔接機、海上火災保險、運送業



輸出に・軍需に・慰問に・

最古の歴史
星印罐詰
最高の品質

種本日・京東
所詰罐野藤
郎次辰野藤
(回二第霜凌)

昭和15年2月15日発行 凌霜皇紀2600年記念号

戦況を感じる広告だが缶詰のパッケージは英語も混じりとてもしゃれている。

昭和10年12月7日発行 凌霜70号
右から左に読む広告は新鮮で面白いですね。



“AB二色シャープペンシル”

(専賣特許 定価¥120ヨリ)

“現代文化の具象”

“工場整備し”

製品完成す!!!

新たに全長三寸五分の短型
数種を發賣す。

紳士のチヨウキ用には
クリップ付な
激用には即付な
申込殺到拜謝!!

實物大



(外に素の黒の
準備品一打付)

記念特賣提供!!!

緒一春秋記念として同窓諸
君に限り数量多少に拘らず

金 壺 圖

送料も申受けす。

◎御覽が難れた。東京の貴方から
古風な極めて文雅な線ととき。
長江のほとり重慶の閑より白市
な焼ふ少女を觀らとき。筆跡
れて先づ手にせまほるとき香が
青紫二色シャープならむ。

御注文は { 九州と植民地とは……出 光 商 會 に
山 陰 方 面 は……鳥取の美田真信商會に
同意なる 大 阪 及 近 畿 は……大 阪 白 洋 商 會 に

書籍と雑誌(二色シャープ) 東京では……株式 三 興 商 會 に

東京市京橋區元數寄屋町二ノ七
電話 錦 座 六 三 一 番
振替 び 振 東 京 三 五 一 〇 七 番

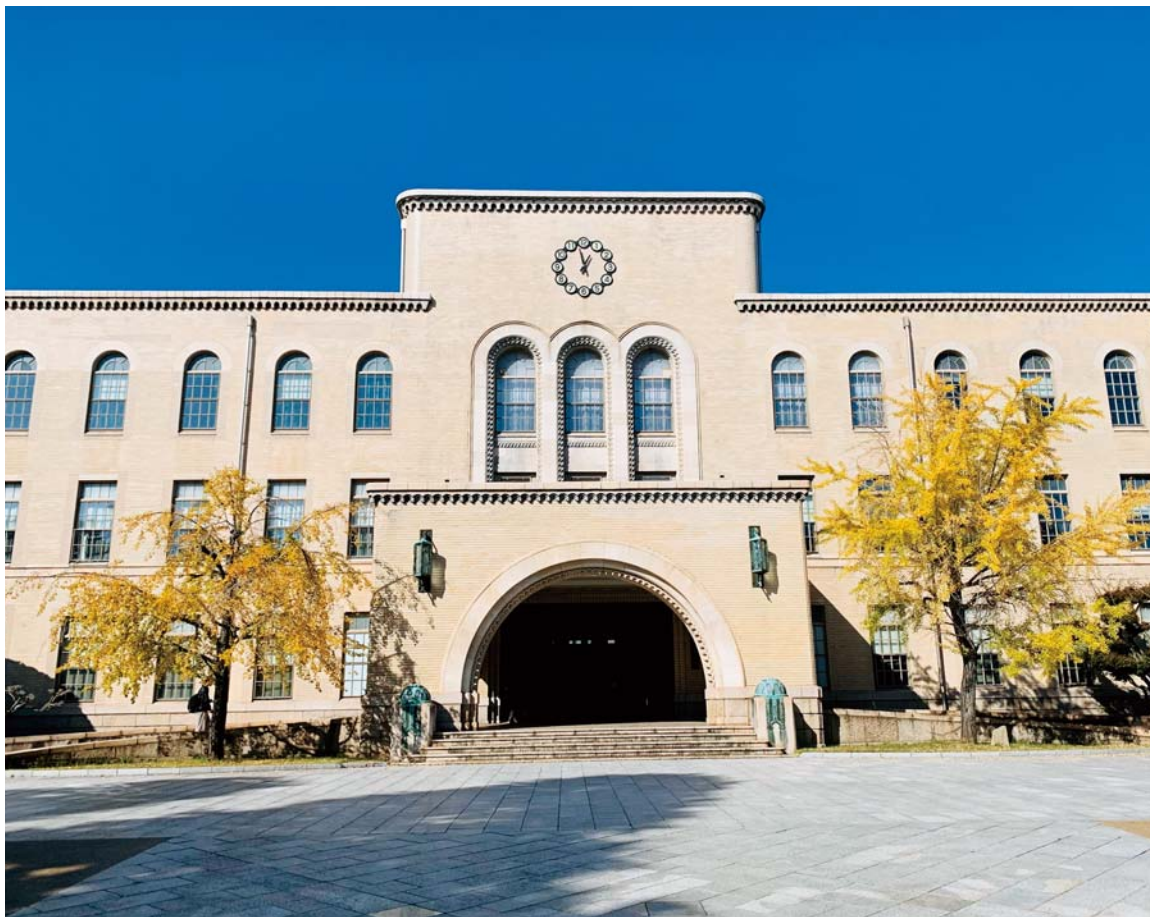
昭和2年5月15日発行 凌霜19号

昭和2年からシャープペンシルがあったとは驚きですね。しかも2色!当時、シャープペンシルは高級品だったようですね。

昭和2年3月15日発行 凌霜18号
文字が手書き風でかわいいですね。



六甲台キャンパスの四季だより（晩秋）



快晴の空とイチョウで彩られた六甲台本館



様々な色の葉が生い茂る



夕日が差し込む兼松記念館



三木記念館前の美しいイチョウ



先日行われた六甲祭のステージで
うりばーたちが前日リハーサルを行っていました



三木記念館前にも秋を感じます



真っ青な秋の空の高さに吸い込まれそうです

凌霜寄附講義 社会科学の実践 特別編「久元神戸市長を迎える公開授業」

11月1日 六甲台第二学舎263教室



久元喜造神戸市長の貴重なお話を聞くためにたくさんの学生が集まりました。職・住・観光それぞれの観点からの神戸市の魅力・行政の取り組み、神大生への期待について熱く語られました。

凌霜会×神戸大学ベルカンキャリア支援室共催 業界セミナー

10月20日、27日、11月4日、17日 六甲台キャンパス アカデミア館



日曜開催にもかかわらず様々な業界から神大OBOGを含む人事の方たちが来訪。

パネルディスカッションや座談会など有意義なセミナーとなりました。

神戸大学学生震災救援隊の活動

令和6年3月 石川県七尾市

(関連記事42ページ)

1日目 災害ゴミの仕分けの様子



2日目



集会所
支援物資が置かれた棚(左)
憩いの場(右)

3日目



災害廃棄物分別所



被災した家屋の清掃

ホームカミングデイ 神戸大学ベルカン ハロウィンイベント



マジックショーを楽しむ子どもたち



仮装した子どもも多く、子どもたちや学生スタッフらの笑顔が大学にあふれていました

(関連記事45ページ)

六甲祭2024 テーマ「上で、待ってる」

11月9日、10日 六甲台第一キャンパス、六甲台グラウンド



天気にも恵まれて、多くの来場客でにぎわいました。模擬店の呼び込み合戦も趣向を凝らした看板を手に声を張り上げ、熱く楽しいひと時を過ごした学生たちでした。

(関連記事46ページ)

さんさん会(昭33) 関東

11月29日 東京六甲クラブ



(関連記事52ページ)

むしの会(昭39) 東京9月度例会

9月19日



二本松市 円東寺の糸ザクラ



本宮市 日輪寺のシダレ



上田市
上田城跡公園

(関連記事54ページ)

関東四四会（昭44） 納涼会

8月26日 有楽町「綴」



(関連記事57ページ)

東京 18 会（昭45）

10月18日 東京六甲クラブ



(関連記事58ページ)

石川県校友会 令和6年度 総会・懇親会

10月17日 ANAホリデイイン 金沢スカイ



(関連記事59ページ)

神戸凌霜午餐会 第1579回

10月9日 湊川神社「楠公会館」



(関連記事63ページ)

東京六甲クラブ



ホームカミングデイin東京



ありがとう帝劇ビル



出光美術館



ミュージカルライブ



木曜会 9 月



東京六甲クラブ杯ゴルフ大会

愛媛県支部

8月3日 ネストホテル松山



(関連記事65ページ)

福岡凌霜会 令和6年家族会

10月25日 稚加栄



(関連記事65ページ)

スケート部創部70周年祝賀会

令和6年6月29日 アカデミア館「さくら」



全兵庫フィギュアスケート選手権大会で演技する壺井達也君（国人4年）
壺井君は11月8日～10日に行なわれたフィギュアスケートGPシリーズ第4戦（NHK杯）において自己最高の3位に入り、GPシリーズ初の表彰台に上りました



ひょうご西宮アイスアリーナで練習するスピード部員

（関連記事34ページ）

幸ゼミ(新野ゼミ) 2024年度総会

9月22日 六甲台アカデミア館



(関連記事66ページ)

グリークラブ関西OB会

9月21日 神戸大学大阪クラブ



(関連記事67ページ)

宝生流謡会 東京地区OB・OG例会

10月17日 東京六甲クラブ



(関連記事67ページ)

東京六甲クラブ囲碁会、神戸KUC囲碁クラブ 箱根囲碁研修会

11月20日～21日 箱根仙谷原 ホテル花月園



(関連記事68ページ)

神のまにまに

学生が一から
日本酒開発に取り組んだ
神戸大学オリジナルの大吟醸酒

白鶴酒造と共同開発した「神のまにまに」は、

日頃からイネを含む植物の栽培及び研究をしている神戸大学農学部

学生や大学院生たちが白鶴酒造で日本酒の仕込み過程を見学し、

コンセプトからラベルデザイン、商品名を考えるなど、一から日本酒開発に取り組んだ、

まさに学生の想いが詰まった他にはないお酒です。

白鶴酒造が10年以上の歳月をかけて独自開発した酒米品種「白鶴錦」を麴米に、

神戸大学大学院農学研究科附属食資源教育研究センター（加西市）が

厳しい安全管理の下で栽培した品種「にこまる」を掛米に使用。

吟醸の華やかな香りを樂しめる日本酒に仕上がっています。



地方発送承ります！

お申込締切 2025年 4月21日(月)

※限定商品につき期日までに完売する可能性があります

1本 1,650円(税込)

1ケース(6本入) 9,900円(税込)

※ケース注文の場合は送料無料！

それ以外は、1配送箇所ごとに送料980円がかかります

■ご注文は

こちらの二次元コードから

[https://](https://www.kucoop.jp/wfm_v2/kaminomanimani2024tuunen)

www.kucoop.jp/wfm_v2/kaminomanimani2024tuunen

または

下記生協店舗へ直接ご注文ください



◀神戸大学オリジナル 化粧箱入り

※ケース注文の場合は
化粧箱は添付されません

神のまにまに
大吟醸 720ml

- 原料米/掛米：にこまる
- 麴米：白鶴錦
- 精米歩合/50%
- 度数/14～15%
- 日本酒度/+1.6
- 酸度/1.2
- アミノ酸度/0.6
- 味わい/中口・淡麗
- 飲み方/冷やして・常温

年頭にあたって

一般社団法人凌霜会理事長 大 坪

清（昭37経）

（レンゴー（株）代表取締役会長兼CEO）



凌霜会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。各地で穏やかに、そして健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申しあげます。

昨年、凌霜会は1924（大正13）年9月の設立から100周年を迎えることができました。諸先輩方が築き上げてこられた凌霜の歴史を守っていくとともに、次代を担う若い凌霜の皆様へ歴史と伝統を引き継いでいけるよう、そして会員各位にとって有益かつ有意義な組織であり続けるよう、次の100年に向けて、会の運営に全力を尽くす所存です。皆様には、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

昨年を振り返りますと、元日から能登半島を震源とする地震に見舞われ、その後も、南海トラフ地震臨時情報の発出につながった宮崎県日向灘の地震、鹿児島県に上陸した台風10号、復興に向けて取り組む能登地方に追い打ちをかけるような記録的豪雨など、多くの自然災害が甚大な被害をもたらしました。現在、政府は防災庁の設置に向けた準備を進めていますが、近年

頻発している風水害や、近い将来に発生が予想されている南海トラフ地震などに備えて、人命最優先の防災体制を早急に構築していただきたいと思います。

わが国経済は、1992年以来の高水準となった賃上げの効果や好調なインバウンド需要等により、緩やかな回復が続くことが期待されます。今後は、実質賃金が持続的に上昇し、それにとまって個人消費が伸びていく、という好循環を構築していくことができるかどうかがかギになると考えています。また今年4月には、大阪・関西万博の開催が控えています。この国家プロジェクトが、関西を中心に、より一層わが国の経済を盛り上げていくことを期待しているところです。

世界に目を向けますと、昨年11月の米国大統領選挙において、共和党のドナルド・トランプ氏が民主党のカマラ・ハリス氏に勝利し、第47代大統領に選出されるという大きな出来事がありました。今後、石破総理大臣とトランプ新大統領の間に、緊密な信頼関係、強固な同盟関係が生まれ、両国関係が一層発展していくことを望んでいます。一方、トランプ新大統領は、アメリカ・ファーストの政策を掲げており、世界経済のデカップリ

ングが進行していくのではないかという懸念を持っています。また、ロシア・ウクライナ戦争、中東情勢に大きな影響を及ぼすことも予想されます。今後、トランプ政権が展開する政策に注視していく必要があります。

昨年2024年のノーベル物理学賞を受賞したのは、AIの技術の中核である「機械学習」や「ディープ・ラーニング」の基礎を築いたプリンストン大学のジョン・ホップフィールド教授とトロント大学のジェフリー・ヒントン教授でした。ノーベル化学賞では「アルファフォールド」と呼ばれる、たんぱく質の折りたたみ構造を高精度に予測することができるAIシステムを開発したデミス・ハサビス氏とジョン・ジャンパー氏が受賞しました。AI技術の基礎と応用がノーベル賞の対象となったことは、イノベーションにもAIが重要な位置を占めるようになったことを象徴する出来事であったと思います。

今後、生成AIをはじめ、ビッグデータ、メタバース、アンドロイドといった技術が社会にますます浸透し、経済活動や生活様式の変革が進んでいくものと思われませんが、肝心なことはデジタル技術 (Cyber) とそれを扱う人間 (Physical) とのバランスをいかにとっていかということであり、その調和のうねに成り立つCDS (Cyber-Physical System) の構築について社会全体で真剣に考えていく必要があります。CPSの観点から技術の本質を見極めなければ、人間本来の創造性を奪ってしまう側面もあるでしょう。Sentiment (感情)、Passion (情熱)、Sympathy (共感) とこった人間本来の思考の源泉からもたら

される活力を、引き出すものであることが重要です。

さて、母校神戸大学は「学理と実際の調和」という建学の理念の下、「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、社会で活躍する多くの人間性豊かな人材を創出してきました。これからも時代の変遷に即した変革を推し進めることにより、新たな価値を創造し続けていかれることと期待しています。

本年1月17日に、阪神・淡路大震災の発生から30年を迎えます。神戸大学はこの震災で学生と教職員合わせて47人の尊い命を失うことになりました。その経験を原点に、被災地の国立大学として、防災・減災や復興にかかわる研究に取り組み、研究成果の発信、地域社会への貢献を進めてこられております。1月11日には「阪神・淡路大震災30年シンポジウム」を開催して、これまでの取り組みや研究成果を発信されと伺っております。30年というのは一つの節目にすぎず、今後も震災の記憶や教訓を風化させることがないように、次世代へ伝えていかなければなりません。こうした点でも神戸大学は非常に重要な役割を果たされています。

凌霜会につきましては、昨年迎えた創立100周年を記念する事業として、神戸大学六甲台後援会と連携して、学生が自由に勉強や懇談・交流できる場所として「凌霜ガーデン」の設置や、大学が実施する最先端社会科学研究教育への支援活動を進めてまいります。

神戸大学には、先人達が築き上げた120年以上におよぶ輝

かしい歴史と伝統が結びついて創りあげてきた文化が根付いています。神戸高商の初代校長水島鏡也先生の「凌霜雪而香」（霜雪を凌いで香ばし）、人生の試練に耐えて菊のように香り高く、美しかれ、という教えを胸に、困難な時代に立ち向かうとともに、良き伝統はそのままだに、たゆみなき変革によって新たな伝統を築いていくことで、これからも大学をサポートしてまいりたいと思います。

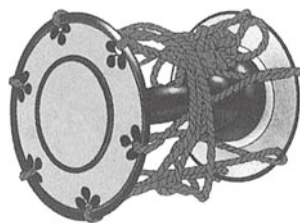
2025年の干支は乙巳（きのとみ）です。「乙」は十千の二番目にあたり、草木がしなやかに伸びて広がっていくとする状態を表し、「巳」は、脱皮して成長する様子や強い生命力から不老不死の象徴とされ、神聖な生き物としてあがめられてきた蛇を表しています。こうしたことから、2025年は再生や変化を経ながら、柔軟に発展していくことができる年になるのではないかと考えています。

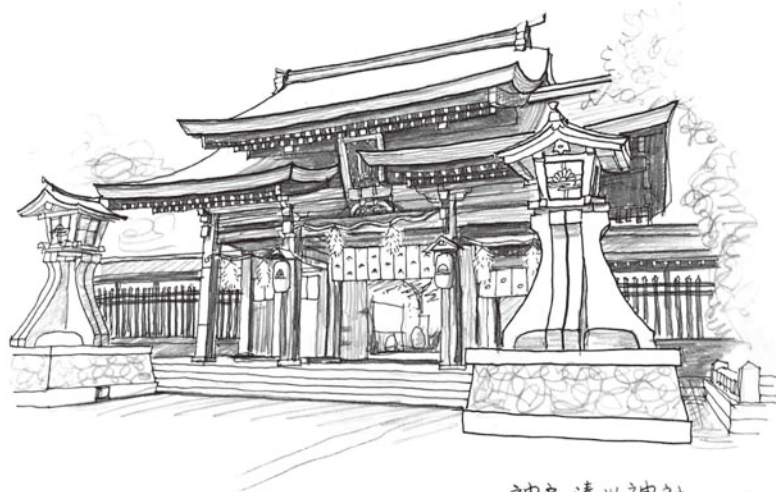
私たちは現在、令和の時代を生きています。人口増加と高度成長を前提とした仕組みやデフレ社会に最適化した政策のうえに成り立っていた「昭和モデル」「平成モデル」から脱却して、「令和モデル」といえる共助経済社会の実現に向けた取組みを早急に推し進めていく必要があります。本年は「令和モデル」について真剣に考えてみるのに格好の年ではないでしょうか。

最後になりましたが、凌霜会諸兄姉の皆様には日頃から、会員の増強、寄附金など多岐にわたってご協力いただいておりますが、今後も引き続き、凌霜生としての誇りと絆を繋ぐよりど

ころとしての当会活動を何とぞご支援賜りますとともに、我々も凌霜会の目的である「会員相互の研鑽と親睦」そして「母校支援」を胸に、共に母校のより一層の発展に向けて努力してまいりたいと存じます。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを心より祈念申しあげ、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。





神戸・凌川神社 34

凌霜四四四号目次

表紙絵 昭45 宮 押 上 重 郎
カット 昭34 経 松 村 瑠 郎

年頭にあたって

大坪 清 1

目次

4

母校通信

松尾 貴巳 6

六甲台だより

行澤一人、鈴木 純、清水泰洋、四本健二、村上善道

11

本部事務局だより

一般社団法人 凌霜会事務局

14

ホームカミングデイの開催／ご芳志寄附者ご芳名とお願い

(公財)神戸大学六甲台後援会だより (79)

15

凌霜会創立100周年特別企画

バックナンバー再録「凌霜」296号・昭和62年1月

凌霜の語源「貞松擢秀、金菊凌霜」にめぐりあう

澤田 修二 18

神戸大学とのご縁

安永 祐司

22

学園の窓

1年間のサバティカルでヨーロッパへ
着任の挨拶にかえて

田頭 拓己

24

国際教育のオンライン化という新たな挑戦

米沢 竜也 28

戦後の卒業アルバムと学内メディアで見る「ここが変わった神戸大学」

住田 功一 30

表紙のことば 追憶

押上 重郎 32

凌霜ネットワーク

阿片 仁孝 34

スケート部創部70周年祝賀会

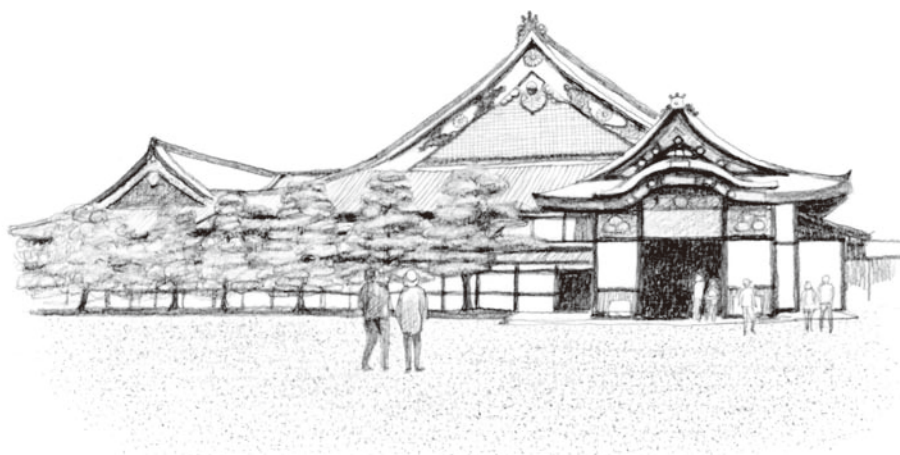
松熊 忍 35

凌霜ひろば

一世を風靡した旧官立神戸高商の当時の教えを再現しよう！

松熊 忍

35



京都 二条城の丸御殿 球

本と凌霜人『岡田卓也の時代』

公器の理念が支えた静かなる流通革命』

六甲台就職相談センター NOW

就活体験談

学生の活動から

神戸大学学生震災救援隊の活動に参加して

第18回ホームカミングデーでの学生企画を終えて

2024年度六甲祭を終えて

クラス大会 凌霜12回生、経・営・法学部昭59

経・営・法学平成6年

クラス会 しんざん会、さんさん会、イレブン会、むしの会、

神戸六七会、関東四四会、東京18会、互礼会

支部通信 石川、東京、神戸、愛媛県、福岡

つどい 藤蔭四の会、幸ゼミ、グリークラブ関西OB会、

宝生流謡会、東京六甲クラブ囲碁会・神戸KUCU囲碁クラブ、

水霜談話会、大阪凌霜短歌会、東京凌霜俳句会、

大阪凌霜俳句会、凌霜川柳クラブ、

神戸大学ニュースネット委員会OB会

ゴルフ会 名古屋凌霜ゴルフ会、茨木凌霜会、

西宮高原ゴルフ倶楽部KUC、廣野如水凌霜KUC会、

芦屋凌霜KUC会、花屋敷KUC会

物故会員

国内支部連絡先

編集後記

投稿規定

石井 淳 蔵 36

浅田 恭 正 38

西谷 彩 香 42

松本 暖 生 45

津島 風 斗 46

49

52

59

66

74

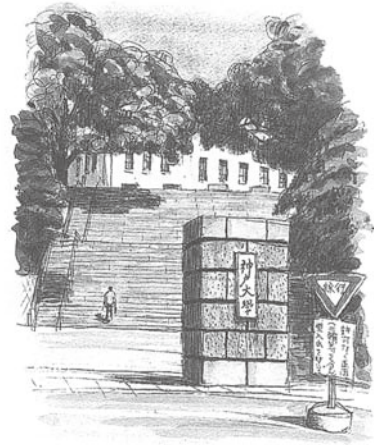
78

79

80

80

母校通信



六甲台・大学 正門 疎

「母校通信」をお届けします。8月から11月までの動きを紹介させていただきます。

テネシー大学ノックスビル校と海外拠点設置に係る覚書を締結

8月21日、国際文化学研究科にてテネシー大学ノックスビル校と相互の拠点設置に係る覚書の調印式を執り行いました。神戸大学とテネシー大学ノックスビル校は2006年から国際文化学部（現国際人間科学部）・国際文化学研究科が部局間協定を締結し、交流を行っていましたが、2022年からは大学間協定を締結し、様々な分野での教員の相互派遣や学生交流を行ってきました。テネシー大学ノックスビル校内に新規設置する拠点はアメリカ大陸における本学2つ目の海外拠点となります。

今後アメリカ中部地域におけるハブとして国際文化学研究科を中心にグローバルな教育研究活動を進めていきます。

松尾雅文客員教授が ScholarGPS の Top Scholars by Expertise に選出

科学技術イノベーション研究科の松尾雅文客員教授が、ScholarGPSにおいて、デュシェンヌ型筋ジストロフィー（Duchenne muscular dystrophy: DMD）の研究分野で世界の18位、日本ではトップにランクされました。DMDは小児期発症の進行性筋萎縮症で、30歳までにほとんどの患者が死亡する致死性の難病であり、世界の人類共通に男児約5,000人に1人が罹患する、小児では最も頻度の高い遺伝性筋疾患です。

この難病を克服するため、世界中で多くの研究者がDMDに関して様々な研究を行っています。その中で、松尾客員教授はアンチセンス核酸を用いたエクソンスキッピングによるDMDの治療法を世界に先駆けて提唱するとともに、その有効性を実証しDMDに治療の道を拓きました。このエクソンスキッピング治療は、現在DMDの標準治療となるなど、松尾客員教授の貢献度の高さがこのランキングで示されました。

第1回「地域防災の未来セミナー」を開催

8月28日、神戸大学は「つながりから広がる、地域防災の未来」第1回セミナーを「KOBEL Co CREATION CENTER」（一般社団法人「大学都市神戸産官学プラットフォーム」の拠点）で開催しました。セミナーのテーマは、「能登半島地震から次

の30年を考える」。神戸大学をはじめとする神戸学院大学、兵庫県立大学、神戸市看護大学、神戸松陰女子学院大学、神戸市企業関係者、大学生ら約100人（オンラインを含む）が参加し、地震、水害など多様な災害に対応する神戸、国内の地域防災力をどう向上させていけばいいのかを考え、地域防災の未来像を描きました。

㈱イトーヨーカ堂との共同研究でAースマート空調を社会実装

9月6日、神戸大学は、株式会社イトーヨーカ堂との共同研究によるAースマート空調の社会実装を発表しました。神戸大学の特許技術であるAースマートを活用した空調エネルギー削減システムをイトーヨーカドー70店舗に導入するもので、これにより同社における年間の空調でのエネルギー消費量の約50%、CO₂排出量2万2,000トンの削減を見込んでいます。

パイロットモデルとなる神奈川県川崎市のイトーヨーカドーグランツリー武蔵小杉店では学長と社長による記者会見が行われ、大きな反響がありました。

「SDGs未来ビジネス学生コンテスト2024」にて、神戸大学起業部Skin Notesがグランプリ受賞

9月13日に開催された「SDGs未来ビジネス学生コンテスト2024」において、神戸大学起業部のSkin Notes（代表：竹内悠人さん、農学部4年）がグランプリに輝きました。また、昨年度グランプリのHIM（代表：高橋英真さん、農学部2年）が、事業の進捗と発展が認められ、特別賞にあたる「エクストリー

ム賞」を受賞しました。

両チームは、来春4月に開幕する大阪・関西万博での発表も予定されており、今後のさらなる活躍が期待されています。

国際カンファレンス“The 9th Annual International Conference on Applied Economics in Hawaii”を開催

6月25日、今回で9回目となるInternational Conference on Applied Economics in Hawaiiが開催されました。本イベントは、神戸大学を世界トップクラスの研究大学へと押し上げるべく、経済学研究科が主要イベントのひとつとして毎年開催しているものです。

今年は、経済学研究科の衣笠智子教授企画の下、研究科の教員をはじめ、ハワイ大学マノア校（アメリカ合衆国）、国立台湾大学（台湾）、南洋理工大學（シンガポール）から研究者が集まり、密度の濃い研究会を行うことができました。新型コロナウイルス流行のため、2021、2022年にはオンライン、2023年度には、神戸大学でハイブリッドにて開催しましたが、コロナ禍後初めてハワイで開催することができました。

カンファレンスでは、金京拓司次期研究科長（11月15日より研究科長）の挨拶に始まり、6名の報告者から質の高い報告があり、活発に意見を交換しました。また、ハワイ大学College of Social Sciencesのデニス・コナン学長も参加くださり、Closing Remarksでスピーチをして下さいました。経済学研究科からは、金京拓司教授、衣笠智子教授、茂木快治准教授、井上ひろ講師の4名が参加し、茂木准教授と井上講師が研究報

告をしました。

京阪神の3大学シンポジウムを開催

9月27日、本学など京阪神の3国立大学（京都、大阪、神戸）の総長・学長が経済界と討論する「3大学シンポジウム」（日本経済新聞社、日本経済研究センター主催）が大阪市内で開催されました。テーマは「人口減社会に挑む―産学共創がひらく未来」。

神戸大学の藤澤正人学長、京都大学の湊長博総長、大阪大学の西尾章治郎総長、化学メーカー・ダイセル（大阪市）の小河義美社長、働く母親を総合的に支援するマザーネット（大阪市）の上田理恵子社長が、人口減社会における産学の役割や連携などについて議論しました。

メドテックイノベーションセンター竣工

10月12日、神戸大学医学研究科は、メドテックイノベーションセンター（MIC: MedTech Innovation Center）の竣工式及び開所記念式典を同センターにて執り行いました。

メドテックイノベーションセンターは、内閣府の地方大学・地域産業創生交付金事業を活用し、神戸市と共に推進している神戸未来医療構想の下、ポートアイランド地区に位置する医学部附属病院国際がん医療・研究センターと直結する新たな医療機器開発拠点として整備されました。式典では、冒頭に藤澤正人学長、村上卓道医学研究科長から挨拶があり、神戸大学や医学研究科がこれまで行ってきた医療機器開発などに関する取組

と関係者への謝辞が述べられました。

令和6年度学長表彰式を開催

10月17日、神戸大学は令和6年度学長表彰式を行いました。学長表彰は、教育研究、事務運営、その他業務上の功績が極めて顕著であると認められる教職員と、外部資金に措置される間接経費の獲得を通じ本学の財務上の貢献が著しい研究者（財務貢献者）に対し、その功績を称えるとともに、今後の一層の活躍を願って学長から行うもので、本年度の被表彰者は3グループと教員1名、財務貢献者は83名でした。表彰式は、教育研究評議会後、大会議室において行われ、被表彰者（財務貢献者は代表2名が出席）に学長から表彰状と報奨金の目録が授与されました。

第3回日印大学等フォーラムに参加

10月19日、インド、ニューデリー市内のThe Grand New Delhiにおいて「第3回日印大学等フォーラム」が開催され、本学から玉置久理事・国際連携推進機構長、富永圭介分子フォトサイエンス研究センター教授が出席しました。

今回のフォーラムでは「日印頭脳循環の促進とその人材の活用」をテーマに、日印双方の大学長等が一堂に会し、両国大学間の連携拡大に向けた懇談や、共通の課題等について議論しました。日本側からは43機関、インド側からは36機関の参加がありました。フォーラム開催中に設けられた個別会合では、インド側出席大学等6校と懇談し、今後の交流拡大や学術交流協定

締結に向けた意見交換を行いました。本フォーラムへの参加を通して、今後の本学とインドとの学術交流の発展が期待されます。

令和6年度収穫祭を開催

10月25日、農学研究科附属食資源教育研究センター（加西市）で令和6年度収穫祭を開催しました。収穫祭は、主として農作物の収穫に感謝し、翌年の豊作を祈念する祭りです。

来賓として、高橋晴彦加西市長、塩谷嘉宏兵庫県立農林水産技術総合センター所長らをお招きし、また、学内からは藤澤正人学長をはじめ木戸良明理事、森山睦理事らが出席して、総勢61名が収穫祭に参加しました。

第18回神戸大学ホームカミングデイを開催

10月26日、第18回神戸大学ホームカミングデイを開催しました。

開催前は天候が心配されましたが、雨に降られることなく、午前に全学式典、ランチパーティー、午後は各学部企画や留学生ホームカミングデイ等のイベントが実施され、オンライン参加の方も含め、卒業生や地域の方、学生、教職員等延べ約2千人の方に参加頂きました。また、今年は初の企画として、ONLINE KOBE FAMILYをテーマとした国際交流パーティーを、留学生ホームカミングデイ後に百年記念館ホワイエで開催し、国際色豊かな卒業生、在学生、教職員等の盛況な交流が図られました。

出光佐三記念六甲台講堂において実施した全学式典は、応援団吹奏楽部によるオープニングセレモニーに始まり、学長挨拶、校友会長挨拶、本学卒業生で小説家の福田和代氏（平2工）に

よる記念講演、職員による統合報告書・シンダイシンポについての発表、医学部生によるボランティアサークル「Kobe Med Connect」の能登半島地震被災地ボランティア活動報告、混声合唱団アポロンによるコーラス、応援団と応援団吹奏楽部による演舞パフォーマンスを披露しました。また、昨年に引き続き、「ホームカミングデイin東京」が東京六甲クラブで開催され、関東在住の卒業生23名の方々が大型スクリーンを通して式典を楽しめました。

六甲台5部局企画では、六甲台講堂で弁護士の水野祐氏（平19神戸大学法科大学院修了）による記念講演会を開催（演題「21世紀に必要な法のデザイン」）。その後の懇親会では、昭和59年卒（卒業40周年）と平成6年卒（卒業30周年）の同期会が盛大に開催されました。また、学生企画として、子供向けハロウィン企画（Halloween Children's Day）が開催され、地域住民の方々が家族づれでたくさん参加されました。

第21回留学生ホームカミングデイを開催

10月26日、第21回留学生ホームカミングデイを六甲ホールにて開催しました。司会は、神戸大学修了留学生のヘリニャン・アンドレイ・マリヤンさん（2022年人文学研究科修了）と在学留学生バルジンニヤム・ハジドツエツエクさん（経営学部）の2人が務め、バイリンガル（日・英）で行われました。

メイン企画の「ようこそ先輩！神戸大学へ」では、村上春樹作品のスペイン語翻訳者ガブリエル・アルバレス・マルティネスさん（2014年国際文化学研究科修了）が、「言語と異文

化への愛」というテーマで講演されました。講演では、多様な言語との関わりや神戸大学での思い出、翻訳者としての経験を語られ、言語と異文化への情熱が感じられました。マルティネスさんの翻訳者としての経験は多くの聴衆の関心を捉えたように、翻訳に関する質問もなされ活発なやり取りがありました。

神戸医療産業都市一般公開イベントを開催

11月2日、神戸大学デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構統合研究拠点は、ポートアイランド地区で開催された神戸医療産業都市機構主催の「神戸医療産業都市一般公開」イベントに参加しました。神戸大学企画として「神戸大学がつくるミライのかたち」と題した講演会や神戸大学クイズラリーなどを実施しました。当日はあいにくの天気となりましたが、神戸市内のみならず、市外、そして県外からも約560人の方々が参加されました。

「神戸大学がつくるミライのかたち」では、「ミライをつくる、ここから始まる。神戸大学がつくるミライはあなたの未来につながるのか？」をテーマとして、微生物を使ったものづくりと新しい医療機器の開発について発表し、約40人の方々が参加されました。

第3回学生ビジネスプランコンテストO-BUCsで神戸大学起業部のSkin Notesが理事長賞（グランプリ）を受賞

11月12日に開催された「第3回学生ビジネスプランコンテストO-BUCs（オプックス）」（主催：大阪信用金庫）において、

神戸大学起業部のSkin Notes（代表：竹内悠人さん、農学部4年）が「アトピー性皮膚炎小学生向け痒みを抑える緑茶染めシヤツ開発事業」を発表し、理事長賞（グランプリ）を受賞しました。メンバーは、竹内悠人さん（農学部4年）、中野拓実さん（経営学部3年）、北野まどかさん（経営学部3年）。

（理事・副学長、経営学研究科教授 松尾貴巳）



カナダヅル 羽衣=部

六甲台だより



◇各部局からのお知らせ

【法学研究科・法科大学院・法学部】

○令和6年11月6日（水）に令和6年度の司法試験合格者が発表されました。神戸大学法科大学院は、合格者51人で全国9位、合格率37・5%で全国10位（首位の予備試験合格者を除くとそれぞれ8位、9位）でした。

また、11月9日（土）午後5時から、合格者祝賀会が瀧川記念学術交流会館にて盛大に行われました。

○神戸大学六甲法友会主催「企業法務と神戸大学法科大学院の歩み」が下記要領で開催されました。

日時 令和6年11月19日（火）午後6時30分～午後9時
場所 東京六甲クラブ（帝劇ビル地下2階）
講演 「ワークショップ企業内法務」が法科大学院及び法学研究にもたらしたもの」

神戸大学法科大学院教授 中川 丈久 氏

「取引契約書作成・審査の着眼点」

（株）日立製作所法務本部（鉄道ビジネスユニット経営

企画本部兼務） 飯田 浩隆 氏

○砂原庸介教授が、ジョグジャカルタのガジヤマダ大学で行われたアジア行政学会ほかの共同カンファレンス（The 2024 APA-EROPA-AGPA-IAPA Joint Conference）にて Best Paper Awardを受賞されました。

（法学研究科教授 行澤 一人）

【経済学研究科・経済学部】

○高橋眞一名誉教授が令和6年秋の叙勲で瑞宝中綬章を受章されました。

○佐野晋平教授が第67回日経・経済図書文化賞を受賞しました。受賞作品『教育投資の経済学』（日本経済新聞出版）は、経済学を用い教育問題を分析する教育経済学の知見を紹介したものであり、海外だけではなく日本のエビデンスを豊富に紹介した優れた啓蒙書であると評価されました。

○「国際通貨基金（IMF）セミナー～IMFで未来を描く～」が本学にて開催されました（2024年11月18日）。

IMF人事局長や同アジア太平洋局次長等が登壇され、経済学や関連分野を学ぶ学生たちに向けて、IMFでのキャリア形成の可能性が示されました。

（経済学研究科教授 鈴木 純）

【経営学研究科・経営学部】

○「神戸大学MBA多様性推進基金」を設立しました

この度、神戸大学大学院経営学研究科は「神戸大学MBA多様性推進基金」を設立いたしました。この基金は、「神戸大学MBAにもっと多様性を」をコンセプトに、より多様な知識と経験を持つ人材がMBAプログラムで切磋琢磨できる環境を整えることを目的としています。

趣旨にご賛同いただけます場合、神戸大学基金より寄附の項目として「神戸大学MBA多様性推進基金」を選択いただくことによりご寄附いただけます。

○MBA論文審査及び修了式が実施されました

MBA学生に対する博士課程前期課程の修了判定が行われました。判定に合格したのは、2023年度入学生66名全員が合格を認定されました。合格MBA学生に対しては、9月28日（土）に開催された学位授与式において國部克彦経営学研究科長から学位記が授与されました。

また、修了式に先立つ9月14日（土）には、MBA論文の報告会として、ポスターセッションが実施されました。会場では、ポスターの内容を説明する学生と、それを聞き参加者との活発な討議が繰り広げられていました。

○MBA35周年記念イベントの開催

神戸大学MBAは2024年に35周年を迎え、記念イベントをMBA Cafe、現代経営学研究所と合同で次の通り開催いたしました。

シンポジウム「神戸大学MBAとMBAカフェのこれまでと

これから」

日時 11月3日（日）午後1時～5時
会場 神戸大学出光佐三記念六甲台講堂

○MBA体験フォーラムの開催

以下の日程におきまして、神戸大学MBA公開セミナーを、オンラインで開催しました。

・第81回「ハードルのある人のMBAライフ」

日時 9月11日（水）午後7時30分～8時30分

担当 石神 理予 氏（神戸大学MBA2023年入学生）

多賀麻利恵 氏（神戸大学MBA2023年入学生）

田中 優元 氏（神戸大学MBA2023年入学生）

井澤久美子 氏（神戸大学MBA2022年入学生）

佐々木 優 氏（神戸大学MBA2023年入学生）

谷本香奈枝 氏（神戸大学MBA2023年入学生）

・第82回「神戸大学MBA修士論文のリアル」

日時 10月9日（水）午後7時30分～8時30分

担当 田島 功規 氏（神戸大学MBA2023年入学生）

豊原 彩加 氏（神戸大学MBA2023年入学生）

西山 英毅 氏（神戸大学MBA2023年入学生）

○お詫びと訂正

前号本欄において、10月1日付採用の小田特命教授の氏名を誤って記載しておりました。お詫びして訂正いたします。

（誤）特命教授 小田 展政

（正）特命教授 小田 展正

（経営学研究科教授 清水泰洋）

【国際協力研究科】

○教員の異動

採用 11月1日付

政治社会発展論講座

特命准教授 MARIANA COOLICAN

(国際協力研究科教授 四本健二)

【経済経営研究所】

○教員の異動

退職 12月31日付

特命講師 田中 克幸

○2024年8月6日、兼松株式会社創業135周年記念公開シンポジウム「グローバルな企業活動を実現するために～文化の価値観の違いを乗り越え～」(兼松株式会社／公益財団法人兼松貿易研究基金主催、神戸大学経済経営研究所／一橋大学大学院経営学管理研究科共催)を開催しました。

当研究所からは、江夏幾多郎准教授が「挑戦する人を支える組織と人事」をテーマに講演を行いました。

詳細は <https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/topics/2024/20240806.html> をご覧ください。

○図書の刊行

尾脇秀和 (著)

『女の氏名誕生―人名へのこだわりはいかにして生まれたのか』
ちくま新書1818

筑摩書房 2024年9月

榎本正博・國本光正・加島美和 (編)

『鐘紡資料叢書 社長訓示編 第13巻』研究叢書90

神戸大学経済経営研究所 2024年9月

江夏幾多郎・田中秀樹・余合淳 (共著)

『人事管理のリサーチ・プラクティス・ギャップ―日本における関心の分化と架橋』

有斐閣 2024年11月

(経済経営研究所准教授 村上善道)



本部事務局だより

◇ホームカミングデイの開催

10月26日(土)、第18回ホームカミングデイが開催されました。午後からは六甲台5部局と凌霄会の共催で講演会を開催し、学部企画の講師として、弁護士の水野祐氏(平19法科大学院修了)をお招きし「21世紀に必要な法のデザイン」をご講演頂きました。今回は、コロナ禍の制約がなくなり天候にも恵まれ、多くの卒業生に来校頂き成功裏に終わりました。

同期会は10年刻みの年次(昭和59年卒、平成6年卒)が約100名参加され、正門の大階段で集合写真を撮ったり、昔の懐かしい写真を映像で見ると和気あいあいの雰囲気です。旧友と親交を深めておられました。

◇ご芳志寄附者ご芳名とお願い

期間 令和6年9月～11月

山本 学様(昭56経)

1万円

昭和39年卒同期会御一同様(卒業60周年) 8万2千円

ご寄附を賜り誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。平成25年以来お志をお寄せ頂きましたのは76件737万9千円となりました。

この度、新会員システムを11月に導入し、455万円をご芳志から支払わせて頂きました。その結果、残額は282万9千円となりました。

凌霄会是一般社団法人移行時、剰余金なしからのスタートとなり、財政上の弾力性を欠くことになりましたので、会員の皆様に引き続き「ご芳志」をお願い申し上げます。

ご芳志の振込先は次の通りです。

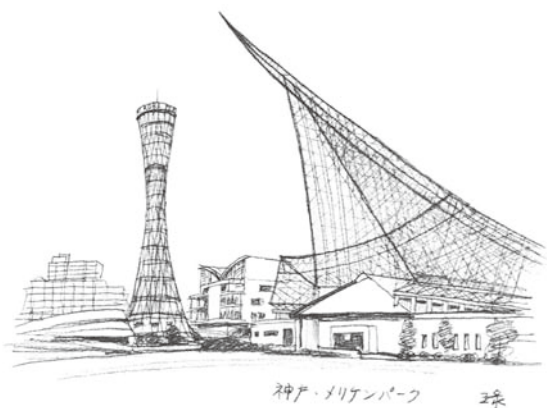
銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座名義 一般社団法人凌霄会寄附口

口座番号 4407452

(注) 同姓同名の混同を避けるため、振込依頼人欄に①卒業・修了年次(昭和はS、平成はH、令和はR) ②出身学部・研究科名③氏名―の順にご記入をお願い致します。

(一般社団法人凌霄会事務局)



（公財）神戸大学六甲台後援会だより

（79）

2024年に入ってから、国立大学の授業料についてニュースに取り上げられる機会が増えています。4月に、文部科学省が外国人留学生に求める授業料の上限が撤廃され、自由に定めることが可能となりました。中央教育審議会の議論では、国立大学の学費を年150万円に上げるべきだという提言が議論を呼んだことも記憶に新しいです。より大きなインパクトがあったのが、東京大学が授業料を次年度より2割引き上げることについて発表したことでしょう。5月に検討が報じられ、9月には正式決定されました。現在、国立大学の授業料の標準額は、年間53万5、800円です。各大学は標準額を基準とし、その20%増を上限として年間の授業料を決定することができますが、標準額より高い授業料が設定されている大学は限られています。標準額は2005年に値上げされてから20年近く据え置かれており、結果として、大多数の国立大学の授業料は維持され続けてきました。

国立大学以外の場所でも、大学の授業料がニュースとなっていることに気づきます。例えば、英国では、英国人学生の授業料の上限額が9、535ポンド（約190万円）に値上げされるという報道がありました。英国の大学の場合、海外留学生に対する授業料を高額にすることにより大学財政を維持してきたものの、ブレグジットの影響や経済情勢の変化により、留学生収入に期待できなくなったようです。ある英国ビジネススクー

ルの大学教員からは、600から700名の1年制修士課程の学生を受け入れているという話を聞きました。その相当数が英国国内学生よりも学費の高い留学生で、留学生からの授業料収入が大きな大学の収入源になっていたそうです。留学生の減少が大学財政に大きな影響を与えることが想像できます。どの国や地域においても、大学の授業料は耳目を集める問題と言えるでしょう。

日本に話を戻します。国立大学の収入は、附属病院からの収益を除くと、国庫から支出される運営費交付金と、学生が納付する入学金・授業料がその相当部分を占めております。神戸大学の2023年度の財務諸表を読んでみますと、附属病院収益を除いた経常収益のうち、運営費交付金、授業料・入学金が7割近くを占めていることがわかります。運営費交付金は、各大学の評価に基づいて配分される部分もあり、大学ごとに状況は多少異なりますが、全体としては減少傾向です。国立大学全体としては国立大学法人化がスタートした2004年度には1兆2、415億円だったものが、2024年度には1兆784億円へと15%近く減少しています。神戸大学においても、同じ期間で229億円から211億円へと9%ほどの減少が見られます。減少幅が国立大学全体に対してよりも小さいのは、大学に対する評価が反映されているためです。これ自体は良いことなのかもしれませんが、減少という事実とは厳然として存在しています。

しかし、大学に課せられた役割や期待は、これらの収入削減とは関わりがありません。先の東京大学に関わる報道において

も、収入の増加額は大学の環境整備のために必要な金額のごくわずかしかならずです。大学の教育機会の維持のため、授業料収入の値上げは学生支援の拡充とセットで行われることも強調されていきました。学生や保護者の負担増は憂慮すべき事実である一方で、授業料値上げだけでは収入不足の問題は解決できません。

収入が減少傾向にある中で、大学、そしてそれぞれの部局は様々な支出削減を行ってきました。教育水準を直接的に下げることはできませんので、そのしわ寄せは当然ながら間接部門や教員研究費に向かいます。直接的には研究費の削減や、研究資料の大学での購入停止などが多くの大学で、そして神戸大学でも行われてきました。どここの大学で、著名な雑誌に掲載された論文を入手することさえ教員の個人負担になっている、という話は折々に耳にする話です。日常的な、また大小の研究支援や事務支援などが、教員でもできることは教員がするように、という形である種「効率化」されて行きました。デジタル化によって紙の書類の冗長なやりとりがなくなり、その面では効率化は進んでいます。負担増は続いております。

幸か不幸か、神戸大学の社会科学系部局は、逆風下にあることに疑いはないものの、その中では比較的恵まれた教育研究環境にあったといえます。その理由として、同窓生の皆様からの温かいご支援があったことは言うまでもありません。在外研究をはじめとする国際交流活動や、研究成果の発表をはじめ、研究教育活動に六甲台後援会から多くの援助を賜ってきました。過去の「六甲台後援会だより」をひもとくと、同窓生の支援の

下に本会を通じて六甲台5部局への援助が行われてきたかが詳細に記されています。これまでの皆様のご支援に感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援のお願いを申し上げます。次第であります。

(経営学研究科教授 清水泰洋)

いつも皆様のご寄附誠にありがとうございます

前号でご報告させていただいた以降、11月7日現在でのご報告となりますが、多くの皆様からご寄附をいただいております。誠にありがとうございます。

金額別に、匿名様(昭59法) 千円、不動雅一様(昭41経済)、山口裕康様(昭61経営) 各5千円、匿名様(昭30法)、野間修様(昭45法)、木村三男様(昭45法)、出原 敏様(昭47法)、匿名様(昭58法)、城井康信様(昭34経済)、檀上晃利様(昭34経済)、五百旗頭邦夫様(昭35経済)、杉田文夫様(昭36経済)、堀野 勲様(昭37経済)、大西茂雄様(昭42経済)、久保 久様(昭46経済)、福田雄二様(昭54経済)、池田浩久様(昭58経済)、角井拓哉様(令5経済)、古瀬清人様(昭32経営)、村主慶一様(昭35経営)、匿名様(昭43経営)、水上明彦様(昭45経営)、岡 泰史様(昭46経営)、匿名様(昭49経営)、志戸雅美様(昭55経営) 各1万円、橋本 隆様(昭31経済)、吉本隆太郎様(昭40経済)、稲田慎之様(平6経済)、谷川行徳様(昭51経営) 各2万円、宇佐美慎三様(昭32経済)、匿名様(昭60経済) 各3万円、水島 昇様(昭51法)、鶴 浩一様(昭32経済)、瀧端美博様(昭49経済)、倉島鉄一様(昭35経営)、正司健一様(昭52経営) 各

5万円、木村壽彦様（昭46法）、三谷史生様（昭44経済）、宮本靖彦様（昭30経営）、宮野 淳様（昭42経営）、田邊弘幸様（昭43経営）各10万円、末廣雅彦様（昭36経済）20万円ご寄附をいただきました。

また、毎年、社会科学系4研究科及び経済経営研究所の先生方にお願ひしているご寄附についても次のとおりいただきました。部局順に法学研究科先生方40名の12万円、経済学研究科先生方34名の10万2千円、経営学研究科先生方49名の17万4千円、国際協力研究科先生方19名の5万7千円、経済経営研究所先生方21名の6万3千円です。毎年、先生方には大変ありがとうございます。

お陰様で、本号で新たに報告できる寄附金額は183万7千円になりました。新年度4月以降の寄附金額は551万4千7百円になりました。厚くお礼申し上げます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。また、本財団ホームページからもご寄附（クレジットカードによるご寄附、インターネットバンキングによるご寄附等）いただけますのでご利用ください。よろしくお願ひ申し上げます。

◎銀行送金の場合（メール・電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームからご寄附いただけます。<https://rokkodafund.com/>

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: k-koenkai@rokkodafund.com



凌霜会創立100周年特別企画
バックナンバー再録（「凌霜」296号・昭和62年1月）

凌霜の語源 「貞松擢秀、金菊凌霜」にめぐりあう

昭11 澤 田 修 二

初代校長 水島先生の命名

我が凌霜会の源流である旧神戸高商の同窓会は、明治四十年第一回生の卒業と同時に創立され、その後四十二年一月規則を整備して、その基礎を確立した。大正十三年四月二十三日校章の中心である菊に因み、いわゆる「金菊凌霜」の文字から水島校長は同窓会員と諮り、本会を「凌霜会」と命名、この年九月十二日に社団法人として発足したのである。

以上は昭和十四年十一月に発行された水島鍬也先生伝によるものであるが、この伝記には凌霜の語源は菊に因み「金菊凌霜」とあるだけで出典は示されていない。以来六十年余そのまま明らかにされず今日に至ったようである。

戦後発行された凌霜誌その他の刊行物をみると、出典を解明しようと努力した人が何人かいる。私もこのことに長く関心を持つていた一人であるが、このほど長年の念願が叶って出典を発見することができた。去る六月四日、国会図書館で、その原文のコピーを手にしたとき正に感慨無量、驚喜にこおどりせんばかりであった。早速凌霜誌を借り会員諸兄にお伝えする次第である。以下発見までの経緯と出典の全文を紹介しよう。

出典求めて諸先輩の努力

昭和三十二年九月発行の凌霜誌一四七号に白沢和嘉夫氏（大正六年卒）の「凌霜の語源について」と題する一文が掲載されている。白沢氏は新聞記事に出た永井荷風の日記の中の「凌霜子」の文字を頼りに、その凌霜子を探しあて、そのいわれを問い合わせたが、深い意味もなく、その名をつけたというのみで、白沢氏をいたく失望させている。同氏はその後も苦労を重ね探求を続け、多くの文献を渉猟し、「凌霜」の文字の使われている唐詩撰中の欧陽詹の詩など、あるいは今日われわれの身近に見ることが出来る諸橋轍次の大漢和辞典の「凌霜」の項についても紹介されている。この漢和辞典には次のように記されている。

凌霜 霜をしのぐ、菊が霜ををかして咲くことなどにいふ。
転じて人物の節操の高いこと。

〔謝靈運、甘賦〕性耿介而凌霜

〔賈賓王、秋月詩〕凌霜桂影塞

〔李白、鳴雁行〕客居煙波寄湘吳、凌霜觸雪毛體枯

しかし、この説明には菊という文字はあるが、引用された字句の範囲では菊という字はなく、ましてや「金菊」という字は

出てこない。白沢氏は結局いわゆる「金菊凌霜」には到達できなかったと述懐し、識者の教えを乞いたいと結んでいる。

長く凌霜の語源を探索してきた人のなかに凌霜誌編集委員の古賀蔵人氏（昭和四年卒）がいる。同氏は昭和五十一年二月発行の凌霜誌二五〇号のなかに次のように記されている。

昭和三年の新春、小雨の一月十日のこと、本科二年生の私は前校長水島先生を熊内のお宅に訪ねた。先生は前年の六月末に脳溢血で臥床され、以来おおもむね訪問客を断っておられたが、幸い次第に快方に向かわれ、やっとこの日の訪問となった。この日の最大の収穫は「菊水の徽章のいわれ」であった。先生は病床に起き直られ、ご自身の勲章の瑞宝章を示され、かつてその形象から菊水の図案化を思いつかれたいきさつを説明された。その折に、凌霜会の名称のことも、ちょっとだけお聞きした。

「凌霜とは菊のことだ」と先生は言葉少なにおっしゃられた。面談時間がもう超過した感じだったので、それ以上おたずねせずに、やがておいとました。当日お願いした題字として、しばらくして色紙大の「秋芳余香」の四字をいただいたが、これも頂戴する時に先生が「秋芳は秋の花、特に菊のことである」と一言添えられた。先生の凌霜会命名のお気持ちの片鱗をお聞きしただけで、その出典まで承れなかったのは、今となっては残念である。

二文字に凝縮された意図

ところが実は凌霜の語源について高商二回の鈴木寛一氏（明治四十一年卒）が昭和三十二年の凌霜誌一四八号で前記の白沢

氏の記事を受けた形で、凌霜名づけの経緯を詳しく述べられているのである。鈴木氏は水島鍊也先生伝記編集委員の一人で、書家として名あり、東京では凌霜会の会合では常連の一人であったので、年配の会員にはなじみの方も多いと思う。

鈴木氏によると、凌霜の二字について直接水島先生から聞いたところによると、凌霜の文字は「蘇彦」の「貞松擢秀、金菊凌霜」の八字のうちの二字をとったものである。当時は一般世人には神戸と言えは楠公さん、楠公さんといえば菊水を連想した時代である。しかし、水島先生の意図は前記の八字全部にあるので、いわゆる巨松の如く勁く、且つ、秀才出でよの意と、さらに菊花が霜に堪え、芳香を放つを望まれ、結局凌霜の二字に圧縮せられたというのである。

ついに国会図書館で発見

ここで「蘇彦」という名前が出てくる。

しかし、「蘇彦」といつてもいつ頃の人か、いくつかの中国人名事典をみても出ていない。国会図書館に行き、アジア資料室の館員の協力を得て調べてもらったところ、やっと「蘇彦」は「晋」の時代の人物であることが分かったが、凌霜の出典らしきものは発見できなかった。集英社の漢詩大系など中国について多くの刊行物をみても、「蘇彦」の名前は出てこない。いろいろ苦心の末、最近になって再び国会図書館で、調べてもらったところ、副館長の口添えもあって、同館の蔵書の中に凌霜の出典が発見できたのである。

この原典は国会図書館蔵書で「全上古三代秦漢三国六朝文」

第三卷（中華書局、一九五八年版）（藏書番号九二一、四一G二四乙）の中の「全晋文卷一百三十八」である。この書によると蘇彦は「孝武帝の時北中郎參軍となる」とある。孝武帝（三六二―九六）は中国、東晋第九代の皇帝であった。漢の時代のあとに魏、蜀、呉のいわゆる三国の時代があつて、そのあとに六朝といわれる呉、東晋、宋、齊、梁、陳の六つの王朝が二二九年から五八九年まで三百六十年間、江南の地に興亡を繰り返していた。東晋の時代はこのうち三一七年から四二〇年まで、孝武帝の帝位にあつたのは三七三年から三九六年までとなっている。

蘇彦はこの孝武帝に仕えたのであるが、同時代の人には書家として王羲之（三二一―三七九）や王献之（三四四―三八八）がおり、詩人では有名な陶淵明（三六五―四二七）や謝靈運（三八五―四三三）がいる。

六朝時代の「蘇彦」の漢詩

この時代は日本では古墳時代にあたり、大和朝廷の成立期とされる時代である。さて、問題の貞松擢秀、金菊凌霜の出てくる漢詩は「秋夜長」と題するもので、その全文は下記のとおりである。訓読みについては、読者の参考のため識者の手を煩わしたものである。（編集部註、漢詩及び訓読みは省略）

水島先生の遺墨は今日数知れず残されている。その代表的なものに「凌霜雪而香」があるが、この言葉は現在神戸大学本館前の水島先生生誕百年の記念碑面にその素晴らしい筆跡を残し

ている。この字句にみるように先生の書は殆んどが、返り点をつけなければ読めない漢文調のものが多い。

先生は元治元年（一八六四）豊前中津藩士水島均の長男として生まれ、七歳のとき郷里にある光明院内の寺子屋で手習いを受け、八歳のとき陣野某から漢文を学んだ。この頃から父と叔父増田宗太郎から儒学的教育を受けた。特に叔父の増田氏は古武士肌で、のちに西郷南州とともに城山で討ち死にした人であるが特に詩文に堪能であった。九歳のとき父と叔父の増田氏に伴われて上京し、跡見花隠について書画を習い読書の指導を受けた。先生はここに入門後数か月で早くも花隠に伴われて、華族屋敷や書画の会に臨席し、人前で堂々と揮毫し、師から授かった雅号「静山」と署名するほどになった。先生の漢学の素養と書画の素地は既にこの頃から培われていたようである。

前段で述べたように、凌霜の語源について、蘇彦の名と金菊凌霜の語句を示されたのは鈴木寛一氏である。ほかにこのことを言う人がないから、会員のなかには、あるいは鈴木氏の独断であったのではなかったかと危ぶむ人があるかもしれない。しかし、その懸念は無用と思う。

金菊凌霜の字句からとったことは水島鏡也先生伝に明記されている。この伝記は昭和十四年に愛庵会という先生に最も近い弟子たちのグループによって発行されたものである。その「はしがき」には「この書は昭和十年から足立丑六氏外三氏により資料の蒐集が行われ、編集執筆は伊藤富士雄があたった。さらにその草稿を鈴木祥枝、堀内泰吉、竹中政一、奥居彦松、鈴木

寛一、松阪啓太郎、渡部義雄の委員七名が、数度にわたって検討補正、完稿したものであり、ここに委員の氏名を記してその責を明らかにする」とある。

私自身は右の委員のうち、鈴木祥枝（一回）、堀内泰吉（同）、鈴木寛一（二回）、松阪啓太郎（四回）の諸先輩には親しくかわいがってもらった者の一人であるが、これらの人たちは皆錚々たる論客であった。伝記の内容にいささかも疑いを入れる余地はないものとする。

ついながら、如水会の如水の出典は禮記の「君子之交淡如水」である。水島先生がこれを得意の左横書きにされた扁額が現在如水会館（三階武蔵野の間）に掲げられているから機会があればご覧願いたい。先年私が凌霜本部から依頼を受けて、この額を写真に撮って送ったことがある。平井泰太郎先生の書かれた「水島鋏也」の巻頭に出てくる写真はその時のものと思う。

（昭11卒 凌霜会理事）



神戸法學雜誌 第74巻 第2号（2024年9月）

研 究

行政法解釈と憲法・憲法解釈……………	中 川 丈 久
米国証券詐欺訴訟における puffery defense……………	熊 代 拓 馬

研 究 会 記 録

欧州消費者団体に聞く：巨大IT企業と消費者、競争

—デジタルプラットフォームと政策形成過程—

ロビー活動透明化、競争と消費者保護の関係に焦点をあてて—

……………神戸大学プラットフォーム科研



神戸大学とのご縁

法学研究科准教授 安 永 祐 司

赴任して1年にも満たない新任教員の私であるが、私にとって神戸大学は元々とても縁深い大学であった。というのも、父（安永正昭）が、法学研究科で教鞭を執っていたからである。私の有する最も古い神戸大学の記憶は、いつのことかは覚えていないが、六甲登山口から六甲台第一キャンパスまで車で上がって行く際に信号に引っかかったときに「こんな急な坂の途中で停まって大丈夫か？」と助手席で強張って座っていたこと、その後、車を駐車し、第五学舎から兼松記念館に上がって行く坂の途中で、父が「この土のところが、猪が掘り返しているな」と教えてくれたことである。

要するに、古い記憶の中の神戸大学は坂の上の猪が出る父の職場であった。とはいえ、実家が大学から少し離れていたため、高校卒業までの間に神戸大学を訪れたことは数える程しかなかったと思う（父のゼミ生のお兄さん・お姉さんたちが、実家まで遊びにいらした回数の方が多いのではないか）。20歳くらいまでの間の鮮明に残っている記憶といえば、発達科学部でセンター試験を受験したこと、父の退職に際して何度か研究室の整理を手伝いに来たことくらいであり、キャンパスの全体像を知ったのは赴任直後に父と息子とキャンパス内を散歩したのが初めてである（掲記の写真はそのときのものである）。

ともあれ、こうしてよくよく考えてみれば、（父を介してとはいえ）個人的に最もお付き合いが長い大学は、神戸大学であ

った。学部時代から就職前の修行期間までをお世話になった京都大学の12年間（2008年4月～2020年3月）よりも、前任校である広島大学の4年間（2020年4月～2024年3月）よりも長い期間、少なくとも私が生を受けてから2009年3月に父が神戸大学を退職するまでのおおよそ20年間、私は父が神戸大学からいただいたお給料により育てられたのである。その神戸大学とのご縁がまさか再開し、また、神戸大学からいただいたお給料で自分の息子のオムツ代を賄うことになるとは、想像だになかった。望外とはこのことである。

こうして、高校卒業まで神戸で育った私は、晴れて故郷に戻ることとなった。16年ぶり2度目の神戸市民である。おかげで、頻繁には顔を合わせることが難しかった両親とも月に数回は食事を共にすることができるようになった。両親には助けてもらうことの方が多いが、少しは親孝行ができていような気がする。妻の実家も六甲山を越えたところにあり、こちらも概ね同様の状況である。また、近隣の県立高校に勤める兄・姉と



も、何でもない小さな用事でも直接会えるようになった。広島での生活も素晴らしいものであったが、家族が近くにいることの安心感は大い。大変有り難いことと、心から感謝する日々である。

神戸大学に赴任して半年ほど経った感想も一つ記しておきたい。赴任に先立っては、「第二学舎内にある『教員控室』には研究科の教員が集まり、様々な情報が共有され、研究に関する議論も頻繁に交わされる」という話を聞いていた。私は、「神戸大学に所属される先生方は多忙を極めており、自分の研究室に籠っているのが普通であって、話を盛っているのではないか？」と半ば疑っていた。しかし、上記の話は真実であった。授業期間の平日勤務時間中に控室に寄ると、90%以上の確率で同僚の先生がいらっしやるのである。では控室に教員が集まる理由は何かと考えてみると、控室には、教員ポストが配置されており、また、最新の法律雑誌、お茶やコーヒーなど（しばしば出張土産のお茶菓子）が常備されているため、出勤時や授業・学内会議の前後には、自然と立ち寄り、時間を調整あるいは休憩することになる。要するに、各人の動線の中に控室が組み込まれているのである。私もよく立ち寄るが、顔を合わせた先生と喋っているうちに人が滞留していき、気づけば小規模な研究会が開催されていたこともある。あるベテランの先生は、「教員控室は研究科所属の構成員が変わっても研究科の性格を維持・継続する竜骨のようなものだ」と指摘されていたが、まさにその通りであると実感する次第である。前任校の広島大学もそうであったが、同僚の先生方には大変温かく迎えてくださり、心から感謝を申し上げたい。

最後に、仕事の面にも言及しておきたい。私の専門は民事手

続法であり、これまでに関わった仕事ないし公表してきた論考は、①民事訴訟法固有のもの（ただし、判例紹介・評釈などの小論が中心である）のほか、②民事執行法（特に、執行法総論、作為・不作為執行）、③行政法との交錯領域（特に、環境法や消費者法・経済法など行政規制と民事差止訴訟による法執行が併存する領域）、④倒産処理法（特に、先般成立した事業性融資推進法）、⑤家族法との交錯領域（特に、家事債務執行、家族と破産）、⑥仲裁法（暫定保全措置、仲裁合意の主観的範囲など）に関するものといったように多岐に渡っている。（民事）実体法の目指す法状態を実現するためには結局裁判手続を経由する必要があるため、裁判所が取り扱う事象全体へと関心が広がっていったということである。もともと、これまでを振り返って戦線を拡大し過ぎたうらみもないではない。今後は、これまで勉強してきたことに通底するような民事訴訟法学の基礎的テーマについて一度じっくり考察を加えて、世に問うような仕事ができればと考えている。

（付記）私の研究室の書棚の一角には、本学の学長も務められた鈴木正裕先生からいただいたご蔵書が並んでいる。鈴木先生は、改めてご紹介するまでもなく、ドイツ民事訴訟法を中心としてご研究を進められ、民事訴訟法学の発展に多大なる貢献をなさったが、収集された書物・資料などを、晩年、（父と鈴木先生とのご縁もあって）私にお譲りくださったのである。これらの書物・資料は、この度、鈴木先生が長年過ごされた神戸大学に帰ってきた。これもまさにご縁というほかなく、これらを参照した研究を進めるとともに、いずれは次の世代に繋いでいく責任を感じている。



1年間のサバティカルでヨーロッパへ

経済学研究科准教授

ヴィエシボフスカ

アガタ

私は、神戸大学経済学研究科で博士号を修得した後、2015年から教員として勤め、任期付きの契約とテニユア・トラックの末に、2019年より任期なし教員として経済学部・経済学研究科で研究と教育に携わっています。研究はヨーロッパを中心に金融政策や銀行システムに関わる実証研究、教育は「ヨーロッパ経済論」を中心に専門科目のほか、留学と英語での経済学を使いこなす力を身につけることを重視している5年一貫経済学国際教育プログラム（IFEEK）を担当して、その一部の科目を教えています。

2023年度に、教育とその他の業務を免除される、一年間の有給の研究休暇、いわゆる「サバティカル・リープ」をいただきました。その機会を使って、自分の研究を進めたいこと以外、普段できない経験もしたくて、ヨーロッパへ行くことを決めました。まず、半年の間、ベルギー・ブリュッセルに滞在して、その後約3カ月をポーランド・ワルシャワで過ごしました。神戸大学から離れて、久しぶりに長めにヨーロッパで滞在できて、視野を広げて、楽しく過ごしながら、新しいものを学ぶことが目的でした。

まず、ブリュッセルでは、滞在機関は大学ではなくシンクタ

ンクであり、アカデミックの世界とまた違う環境に身を置きました。たいへん刺激的な、ハイペースの世界です。長めの時間をかけて、研究・分析を行う方もいますが、今日明日に出すためコメントや記事を書くことも珍しくないようです。特に、滞在したシンクタンクは欧州連合（EU）の政策や課題を中心に取り上げているところで、政策発表や役人の重要な発言に合わせて分析記事を作ることがあります。

ブリュッセルもEUの中心部であり、このハイペースな環境で、少し圧倒されたのも事実ですが、EU政策に関する高度な分析や議論が行われている場所であるため、最新のテーマやその論点に直接触れることができました。今のEUでは、特に、気候変動政策、気候変動対策として不可欠とされる「グリーン移行」の様々な課題点、それに関連もしているエネルギー改革、地政学的な不安定におけるEUの立場や経済安全保障、そしてウクライナ問題は主なトピックとなっていることを強く印象を受けました。私の研究では、欧州中央銀行の金融政策の効果からスタートして、近年はヨーロッパ銀行システムの問題を主に取り上げています。今回のヨーロッパ滞在の他にも、その研究を進めようと思っていました。ただ、周りの「グリーン」に関する注目が

高くて、その影響も受けたため、想定していた方向性を少し変えて、滞在中から「グリーン移行」における銀行の立場や役割に興味を持って、新たな研究トピックにしました。今までの自分の研究では、世界金融危機や欧州債務危機中と危機後の銀行システムの状態、欧州中央銀行の非伝統的な金融政策の波及効果における銀行の役割、新型コロナウイルスのパンデミックによる欧州の銀行システムへの影響という点を取り上げたため、これからの大きな課題・挑戦点とされている気候変動に関する研究は自然な延長線であったとも言えます。

EUにおいて気候変動に関する政策と議論が多岐にわたり、金融政策や銀行システムとの関連性も含まれています。銀行については、欧州中央銀行は監督機関として、金融安定性や銀行へのリスクという観点から注目し、様々な分析を行い始めています。欧州中央銀行、欧州銀行機関やその他の関連機関が出した報告書、分析や提案文、欧州中央銀行の役人によるスピーチなどを調査して、現在の考え方や取り組み、分析結果の確認から始めて研究を進めました。新たな分野で、公式レポート以外のデータがなかなか入手できない状況なので、「欧州中央銀行における気候変動リスク」をテーマに、リスクの推定結果、推定における課題点、新たなルールや監督機関の動きをまとめて紹介するようにしました。まだまだ気候変動と銀行システムのテーマにデータ分析を行った実証研究はできていない状況ですが、これから少しずつ研究を進めたいと思っています。

ベルギーでの滞在はシンクタンクの世界をみて、新たな研究テーマを得た観点からだけではなくとても有益な時間でした。

冒頭で書いたように、私はIFEKプログラムを担当して、経済学部生・院生の派遣留学にも携わっています。「外国へ勉強に行く」という点で派遣留学と似ているような経験を新たにできて、留学に関するアドバイスをする際にも役に立っています。ベルギーの公用語であるフランス語もオランダ語もわからない中、数ヶ月の生活を送るという点からみても実に面白くて刺激的な時間でした。

ブリュッセルでの滞在与比べて、ポーランド・ワルシャワでの滞在はそこまで刺激的ではありませんでした。ポーランドは私の母国で、長めの滞在は嬉しくて、楽しく過ごしてリラックスもできる時間となりました。共同研究と一緒にいる先生の大学で滞在して、研究活動のほか、様々な研究者と話をしたり、研究会やカンフェレンスに参加したり、充実した時間を過ごしました。自分の研究だけではなく、ほかの研究分野にも触れたり、ポーランドの大学の現状について聞いたり、様々な話がありました。

このように1年間のサバティカルでは、久しぶりに長めにヨーロッパで滞在して、単なる帰省の時にはできない経験ができたり、気づかないことに気付いたり、勉強にも、リフレッシュにもなった時間を過ごしました。以前から行っていた研究を論文にまとめて、学術雑誌に送ることや学会報告もしましたが、どっちかと言えば成果をまとめたものは多くなく、様々な新しいものに気付いて触れて、今後の研究として残したものが多いです。この一年間の経験を活かし、これからの研究や教育活動に取り組みたいと思っています。



着任の挨拶にかえて

経営学研究科准教授 田 頭 拓 己

私はこの文章を午前6時9分東京駅発、新大阪行きの新幹線車内で書いている。右手の窓からは朝日を浴びた富士山が見える。車内では走行音に加え、あちこちからキーボードを叩く音が聞こえる。

私はこの景色と環境を好み、7号車の窓側E列席を選んで新幹線に乗る事が多い。この7号車はS-Work車両と呼ばれ、車内で仕事に集中したい乗客向けに用意されている。この空間で仕事をする事は2024年4月に神戸大学に着任して以来、私の日常の一部になった。本稿では、このようなライフスタイルに至るまでの経緯を振り返り、自己紹介を交えながら着任にあたっての抱負を述べたい。

私は2012年から2017年までの間、大学院生として神戸大学大学院経営学研究科に在籍していた。専門はマーケティングで、南知恵子先生の研究室に所属しながら、小売企業の戦略と成果との関係を定量的に分析する研究を行ってきた。神戸大学では多くの学友や尊敬できる教員、親切な職員の方々に恵まれ、とても有意義な時間を過ごした。しかし、当時も、その後キャリアを積むなかでも、私が神戸大学に教員として戻る日が来るとは思いもしていなかった。以降では、私が神戸に戻る

ことを決めた理由とそこに至るまでの短いキャリアを振り返りたい。

2017年3月に博士号を取得した私は、その後東京にて大学教員としてのキャリアを開始した。東洋大学にて数ヶ月、東京大学にて2年弱助教として研究に励んだ後、2019年に一橋大学にテニユアトラック教員として着任した。テニユアトラックとは、一定期間内に業績要件をクリアすることで任期の定めのない教員に昇進できるという、若手教員向けのポジションである。大学によって業績基準は違うが、一橋大学も神戸大学と同様に国際的な競争力を求める大学であったため、一定以上の評価を得ている国際的な学術誌に論文を複数掲載することが昇進の条件であった。

2019年には第一子の長女の誕生も重なった。その幸せとテニユアトラックの重圧を感じながらも、2022年4月には要件を無事クリアし、任期の定めのない准教授職に昇進した。同年には次女も誕生し、4人家族で慌ただしくも楽しい生活を送っていた。

事程左様に、私は博士課程修了以降、東京にてキャリアと生活の基盤を築いてきた。それに加えて、妻も私も東京（の郊外）

の出身である。特に妻は進学も就職も全て東京都内で完結しているため、東京に深い根を張っている。

大学教員の就職や移籍というのは運とタイミングに大きく左右される。自身がどれだけ願っても、希望の大学にポストが空いていない限りその大学に勤めることはできない。その中で私は運良く一橋大学にてポストを得ることができたため、神戸大学については移籍の機会があることすら想像していなかった。

しかし2023年のある日、一本の電話を受けた。神戸大学での教員ポジションへの打診だった。電話をしてくれた先生は真摯に本件の経緯と私を誘うことについての考えを語ってくれた。私には研究者としての成果に加え、次世代の研究者を育てる教員としての役割も期待していると伝えてくれた。しかし、その場で即答はできず「検討させて欲しい」と伝え、電話を切った。

それから妻に本件を相談した。「どうしようか」と言う私に對して彼女は「あなた自身はどうしたいのか」と尋ねた。もつともである。

しかし私自身の意思は存外すぐに折り合いがついた。おそらく迷っていた時点で、内心では既に気持ち動いていたのだらう。私は神戸大学へ移りたいという気持ちを妻に伝えた。その後今回の打診を承諾、大学内での審査もクリアし、採用に至った。

一方で、家族での生活とどう折り合いをつけるかは難しい課題だった。妻には仕事があり、長女にも東京でコミュニティができて始めていた。私と我々のバランスを考え、我々は東京に住みながら、私が神戸へ遠距離通勤するという方法を選んだ。業

務がある日は、朝に神戸へ出勤し、その日の夜に帰京する。早朝からの出勤が必要な時や、帰りが遅くなる場合には宿泊し業務にあたる。その間妻は1人で娘2人の面倒をみていてくれる。妻の支えがなければ成り立たない生活だと感謝している。

このような経緯により、私は日常的に東京―大阪間の新幹線に乗車している。それでも神戸大学への移籍を決めた理由は、ここで私に求められている役割と、それを達成するための環境にある。神戸大学では、研究や学部での教育に加えて、大学院で次世代の専門家を育てることも求められている。私自身、後進の育成に関わることは非常に尊いことだと思っている。自身の能力的限界によって達成できない目標があっても、その人達がそれを克服してくれるかもしれない。私にその役割を担う機会があるならば、そこで尽力しようと決断した次第である。また経営学研究科には現在、私と同年代の教員が分野を越えて多く在籍しており、研究や教育に関して協力し合える環境も魅力的だった。本稿を書いている時点ではまだ着任から半年が経過したばかりだが、学生や同僚と関わり合う中で充実感を覚えている。この環境で、凌霜会の先輩、同輩、後輩たちに恥ずかしくない仕事ができるよう、尽力していく所存である。

本来であれば、「新大阪に着いた」という形で締めくくりたいところだが、私は筆が遅く、そううまくいかない。私は今、第二研究室にある自分のオフィスでこの原稿を書き終えようとしている。窓からは兼松記念館が見え、外からは運動部の掛け声が聞こえてくる。



国際教育のオンライン化という新たな挑戦

国際協力研究科特命助教 米 沢 竜 也

神戸大学の正門を入ると、正面に本館に向かう階段が見えます。この景色は神戸大学を代表する景色の一つだと思います。

ただ、私にとっての神戸大学の原風景は、正門を入って左側にある坂道と、その上に架かるアカデミア館と本館を結ぶ歩道橋です。2000年代に国際協力研究科の学生だった私は、正門に着くと左側の坂道に曲がり、歩道橋と高い木々を見上げながら校舎に向かったものでした。当時と比べても歩道橋の姿はほとんど変わっていませんが、私は2024年の10月から国際協力研究科の特命助教を拝命し、立場は大きく変わりました。

今、この歩道橋をくぐりながら研究科に通う毎日ですが、この風景を見るたびに学生時代の自分と今の自分が重なり合い、懐かしさと寂しさが入り混じった不思議な感情が湧いてきます。「神戸大学は自分の一部なのだ」と、改めて実感する日々です。この先もまた、この歩道橋の風景は人生の節目節目で自らを振り返るきっかけをくれることでしょう。

さて、感傷に浸るのもつかの間、特命助教として与えられた業務は、国際協力研究科の国際学術・教育交流プログラムの実施です。具体的には、日本政府が立ち上げた「IV-Campus」というオンラインプラットフォームに、国際協力研究科として

オンライン型授業コンテンツを提供するプロジェクトのコーディネーションを主に担当しています。

IV-Campusはまだ設立されたばかりで、私自身も着任してからその存在を知りました。このプラットフォームは、日本の大学がそれぞれ授業コンテンツを出し合い、それらをテーマごとにパッケージ化することで、海外の学生が日本の教育コンテンツを「いいとこどり」できるような仕組みを提供することを目標としています。言わば、海外の学生を日本の大学教育へとつなぐオンラインの窓口を作り、グローバルな高等教育市場においても優秀な学生を確保しようという戦略的な国家プロジェクトです。これまでも日本の大学の「国際化」や国際競争力の強化が謳われてきましたが、それを実現するために「オンライン化」が新たに求められていることになりました。IV-Campusプロジェクトを通じて、私は大学教育が国際化とオンライン化の避けられない二つの流れに直面していることを実感しました。

国際協力研究科は、その名の通り、国際的な問題に関心を持つ学生が国内外から集まる、神戸大学の中でも最も国際化が進んだ研究科の一つだと思います。多くの授業が英語で提供され、卒業生もまた国内外の機関・企業で活躍しています。研究科で

は、英語に限らず、各自が専門とする地域の言語や文化に精通した先生や学生が多く、非常に多言語的かつ多文化的な環境が特徴です。このような環境で業務ができることは、私にとって非常に刺激のかつ魅力的だと感じています。

それでは、オンライン化の現状はどうでしょうか？神戸大学に限らず、日本の大学の授業や教育交流の現場は、オンライン化・ハイブリッド化がすでに定着しています。授業やセミナーはオンラインで実施され、様々な場面でオンライン技術は活用されています。しかし、それは優秀な学生確保や教育効果の向上といった戦略的な目標によるものではなく、コロナ禍で急速に進んだオンライン化がそのまま定着した結果という側面も否めません。一方で、日本のゼミ形式の教育は他国にはない特色を持ち、コミュニケーション型教育として強みがあると考えます。対面型授業とオンライン化した授業が共存するなかで、両者のメリットを生かして相乗効果を生む仕組みを作ることが求められているといえるでしょう。

加えて、広報という観点からもオンライン化は重要です。オンラインオープンキャンパスの広がりが見え、オンラインの手軽さは広く受け入れられています。国際協力研究科では、英語ゼミ形式の教育やキャリア形成につながる多様な国際プログラムを強みとしています。こうした長所は積極的に発信しなければ、数多くある大学のうちの一つとして埋もれてしまいます。

ここにオンライン化の利点が出てきます。JV-Campusのオンライン授業を、国際協力研究科の強みを認識してもらう入口

として活用すれば、オンライン授業と対面授業の相乗効果で国際協力研究科の競争力をさらに高めることができると思います。このようにオンラインと対面の融合を目指した新たな試みとして今回のプロジェクトを位置づけることができるのではないのでしょうか。

もちろん、オンライン授業は動画の提供だけでなく、オンラインで学習が完結する管理システムの活用が前提となり、対面型授業とは異なる準備をする必要があります。私もプロジェクトを通じて、新たな知識やソフトウェアの習熟に努めています。オンライン化は、学生にとってはより多くの選択肢を提供する一方で、教員には新たな技術の習熟と活用も求めるので、新たな挑戦であることは間違いありません。

私自身、国際協力研究科の卒業生として、多くの国際教育プログラムに参加し、専門知識だけでなく、人間的に成長できる機会を得ることができました。そうした機会を通じて、今国際交流プログラムの実施に携われるようになったことに深く感謝しています。JV-Campusプロジェクトの業務を通じて次世代の国際的な人材育成に貢献できることは何よりも幸いなことです。同プロジェクトのオンライン授業を通じて、国内外から多くの若者が神戸大学に集い、アカデミア館から架かる歩道橋を見上げながら未来の夢を育んでいく、そうした好循環を創り出せるように邁進していく所存です。

戦後の卒業アルバムと学内メディアで見る「ここが変わった神戸大学」

昭58 住田 功一

「学園祭」その5

戦後の神戸大学の学園祭を、卒業アルバムや『神戸大学新聞』、放送委員会の『KUBC PRESS』（1981年創刊）、ニュースネット委員会の『神戸大学NEWSNET』（1995年創刊）などでたどってみると、その「テーマ」の変遷には時代を感じることができます。

1971年からは学部祭「六甲台祭」に

神戸大学では、1969年8月7日、戸田義郎・学長事務取扱（当時）による封鎖解除通告が行われ、翌8日機動隊が見守る中で封鎖解除が行われました。大学紛争の嵐は次第に沈静化していきました。

この紛争を経て、神戸大学の学園祭「大学祭」は、全学統一の枠組みがはずれ、1971年から学部ごとの学園祭の時代に入ります。

ここでは、六甲台3学部（経済・経営・法学部）の「六甲台祭」をみていくことにしましょう（1980年から始まり、現

在も続く「六甲祭」とは別の、学部祭です）。

1971年の最初の六甲台祭になっても、恒例の「前夜祭仮装行列」の企画が引き続き行なわれています。「沖縄協定 批准反対」のプラカードを掲げた学生のモノクロ写真が掲載されています。

第1回六甲台祭は、「索惟究」をテーマに開催されました。以後、六甲台祭は、毎年テーマが発表されるようになりました。第2回は「共感」、第3回は「人間性」といったワードが掲げられ、第4回は「わ」、第7回は「現実」と、大学紛争の余波や反動を感じさせるテーマが続きます。

1976年の第6回は、「70年代後半と我々学生」をテーマに行われましたが、実はこの年、少し新しい動きがありました。これについては次号でお伝えします。1979年の第9回のテーマは、「80年代への飛翔」。これが最後の六甲台祭となりました。

「六甲台祭」テーマ一覧

1971年 第1回「索惟究」

1972年 第2回「共感への模索―見つめよう六甲台の現実を

とぎすませ批判の刃を―

1973年 第3回「人間性を求めて」

1974年 第4回「わ」

1975年 第5回「昔、カラスは白かった」

1976年 第6回「70年代後半と我々学生」

1977年 第7回「現実へのアプローチ」

1978年 第8回「75周年、そして神大生は今……」

“What are you doing now?”

1979年 第9回「80年代への飛翔」

11月開催が定着

1973年の第3回は、11月24日、25日に、1974年の第4回は11月15日～17日、1975年第5回は11月14日～16日に開催。

1977年の第7回は、11月11日～13日に行なわれ、1978年の第8回も11月10日～12日に、1979年の第9回は11月16日～18日に実施されます。

それまでの、昭和20年代後半の統一学園祭の時代は5月15日の創立記念日を中心に行われていましたが、六甲台祭は11月の第2週か第3週に開催されることが定着していきます。

そして、1980年には、全学祭が復活し「六甲祭」へとつながっていきます。

〔六甲台祭〕パンフレットの表紙をカラーページに掲載しています）

国民経済雑誌 第228巻 第3号（令和6年9月）1

論 文

山田方谷における気の自然性と形而上的理の解体

一形而上下から形而前後への転換……………原 田 勉
デジタル社会的市場経済の構想……………永 合 位 行

地方公共団体における人事評価制度に関する予備的調査：

実質的な利用と形骸化……………田 中 政 旭
梶 原 武 久

表紙のことば

私が現在の地に居を構えたのは昭和53年11月、当時は埼玉県大宮市でした。大宮駅周辺はデパートや商店、飲食店が立ち並ぶ繁華街でしたが、家の方に向かう途中からは、田んぼや畑が広がり芝川や見沼用水といった水路が延びて、いかにものどかな田舎の風景が続きました。家の前は雑木林で横は畑、人家もまばらでした。健康のためと、今は亡き妻と一緒に毎朝、出勤前に1時間ほど近所の散策をはじめ、雨の日も風の日も霜の降りた寒い日も、妻が膝を痛めた10年ほど前まで毎日続けました。

追憶

昭45 宮 押上 重 郎

次第に周囲も開発が進み、平成13年5月には大宮、浦和、与野の3市が合併してさいたま市が誕生、平成18年11月に、この絵に描いた水辺のある合併記念見沼公園が出来ました。園内には、沼や湿地、芝生広場などがあり、雑木林や湖畔林が

次第に周囲も開発が進み、平成13年5月には大宮、浦和、与野の3市が合併してさいたま市が誕生、平成18年11月に、この絵に描いた水辺のある合併記念見沼公園が出来ました。園内には、沼や湿地、芝生広場などがあり、雑木林や湖畔林が

はじめてこの景色を目にしたときに、実際にはこのような景色をこれまで見ていないにもかかわらず、何故かしら懐か

しく昔を思いおこさせるような既視感を覚えたことを思い出します。西陽を受けた木々のシルエットと池に映る西陽のきらめきがとても美しく、これを何とか絵に表現してみたいと思いました。夕暮れ時でもあり色彩は薄らいでいましたが、実際よりもシンプルな印象にと思い、モノトーンを主体に西陽だけを金色にかがやかせ、また水面のきらめきを強調したいと思い、日本画固有の銀箔貼りで表現してみました。

追憶というタイトルを冠した本作は、さいたま市の美術展において市長賞の栄に浴すことが出来ました。私の絵の制作をいつも見守り励ましてくれて、その受賞も誰よりも喜んでくれた妻への感謝とともに想い出を終わりたいと思います。

『国民経済雑誌』 定期購読のご案内

神戸大学経済経営学会からのご案内です。

学生時代に入会されていた方も、そうでない方も是非ご検討ください。

100年以上の歴史をもつ『国民経済雑誌』には、神戸大学の経済系、経営系の教員が執筆した最新の研究に基づく論文が掲載されています。世界レベルで活躍されている母校の先生方の論文に触れることができます。また最先端の研究成果を学内のみならず、学外の研究者のものも含めて紹介しています。

先生方の専門分野の重量級の論文が掲載されていることはもちろんですが、その時々の特ピックを題材にそれぞれの先生の得意分野の切り口で解説される論文、講演記録、書評などが掲載されています。

『国民経済雑誌』は今後の日本経済の先行きを考察するヒントが詰まった、他には類をみない出版物と言えるでしょう。

最近の『国民経済雑誌』から

以下にご紹介するような幅広い分野の興味深い論文、時代の趨勢を背景とした論文が掲載されています。

デジタル社会的市場経済の構想（令和6年9月号）

永合 位行

地方公共団体における人事評価制度に関する予備的調査：

実質的な利用と形骸化（令和6年9月号）

田中 政旭 梶原 武久

流動性プレミアムがROEに及ぼす効果：財務レバレッジの分解公式（令和6年9月号）

森 直哉

本学を卒業された方の年間購読料は、卒業生割引価格の8,040円となっております。

申し込みをされた方には、『国民経済雑誌』を定期的にお届けします。

いつからでも開始できます。是非ご購読ください。

2023年度から季刊誌となり、3月、6月、9月、12月に発行していましたが、2026年度から、1月、4月、7月、10月発行に移行いたします関係で、2025年度は、3月、6月、9月発行とさせていただきます、次号は、2026年1月号となります。

お問い合わせはこちらまでお願いします

神戸大学経済経営学会事務局

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学経済経営研究所内1階

Tel・Fax：078-803-7228

E-mail：kkg@rieb.kobe-u.ac.jp

凌霜ネツトワーク

スケート部創部70周年祝賀会

阿片 仁孝（昭54経）

と き 令和6年6月29日（土）
ところ アカデミア館「さくら」

本来は2021年度に実施する予定だったが、世界的に大流行した新型コロナウイルスのため延期となっていた。

コロナ対策について神戸大学の活動制限指針が緩和されたのを受け、六甲台第1キャンパスのアカデミア館で3年遅れで開催することとなった。子育て世代の参加を促す目的で「キッズコーナー」を用意した。

祝賀会にはスピード、フィギュア部門のOB・OG 37名が参加したほか、現役部員35名も顔をそろえた。OB・OGの子ども7人がキッズコーナーを利用した。

まず、OB・OG組織である「氷凌会」の兵頭政幸会長（昭52理）が「待ち望んだ祝賀会がようやく開催できた」などと話して開会を宣言し、出席の中で最年長の團野信博氏（昭44工）がお祝いの言葉を述べた。

参加者は久しぶりの再会に話が弾んでいた。

また、現役部員はプロジェクターを使って活動を報告し、会

場を盛り上げた。

祝賀会の最後に、兵頭会長の退任が発表され、後任に竹内知子氏（昭58教）がつくことになった。

2022年12月には、祝賀会に先立ち70周年記念誌（B5判、70ページ）が発行されている。

スケート部の活動は、西宮市のひょうご西宮アイスアリーナや神戸市のポートアイランドスポーツセンターなどで氷上練習を行っており、国民体育大会（現・国民スポーツ大会）出場者も輩出している。

フィギュア部門は、国公立フリースケーティング大会での優勝が第一目標で、スケートティング技術と表現力の上達を図っている。日本スケート連盟強化選手の壺井達也君も所属している。

スピード部門は、トラックの小さいショートトラックでタイムの向上を目指している。京都大との対抗戦「神京戦」を毎年開催し、技術を高めあっている。嶋田帆果さんは2024年1月の国民スポーツ大会成年女子3000mリレーで優勝した兵庫県チームの一員である。



凌霜ひろば

一世を風靡した旧官立神戸高商の

当時の教えを再現しよう！

松 熊 忍 (昭47宮Ⅱ)

「学理と実務の両立」を重んじる研究・教育が重視されていた旧官立神戸高商の当時の講座もしくは授業を再現してはいかがでしょうか！

(理由) 今のままだと日本が没落する恐れがあります。日本は画一教育から抜けておらず、変化に対応する人材の育成には不十分です。これからの時代には決まった正解を答えるのではなく、自ら課題を発見し、解決できる能力が必要となります。日本の高校生は、個人やグループで調べる授業が少ないと感じ、又、米国・中国・韓国と比べて、「授業中、積極的に発言する」割合が低くなっています。このままだと、日本の凋落に拍車をかける可能性があります。

(具体例) さて、明治維新の前後はどうであったか！すごい人材がいました。幕末の偉人で「教育者」でもあった吉田松陰です。「松下村塾」を作り、後の明治維新を支える多数の要人を育てましたが、秘密は教育方針にあります。あるテーマで塾生同士が激しく討論をし、時には塾生が自ら教壇に立って授業することもあったと言われています。又、松陰は各人の得意分野を見抜いた上で、それぞれの強味を伸ばす指導を行う。こういった教育方針のおかげもあり、多くの著名人を輩出できたのでしょう。

旧官立神戸高商では、「徹底した実践主義を貫いた」初代校長水島鏡也の下からは経済界、実業界を代表する数多くの人材を生んだが、もともと優秀な生徒達が入学したが、その上で実行を伴う「組織による徳育」が導入されていて、教員と生徒あるいは生徒同士の交流を通じて互いの品性を高め修養を積むことが期待されていた。

吉田松陰の「松下村塾」と、旧官立神戸高商の教育方針は多いに似通った所がある。

(結論) 旧三商大で講座の開設、もしくは授業の歩調をあわせられることに手放して賛成です。又、他の旧高商を起源とされる各校に光明を見出して頂ければ、栄誉の至りであります。





『岡田卓也の時代』

公器の理念が支えた静かなる流通革命』

碩学舎 2024年12月

神戸大学名誉教授

石井 淳蔵（昭45営） 著

本書「岡田卓也の時代」の題名には、「岡田卓也氏がビジネスの最前線にあつて新地平を切り開いた時代」、あるいは中内功、伊藤雅俊、堤清二の各氏と共に、「固有名で流通を語ることができた時代」といった意味が重なります。

本書の主人公である岡田氏は戦後、四日市市で江戸時代以来の伝統ある呉服商岡田屋を承継し、戦災に遭い一面焼け野原のなかで復興を図り、さらには（現在のイオンの母体となる）ジャスコを創業して流通革命の荒波に船出しました。

舞台となった岡田屋ですが、凌霜の母体である神戸高商（神戸商業大学・神戸経済大学を含む）と少なからぬ縁があります。平井泰太郎先生は当校の有名教授でしたが、戦前から戦後にかけて講演会や経営助言のためよく岡田屋を訪問されていました。戦後まもなくの時期には、「借金してもよいから駅前土地を買っておきなさい」と先生から言われたと、卓也氏自身から聞きました。氏は、「言われた通りやつておれば」と懐かしそうに笑っておられました。

さて、その岡田氏の活躍に本書では2つの視点から接近します。ひとつは「比較企業者史」、もうひとつは「日本の商人思想史」です。まず前者の視点から。

静かなる革命

昭和30年頃、わが国の流通分野で大変化が始まりました。世に言う「流通革命」です。スーパーマーケット（以下、SMと略す）と呼ばれる新小売業態が誕生したのです。その主役となったのは、大手資本家ではなく街場の零細な小商人たちでした。しかし、彼らの多くは革命の波

に飲み込まれ消えていきました。その姿は「スーパーは、スーと出てきてパーと消える」と揶揄されました。

そのなかに先に述べた著名創業者がいました。彼らはそれぞれに夢を描いて革命に挑みました。そのなかで岡田氏がつた方向は他の創業者とは一線を画すものでした。そのことは、業界のトップに立った中内ダイエーとの比較で浮き彫りにできます。

革命以前の消費財流通においては、大手消費財メーカーの力が浸透していました。それらメーカーは、専属の流通経路を構築し、価格をみずから決めることができました。それに対抗して、「フォーザ・カスタマー」を旗印に果敢に挑戦したのが中内ダイエーです。有力メーカーに対する対抗力を確保し、価格支配権を消費者のもとに奪い返そうとしたのです。そのため、店舗を大規模化し各地への出店を加速化させました。この挑戦に対して、松下電器や花王などはダイエーへの自社商品の出荷停止に踏み切ることに対抗しました。共に返り血覚悟の戦いになりました。中内ダイエーの試みは、フラ

ンス革命やロシア革命がそうであったように旧支配者・旧秩序打倒を目指すものであり、「雄々しき革命」と呼べそうです。

他方、岡田氏のやり方は少し趣が異なります。岡田氏は1970年に、フタギとシロとの三社合併でジャスコ（"Japan United Stores Company"）を設立しました。彼らは、「心と心の合併」を掲げ、各地のSMチェーン経営者に提携・統合を呼びかけました。

先述のように多くの街場の商人たちが流通革命に身を投じました。その結果として、それぞれの地の風土や生活文化を基盤に据えたSMチェーンが各地で生まれました。岡田氏は、それらの経営者に向けてジャスコへの大同団結を呼び掛けたのです。

岡田ジャスコの提携・合併策は、「相手会社のすべてをジャスコのものとする」というものではありません。小売業のインフラ部分（情報システム、財務、人事、製品開発等）はジャスコ本部に統合する一方で、各地のチェーンや店舗の経営は元の経営者たちに任せました。「その地の風土や文化を熟知した経営者が経営す

るのが理に適っている」というのは岡田氏の信念でした。これがジャスコ独特の「地域法人制度」であり、その姿は「連邦制経営」と呼ばれました。

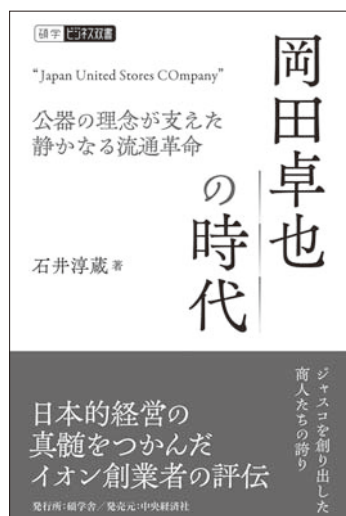
こうして、ジャスコに統合された各チェーンの店のバックヤードは統合され一新しました。それと同時に、消費者が目にする各店のフロントヤードの姿も大きく変えました。当時は日本人の生活スタイルが大変化した時代で、ほとんどの旧来のSM店は時代に合わなくなっていました。その渦中にあつて、岡田は強いリーダーシップを発揮しほぼ全店にわたるスクラップ&ビルド策を試みたのです。

この一連のやり方は、「良きものは受け継ぎ、革新すべきところは革新する」という不易流行のやり方です。岡田ジャスコはこの道を選びました。本書ではこのスタイルの革命を「静かなる革命」と呼んでいます。

日本の商人思想

この「静かなる革命」を背後で支えたのは、「店は公器」「店は社会からの預かり物」の思想です。ジャスコを創業した

岡田卓也や二木一ただけでなく、ジャスコに集った商人たちにもこの思想が浸透していました。この公器の思想の由来と中身、そしてジャスコへの浸透ぶりについては、本書の第2の視点（日本の商人思想）で議論されます。しかし、残念ながら、ここでこの話を紹介する余裕はありません。



就活体験談

昭48 浅田 恭正

本号では、就活を終えた久門美巴さん（経済4年）に、就活体験談をお聞きしました。

* * *

浅田 本日は、お時間を頂きありがとうございます。久門さんには、これから就活に取り組まれる学生の皆さんに参考になるよう、就活体験談を忌憚のないところでお聞かせいただければと思います。

まずは、自己紹介からお願いします。

久門 経済学部4年生の久門と申します。課外活動ではアカペラ・サークルに属し、卒業後は、メーカーA社に勤務する予定です。

浅田 まず、就活全体を振り返って、久門さんの就活の取り組みの概略について時系列で教えて下さい。

久門 3年生になる直前の2月末に学内の合同説明会へ参加したのが就活のスタ

ートだったと思います。そこでA社を初め様々な企業の人事の方とフランクに話をする事ができ、就活の雰囲気を知ることができました。その後は学内外の就活イベント（主に合同説明会）に参加して、情報収集する一方、4月頃からは、夏IS（インターンシップ）に向けて会社に入社し始めました。

5月には夏ISのES（エントリー・シート）のためにガクチカを作って、実際に提出しました。6月、7月は書類選考に通過し面接やGD（グループ・ディスカッション）に参加しました。8、9月は面接やGDを突破した夏ISに参加しました。これ以降はその季節のISに参加しながら次の季節のIS選考に参加し込みをするという日々が続きました。

浅田 久門さんは確か3年生の11月頃初めて六甲台就職相談センターに来てくれ

ましたね。

久門 そう

ですね。そ

れまでは、

就活生が利

用している

就職支援業

者はどうも

信用できず、

誰にも頼ら

ず一人で就

活をしてい

ました。そ

んな時、「親

身になって

相談にのつて

くれるよ」と、

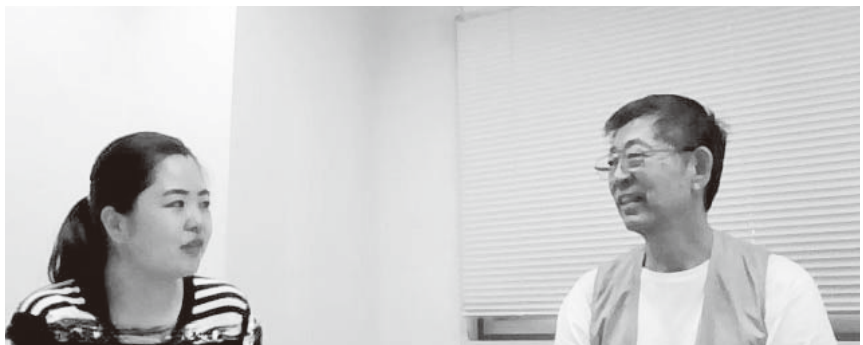
経済学部の

信頼できる

友人からの

勧めもあり、初めて就職相談センターに出向きました。

相談員の方に「話すのが上手だね」「素直な姿勢がよい」と言っていたいただき、自分の新たな強みが発見できて、とても自信になりました。センターでは、ES添



削や面接練習等して頂き、大変助かりました。また、それまで業界研究や企業研究などしていませんでしたので、本選考に向けて具体的にどの会社にもE Sをエントリーしていけばよいかなど相談にのって貰いました。

浅田 その後、冬I S、本選考とつながっていくのですね。

久門 12月から1月にかけて、数社の冬I Sに参加しましたが、本選考の説明会も始まりだし、また、これまでI Sに参加した会社から早期選考の案内もほちち来始めました。

2月は、各社の早期選考、本選考説明会、本選考の面接と、ほぼ毎日予定が埋まっていて「きつい」時期でした。そして、2月末頃、メーカーのA社から内々定の連絡を頂き、ホッとすると共に涙がポロポロ出てきたことを思い出します。

A社は、夏I Sのワンデーに参加しただけでしたが、1月に本選考の面接の案内が来て、以降2回の面接で採用の内々定を頂きました。A社の人事の方は、ちゃんと見てくれたのだと思うと共に、運命的なものを感じました。その後、他社の本選考が続き、4年の6月には、計

6社から内々定をいただくことができました。

浅田 全体の概略の話、ありがとうございました。次に、個別の質問をさせて下さい。久門さんは2年生の2月頃から就活を始められたということですが、これは早い方ですね。

久門 そうですね。一般的には、3年の6月頃から始める人が多いと思います。実は外資系企業に就職されたサークルの先輩が、3年の秋には就活を終えられていたのを見て、当初は私も早く就活を始めて早く終わらせたいとの思いがありました。

浅田 I Sについては、久門さんの年代から5日以上は採用に繋げてよいというように制度が変更になりましたね。

久門 私の場合、夏I Sは10社程度参加しましたが、オンラインでワンデー（1日）コースが中心でした。実は、複数日の企業は難関で、選考段階では落ちました。夏I Sが3日でこれをクリアすると秋I Sが2日（合計5日）という企業がありました。このケースが、I Sで本採用をしていくというケースに該当するのかもしれませんが。

浅田 I Sは積極的に参加されたわけですが、何か企業選択の基準を設けたりしましたか。

久門 夏I Sでは、「業界研究をしたい」また「自分の可能性を狭めたくない」という思いから、様々な業界の企業（1業界1社程度）を選び、「見境なく」申し込みをしました。

内容的には、各社共、企業説明とグループ・ワークが中心でした。結果的には、各業界の企業の方々と対話をするというよい機会となりました。このタイミングで、金融業界やベンチャー企業は自分には向いていないと思い、就活の選択肢から外すという判断材料になりました。その上で、冬I Sでは、インフラとメーカーの2つに絞りました。

浅田 I S対策として、何か特別な準備をしましたか。

久門 正直ぶっつけ本番でした。結果的には、夏I Sを受けること自体が「場数を踏む」ということから対策になったように思います。ただ、就職相談センターにもっと早く相談に行って対策をしてあげば、「落ちる」憂き目を減らせたのではないかと後悔しています（笑）。

浅田 ISでの「グループ・ワーク」は結構戸惑ったのではないですか。

久門 私の場合、高校で「ディベート」の授業がありましたので、集団での議論は慣れていました。ただ、社会人の集団の場ではチームワークが重視されるとの認識でしたので、「自己主張」より「協調性」を意識して取り組みました。

一方、私は「面接」に苦手意識があり、面接前にはいつも緊張して恐怖心持っていたので、ISや本命でない本選考で、「場数を踏む」ように努め、何とか克服することができたと思っています。

浅田 久門さんは、6社から内々定を獲得し、最終的には就職先はA社に決められたんですね。その辺りの経緯を差支えない範囲で教えていただけますか。

久門 最初に内々定を頂いたのがA社なので、A社への思いが一番強かったのは確かですが、本選考のチャンスを迎えた会社について途中で辞退したくなかったのも、A社には6月まで入社のご意思表示を留保させてもらいました。内々定先での懇親会に参加したり、OB・OG訪問で先輩にお会いしたりして、4年生の6月の時点で、A社とインフラ系のB

社の2社に絞りこみ、最終的にはA社に決めました。決め手は、懇親会等で同期、会社の幹部の方、先輩といった方々と接しての対人感覚と「自分が成長できる社風かどうか」ということでした。

浅田 お話を伺っていると久門さんの就活は「順調」だったように見えますが、「こうしておけばよかった」といった反省点や、後輩の就活生へのアドバイスがあれば教えていただけますか。

久門 既に就活体験をお話ししたことで重なりますが、就活生へのアドバイスとして纏めてみます。まず1点目は、早く就活に取り掛かること。自己分析や企業研究（業界セミナー参加）など、早め早めの対応で繁忙期に気持ちの余裕がでてくる。気持ちの余裕があれば失敗があっても次回に反省を生かすことができます。2点目は、信頼できる相談相手をもつこと。私の場合、先ほども申し上げましたが、もう少し早く就職相談センターに出向いておればよかったと思っています。就活は学生にとっては避けられない厳しくつらい活動ですので、親身になって相談にのってくれる相談員の方々は大変有難い存在でした。

浅田 就活は「正解のない世界」だと言われていますが、就活生にとって悩んだ時に誰に相談するかということは大事なことだと思います。

久門 そうですね。私にとっては、「居場所」として、就職相談センターに出会うことができたことは幸運だったと思います。私は繁忙期でも就職相談センターに出向き雑談をして癒されました。そこで話題になったことが採用面接で出てきて役にたったこともありました。

それから、細かい話になりますが、ESは誤字脱字なきよう入念にチェックして提出するよう心掛けてほしいと思います。どれだけ内容が良くても誤字脱字が何個もあると印象は変わってしまうと思うので、締切から余裕を持ってES完成させてチェックするとういと思っています。GDは慣れの部分が強いと私は思うので、就職相談センターで開催しているGD練習会などに参加して場数を踏むのが効果的だと思います。

面接時のコツの話になりますが、面接後の振り返りをちゃんとやっておこうということです。面接を振り返ることは改善点や良かった点の発見に繋がります。

例えば最終面接で1次、2次面接での話が出ることもあるし、面接で話す内容にはそれまでの面接との一貫性がないといけないので、忘れていると困ることになります。面接直後は開放感で振り返りたくないということもありますが、忘れないうちに頑張つて振り返ることが面接合格のコツだと思います。

就活を始めたときは、「就活を早く終わらせ楽になりたい」との思いもありましたが、今は、「就活を早く終わらせるのはもったいない」という考えに変わりました。就活は自己分析により自己発見をしたり、様々な機会を通じて自分の未熟さに気づいたり、試行錯誤しながら目的に向かうプロセスであり、また様々な企業比較をしながら社会を見つめる貴重な体験だと思うようになりました。社会に出て最初に入る会社はとても大事だと思いますので、就活生の皆さんには、妥協することなく納得するまでとことん就活に取り組んでほしいと思うのです。

浅田 これまで久門さんの就活を聴いてきて計画的に進めてこれたと思います。が、学業と就活のバランスをどう取ってこれたのですか。

久門 優先順位を付けて取り組むことだと思います。特に3年生の後期は忙しかったのですが、優先順位としてはテスト、就活の順で取り組みました。テストと面接が重なった時は会社に日程変更をお願いしました。それを拒否する会社は断つても良いと思っていましたが、実際はこちらの希望は聴いていただけました。

浅田 実体験に基づくアドバイスがあるとうございました。就活生の皆さんには、是非参考にして頂ければと思います。久門さんに最後の質問です。卒業までの残りの期間どう過ごしたいですか。

久門 A社の人事の方から「学生時代にしかできないことを是非やってほしい」と言われています。具体的なプランニングはまとまっていませんが、旅行、ボランティア活動、免許取得など有意義なことをしてみたいと思っています。

浅田 貴重なお話ほんとうにありがとうございます。久門さんの今後のご活躍を祈念して対談を終了させて頂きます。

【対談後記】 浅田

久門さんには貴重なお話をしていただきありがとうございます。これから就

活を始めようとしている学生さん達にとって、とても参考になる体験談だったと思います。この久門さんの話を参考にし、就活生の皆さんには計画的かつ充実した就職活動をしていていただきたいと望んでいます。

対談の最後に久門さんの経験談の中に出てきたアドバイスを踏まえて、就活における大事なポイントをまとめておきます。

1. できる限り早期に始めること
2. 就職活動と学業（単位取得）
・ インタラシップではあまり業界・企業を絞り過ぎないように広く見にくこと
3. 視野の拡大とマッチングの確認
・ 早期に内定を取ったとしても就活をそこで終わらず、最後までやりきる
4. 入社する企業決定の納得感
・ 六甲台就職相談センターに早くから足を運んで相談していくこと
- ・ 企業経験者の視点からのアドバイス

学生の活動から

神戸大学学生震災救援隊の活動に参加して



はじめに

初めまして、神戸大学学生震災救援隊に所属しております、法学部2

年生の西谷彩香です。学生震災救援隊は、阪神・淡路大震災が起こった1995年1月、神戸大学の学生が炊き出し等のボランティアを実施したことで発足した学生団体です。現在では被災地の救援活動や、地域のボランティア活動への参加など、災害に関する活動を主に行っています。ここでは、私が救援隊の一員として行った被災地での救援活動についてお話ししたいと思います。

能登での災害ボランティア活動

2024年1月1日、能登半島で大規模な地震が発生しました。この地震を受

西谷彩香（法2年）

けて、私たち救援隊は募金活動や現地でのボランティア活動を実施しました。今回は、3月下旬に行われた第3回現地ボランティアでの私の経験を話させていただきます。

活動場所は石川県七尾市で、ちょうどこの時期、ようやく水道が復旧したばかりという状況でした。七尾市に着くと、道路が割れていて片側しか車両が通行できなくなっていたり、ブルーシートを被せられた建物が並んでいたりと、私の初めて見る光景が広がっていて衝撃を受けました。

活動は3日間にわたって行われました。初日は、被災した家屋での災害ゴミの仕分け作業をしました。七尾市では、災害ゴミを出す際に燃えるゴミ、金属、木材、ガラス、家電などで仕分けする必要があります。材質の異なる部分は分解して仕

分けていきました。この作業を手伝わせていただいた家では、高齢の方が一人で住んでおられ、「自分一人では手が回らず、手伝ってもらえて本当に嬉しい」と話してくださいました。災害ゴミの処分は、量が多いのに加えてルールも多く、一人で行うのは非常に大変です。もし自分が同じ立場だったら途方に暮れてしまうだろうと感じました。

2日目は、現地の集会所で支援物資の仕分けや炊き出しのお手伝いをしました。午前中は、届けられた食料や日用品、衣類などを仕分け、紙おむつや割り箸、マスクなどの細かなものは一家庭分ずつ袋に分けて棚に並べました。現地の方々も数名、この作業のお手伝いをしておられたのですが、私たちボランティアに笑顔で話しかけてくださって、今の生活の状況などを話しながら一緒に作業をしてくださいました。「大変だけど、みんなで何とか頑張るしかないからね！ボランティアの方が来てくれるから、頑張れる！」と、明るく話されていた方の、その前向きな姿が印象的でした。

お昼には炊き出しの配膳をお手伝いし

ました。開始前から現地の方々が並ばれていて、多くの方々に食事を提供することができました。「神戸から来てくれたの！ありがとう！」と声をかけてくださる方や、現地での生活について話してくださる方々もいらっしゃいました。営業しているお店はあるものの、頻繁に買い物に行けるわけではないため、炊き出しが非常に助かるという声も聞かれました。

炊き出しの後は、支援物資の受け取りに來られた方々と交流したり、子どもたちと遊んだり、高齢の方とゴルフを楽しんだりしました。集会所の運営者の方は、

「子どもたちが遊べる場所や、人々が交流できる場所が少ないので、そういった場を提供することが大切だ」とおっしゃっていました。それを聞いて、作業だけでなく現地の方々とコミュニケーションを取ることも、ボランティアとして行く私たちの大事な役目なのだと感じました。

3日目は、倒壊した納屋の解体作業や被災した家屋の清掃を行いました。解体作業は屋根瓦を外すところから始め、中の家具や小物を取り出して枠組みを壊していくところまで行いました。他のボラ

ンティア団体さんと協力して作業したので人数は多かったのですが、体力が必要な作業で、時間もかかりました。夕方頃まで作業を続け、かなり進みましたが、全行程を終えることはできませんでした。被災地では、多くの建物が解体を待っており、現地ボランティアの人手が必要なことを痛感しました。

現地ボランティアの不足

実際に現地に行ってみて、改めてボランティアの人数が不足していることを感じました。私たちは事前に集会所の方と連絡を取り、現地で指示を仰ぐ形をとったため、現地に到着するまで活動内容が分からないという状態でした。活動に行く前は、「私にできることはあるのだろうか、何もできなくて逆に邪魔になったらどうしよう」と不安でしたが、実際にはさまざまな作業をさせていただき、現地の方々から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいて、自分にもできることがあるという実感をえました。

被災地でのボランティアと聞くと、力仕事を中心にイメージされるかもしれま

せん。確かに力仕事は多いのですが、実際にはそれ以外にもできることがたくさんあります。もし自分には何もできないと思つて踏みとどまっている方がいたら、一度現地で活動しているボランティア団体などに連絡を取ってみるのも良いかもしれません。しかし、被災地でのボランティア活動は危険を伴うものであつて、無計画に現地に入ると逆に迷惑になつてしまつたり、危険な状況に巻き込まれたりする可能性もあります。現地では人手が求められている一方で、無計画にとりあえず現地に行つてみるということは避けるべきであるため、現地ボランティアの人数をどのように安全かつ効果的に増やすかが課題であるように感じました。

地域の繋がりと心のケア

また、普段から地域の繋がりを深めておくことも大切だと感じました。被災直後の避難の際も、近隣の方同士で声を掛け合うことが早めの避難に繋がります。それに加え、実際に現地の方々の生活についてお聞きする中で、現地での生活はやることが山積みだし、情報不足にもな

りやすく、不自由なことも多いため、近隣の方同士で毎日助け合うことが必要だと改めて感じました。

精神的な面でも、近隣の方との繋がりは大切だと思います。集会所にはお茶を飲んだりしながらおしゃべりができる、憩いの場となるスペースや、子供たちが遊べるスペースがありました。被災地での生活は困難なことも多く、日々ストレスも溜まっていくと思います。そんな状況でこそ、同じような環境で生活する近隣の方々と悩みや不満を共有できるということが、精神的な支えになるのではないかと思います。いざという時に助け合うため、辛い状況を共に乗り越えるために、普段から近隣住民同士で仲を深めておくことが大切だと実感しました。

そして、現地の方々の心のケアをすることは、私たちボランティアの重要な役割でもあると改めて感じる事ができました。被災者の方々の中には、辛い思いを抱えたまま周囲に話せない方が多くいらっしゃると思います。先程も触れましたが、被災地では人々が交流する場が少ないという状況もあります。私たちが現地の方々

としつかり向き合い、ゆつくりとお話をお聞きすることで、少しでも心を軽くする手助けができれば、それが最も大きな支援の一つであると感じました。

最後に

活動をしている際、「ボランティアはお互いさまだから」と話している方がおられ、その言葉がとても心に残っています。災害はいつどこで発生するか分かりません。いつ誰が被災者になるかわかりません。私が現在住んでいる神戸も、阪神・淡路大震災を経験した過去があります。あれから復興を遂げ、今年の1月で被災から30年の節目を迎えます。当時の神戸が多くの人たちに支援していただいたように、これからもお互いに助け合っていく必要があります。震災から30年経った今、神戸に住む私たちも、阪神・淡路大震災当時のことについてもっと知り、防災や被災地ボランティア等私たちにできることについて考えていく必要があると思います。

拙い文章ではありましたが、ここまで読んでくださりありがとうございました。

被災した神戸にとって節目の年となる今年、私を含め多くの方が災害について見つめ直し、これから何が必要なのか考えられる一年になつて欲しいと思います。また、被災地ボランティアに限らず、さまざまなボランティア活動が「お互いさま」の精神で広がり、より多くの人々が積極的に参加できるようになつていくことを願っています。



琢

第18回ホームカミングデイでの学生企画を終えて

神戸大学ベルカン 松 本 暖 生（営2年）



経営学部2年生
の松本暖生と申します。神戸大学の学生団体「神戸大学ベルカン（法・

経済・経営学部ゼミ幹事会）」にて、「第18回ホームカミングデイ」での学生企画」のプロジェクトリーダーを務めさせていただきました。この度は学生企画の記事を掲載していただき大変光栄です。

「第18回ホームカミングデイ」での学生企画」は、神戸大学六甲台第一キャンパスにて、2024年10月26日（土）10時～17時に開催しました。2020年以降、新型コロナウイルスの影響で大学での開催が中止されていましたが、昨年度から再開され、今年度も神戸大学六甲台キャンパスにて開催することができました。今年度は地域の方を中心に362人の子供たちにご来場いただきました。

学生企画では、子供たちを対象として、迷路などのゲーム企画、バッグづくりな

どのクラフト企画、ドーナツなどのフード企画、劇などのステージ企画等、様々な企画を実施しました。また、10月末の開催に合わせてテーマをハロウィンに定め、各企画場所や六甲台キャンパスをハロウィンの装飾で彩りました。

ホームカミングデイ当日はなんとか天候にも恵まれ、多くの方にご来場いただきましたこと、大変嬉しく思います。約8ヶ月前から準備を始め、はじめは探り探りの状態でしたが、本番が近づくにつれ大學生スタッフの心意気も高まりました。そして当日、子供たちの笑顔や、活き活きと接するスタッフの姿をみて、大きなやりがいと達成感を感じました。ご来場いただいた保護者の方からは、「ハロウィンの装飾の完成度がすごくて沢山写真撮りました」や「学生スタッフの方の子供への対応がハキハキと気持ちよく、感激しました」など、企画内容や、学生スタッフの対応に対するお褒めのお言葉を多くいただきました。

想定より多くの方々にご来場いただいたため、フードの在庫や飲食スペースの不足等、課題も残りましたが、これらは次年度に活かし、より良いイベントを目指したいと思います。今年度のホームカミングデイは終了しましたが、神戸大学ベルカンは神戸大学の活性化を目指し、様々なイベントを企画してまいります。皆さまも機会がありましたら、ぜひ私どものイベントにご参加ください。

また、来年度もホームカミングデイでの学生企画を開催する予定です。今年度の学生企画は地域の方々への広報には力を入れていましたが、OB・OGの皆さまへの広報が十分ではありませんでした。来年度の広報は皆様に確実に届くよう工夫してまいりますので、ぜひ前向きにイベントへの参加を検討していただけますと幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

最後に、ご支援をいただいた凌霜会の皆様をはじめ関係各所の方の支えがあったイベントが成り立っていること、また今回の成功があったと実感しております。心より感謝申し上げます。

2024年度六甲祭を終えて

六甲祭実行委員会委員長 津 島 風 斗（工3年）



11月9・10日、

神戸大学六甲台第一キャンパスにて、2024年度六甲祭を開催しました。

今年度の六甲祭は、数日前までの雨予報にもかかわらず天候にも恵まれたの開催となり、六甲祭の前後を通して雨が降らなかったというのは、ここ数年で久々のことでした。

メインテーマⅡ「上で、待ってる」

今年度のテーマである「上で、待ってる」は、神戸大学の地理的特性である標高の「高さ」と、展示側が目指すクオリティの「高み」の2つの意味を「上」の文字に含んでおります。来場者の方の様子や、六甲祭前後のSNS上での反応などからも、このテーマに恥じない六甲祭を作りあげられたのではないかと思います。

六甲祭は、神戸大学で行われる学園祭

の中でも最大規模のもので、活動場所・活動内容を問わず幅広い団体が出展する数少ないイベントでもあります。本年度の六甲祭も多数の学内団体様に出展していただくことができました。

模擬店グランプリ（M1）を開催

グラウンド、第一学舎周辺で行われる模擬店は最も多くの団体に利用される出展形態であり、来場者の方にとっても気軽に楽しみやすい形態であることから、六甲祭の中心ともいえる存在となっております。最も人気のある模擬店をきめる、弊会主催の「模擬店グランプリ（M1）」に参加しており、今年度は漫画研究会の「ラーメン二郎」がグランプリを受賞しました。昨年度のグランプリも、つけ麺を提供した法律相談部が受賞しており、11月にしては温暖な今年と、例年並みの気温だった去年とで共通して、麺系の模擬店

が来場者の方から好評のようでした。

弊会でも2店舗模擬店を運営していましたが、それぞれの担当者は「たまたま気温が高かったため、当初の想定以上にアイストッピングの売れ行きがよかった」や、「調理器具の扱いが難しく提供に時間がかかったが、お客さんから温かい言葉をかけていただいてうれしかった」など、今年ならではの出来事や模擬店ならではの難しさややりがいをお話しました。

人気を博した室内出展企画と野外パフォーマンス、巨大迷路

第Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ学舎で行われた室内出展企画では、日ごろの活動の成果の展示や、参加型の企画など、各種展示形態の中でも各団体の特徴がひときわ色濃く表れた展示がされておりました。この展示のために1年間準備してきた団体もあり、出展者側も来場者の方とともに六甲祭を最大限楽しまれておりました。神戸大学のシンボルともいえる第一学舎には最多の団体が出展しており、展示を巡ろうとする多くの人で廊下は常に混雑しております

した。

音楽団体等野外でのパフォーマンスを行う団体は、グラウンドのステージと路上の2通りでの出展となりました。路上演奏には計9団体が出展し、入り口の正門前階段からグラウンドまで、六甲祭会場のどこを巡っていても、いずれかの団体の演奏音が聞こえておりました。

六甲祭実行委員会としては、これら出展の場を整備する以外にも、後述の通り複数の大規模企画を運営いたしました。

毎年グラウンド南東部に設営される巨大迷路の今年度のタイトルは、「世界の色奪還作戦」。迷路の各地に配置された10色のスタンプを集めてゴールを目指す、という比較적わかりやすいルールのため、様々な層の方にお楽しみいただける企画であり、単一の企画としては六甲祭で最も多くの来場者の方が訪れる企画でもあります。今年度も巨大迷路の前には老若男女様々な方が長蛇の列をなしておりました。

六甲台講堂企画「月亭方正さんらを招聘」
毎年著名人の方を六甲台講堂にお招き

して土曜日に行う講演会では、落語家の月亭方正さんにご登壇いただきました。今年度から講演会には整理券制度が導入されており、様々な層からの知名度がある月亭方正さんをひと目みよう、講演会の整理券配布に多くの方が足を運ばれておりました。SNS等ではこの講演会を目的に六甲祭に来たとの声も聞かれました。

同じく講堂で日曜日に行われる室内新企画として、今年度は「Shindai's Got Talent」を開催いたしました。海外の名物テレビ番組シリーズ「Got Talent」を模した本企画では、神大生の出演者の方に、自身の特技やギャグなどを披露していただきました。出演していただいた方からは、「自分のギャグを大勢の人の前で披露することができ、総出で見に来て家族を含め来場者の方に笑っていただけて最高でした」などと、満足感を口にされておりました。

日曜日の六甲祭終了直前にグラウンドのメインステージで行われるお笑いライブに、今年はMCの令和喜多みな実の河野さんをはじめ、たくさんの吉本興業所

属のお笑い芸人の方にお越しいただきました。16時にメインステージ等を除くほぼすべての企画が終了した中で行われるお笑いライブには、ステージ企画のなかでもひときわ多くの来場者様が集まり、六甲祭を締めくくる企画として大盛況の中で行われました。

大盛況だった今年の六甲祭

11月にしては異例の暑さの中行われた六甲祭は、2日間で累計17,130人もの方にご来場いただきました。この来場者数は、昨年に比べ人数にして約2,000人、比率にして約15%増というものであり、コロナ後の最高来場者数を更新することとなりました。模擬店の飲食を解禁する完全対面開催は昨年度から再開しており、開催形態という点では前年と大きな違いはなかったにもかかわらず、来場者数が大幅に増加したということについて、弊社内でも驚きの声が上がっております。

また、これほどの来場者数にもかかわらず、2024年度六甲祭は当日の交通面や運営面で特段のトラブルなく全日程

を終えることができました。来年もこのようにスムーズな運営のもと、より盛り上がりのあるお祭りを作り上げられるよう、弊社も引き続き努力してまいります。今後とも、神戸大学最大の学園祭である六甲祭をどうぞよろしくお願いいたします。

末筆ではございますが、このような六甲祭を作り上げるために多大なるご支援とご理解を賜りましたこと、このような形で六甲祭に関してご報告する場を設けていただきましたことにつきまして、凌霜会様に御礼申し上げます。



クラス 大会



凌霜12回生（昭39）

▽…卒業60周年記念の集い…△

とき 10月26日（土）
ところ 六甲台

神戸三宮「餐」

母校のホームカミングデイに合わせて「凌霜12回生卒業60周年記念の集い」を実施しました。

第1部は母校六甲台に集合して学校行事に参加・学内散策、第2部は神戸三宮「餐」にて懇親会を催しました。

近隣は勿論、関東地区、遠路北海道からも参加を得て和気藹々久しぶりの旧交を温め合い、次回は5年後の再会を期して散会しました。

なお、有志により凌霜会へ8万2千円の寄附をしました。

参加者 21名

経…井沢 清、井詰 潔、新村 進、

堀井彰三、山本雅俊

営…上杉 強、海貝紀彦、江崎勝久、

片岡邦夫、小南光弘、須田 巖、

播磨四郎、広瀬直樹、星賀康史、

松香純治、宮地 威、横川 弘、

横山仁郎

法…今西良友、神能忠明、福光 功

凌霜会への寄附者

経…井沢 清、井詰 潔、新村 進、

堀井彰三、山川豊夫、山本雅俊

営…上杉 強、江崎勝久、海貝紀彦、

片岡邦夫、熊谷 清、小南光弘、

須田 巖、高橋大助、西 雅弘、

播磨四郎、広瀬直樹、広渡栄右、

星賀康史、松香純治、宮地 威、

山際澄郎、横川 弘、横山仁郎

法…今西良友、尾崎政次、神能忠明、

福光 功

（須田 巖）

経・営・法学部昭59

▽…卒業40周年同期会…△

とき 10月26日（土）
ところ 六甲台アカデミア館

「さくら」

神戸大学の「ホームカミングデイ」のイベントにあわせて、「経・営・法学部卒業40周年同期会」を開催しました。

参加者は、卒業当初の六甲台三学部の人数合計と比較すると、約1割程度と少ない感はありません。特に、法学部の世話人候補が揃わなかったため、経済学部と経営学部の卒業生主体になりました。

まず、私・廣田が代表世話人となった経緯からお話します。谷端ゼミの有志は卒業時から年賀状のやり取りをしていました。それが、みな62歳を超え、定年を迎えた人はセカンド・ライフに突入していますので、そろそろゼミの同窓会を開催しようよ、と一人の同期から話を待ち掛けられて、それならば把握してないゼミ生の連絡先を教えてもらおうと凌霜会事務局に立ち寄ったのが代表世話人になるきっかけになってしまいました。

経・営・法学平成6年

▽：卒業30周年同期会：△

とき 10月26日（土）

ところ 六甲台アカデミア館

1階「BEL BOX」

神戸大学ホームカミングデイの開催に併せ、卒業30周年を記念して六甲台3学部の1990（平2）年入学生の間達と同期会を開催しました。

まず、最初に同期会開催の機会を設定して頂いた、神戸大学ホームカミングデイの関係者の皆様、特に様々な面で助けて頂いた凌霜会の皆様には、感謝をお伝え致します。

30年振りに同期会を行う、しかも世話人をして欲しい、という打診を受けた時には、本当に纏まりきれぬのかという不安と、開催までの期間の短さによる焦りしかありませんでした。

しかしながら、一緒に準備してくれた同期の仲間の協力により、2024年10月26日という日は、参加した1990年入学生（敢えて、1994年卒業生とは言いません）の方々にとっては、人生に

卒業した本人からの連絡先の申告があり、その後の勤務先や住所の異動をタイミングよく連絡がされて初めて、同窓会は卒業生のデータを揃えていることになります。しかし、凌霜会に一度も加入していない方はリストに出ていませんし、卒業後40年経過してしまうと、凌霜会に加入していた方のデータも、その後の勤務先変更や住所変更が本人からの連絡がなく十分にフォローできておらず、その

一方「実家をたんだから関西に帰る理由がない」と話している東京在住の同期もいます。幸い、世話人になっていただく方が他に5人いましたので、凌霜会からもらった1984年卒業の三学部卒業生の連絡先データを、世話人間で手分けして逐一更新していく作業から始まりました。その結果、2024年3月から8月頃までの期間で60人ほどの更新されたデータができました。

その後、当日の同期会の企画内容や会費の設定等を世話人で決めていきます。その打合せで出ていた内容が、卒業アルバムに載っていたゼミごとの卒業写真をスライドで映写することでした。その企

画は鈴木さんと岡田さんのお陰で一気に出て来上がつていきます。40年前の自分は若く髪も多く、その変貌ぶりに苦笑するばかりでしたが、10月26日当日も映写されたスライドを取り囲んで、昔を見て笑っている顔が数多く見受けられました。当日の他の同期会企画は、くじ引きによる抽選、アポロンの現役学生を招いての「商神」合唱で、よく盛り上がり締まった企画になったと思います。

代表一人では決してできない企画を、川口さん、小林さん、川上さんも加えた世話人みなさんで作っていただき、当日も支障なく運営され盛り上がった雰囲気です。終了できたことは、大変に良かったと思っています。

次は5年後でしょうか、10年後でしょうか。先が楽しみな終わり方を実現でき

て良かったとの世話人みな感想です。凌霜会事務局のみなさんの力添えも助かりました。ありがとうございました。

（代表世話人、営・谷端ゼミ 廣田壽俊）

において特別な思い出深い日になったのではないかと思います。

我々世話人の中で考えて、当日行った主なプログラムは以下の二つ。

- ① 懐かしの「卒業アルバム」動画視聴
- ② 神大クイズ大会

①に関しては、卒業アルバムを世話人の杉田さんが一枚一枚PDF化し、それを元に國本さんが、30年前の世相も入れながら作成した集大成です。30年という時の流れを感じさせる構成で、懐かしさ、恥ずかしさもあり、参加者各々が、部活、サークル、ゼミ等の様々な場面で、突っ込みあつて、和やかな雰囲気となりました。

②も、皆で盛り上がり、後で感想を聞いた際にも、楽しかったと言って貰えるイベントでした。クイズは昨年からの引き継いだ内容で、神戸大学ゆかりの問題が全10問。この30年間で神戸大学は大きく変わっていて、皆さんかなり苦労していましたが、4名のチーム制で行ったことで、チーム内での会話が弾み、それぞれ連帯感が生まれていました。

この度の同期会は、30年間という、とてつもなく長い時間を実感しつつ、その

時間を一瞬にして飛び越えて、大学時代の仲間として、楽しいひと時を過ごすことが出来た、貴重な体験であったと思います。悔やまれるのは、10年単位くらいで同期会を実施していれば、連絡も集約もスムーズに行え、学部も偏ることなく、もっと多くの方々の参加が見込まれたこととです。

今回、参加の同期生が最後に、「必ず10年後に会おう」と言って別れたことに期待しながら、次回はもっと多くの同期生の参加を募ることを誓い、同期会の紹介を終わりたいと思います。

参加者 28名

代表世話人：児嶋一裕（経）

世話人：伊藤佳代（経）、斉藤浩行（経）、

杉田康行（経）、中川朱日（経）、

山本高史（経）

Special Thanks to 國本裕之（経）

（児嶋一裕）

国民経済雑誌 第228巻 第3号（令和6年9月）2

論 文

Measuring a Normative Expectation:

Methodological Decision-making

in Intergenerational Social Dilemma Mediation.....Yoichiro Tsuji

Junyi Shen

流動性プレミアムがROEに及ぼす効果：

財務レバレッジの分解公式.....森 直 哉

ネットワーク外部性をともなう市場における

卸売価格の内生的な契約時期.....水 野 倫 理

クラス会



しんざん会 (昭30)

▽…大阪例会…△

◇9月例会 4日(水) 12時半～

ところ 神戸大学大阪クラブ

出席者 7名

経…黒田守彦、片山市藏

営…浅野 洋、谷本 明、宮本靖彦

法…天野昭信、水野 洋

珍しく人数が揃ったが、特定のテーマはなく座談・雑談で終始した。

最近の鼠径部ヘルニア手術体験者と過去の経験者との対話では、だいぶ手術方法が変わってきているらしい。また、狭心症の治療で、睡眠中の血中酸素量を減少させている睡眠時無呼吸症候群退治のため、就寝時に特殊マスクを着用している体験談(効果とデメリット)など健康に関する話題は何時も豊富だ。

天野君からは中国福建省アモイと韓国

プサンへのツアーが紹介されたが、航空運賃・ホテル代が廉くなっているとのこと。経済の低調が窺われる。

浅野・水野両君はアメリカプロ野球大リーグチーム名(30チーム)を所属州とともに全部諳んじていた。まだ記憶力は大丈夫のようだ。

この日のワインはアメリカ・オレゴン州産・辛口スパークリング2021年とオーストラリア産ソービニオンブラン種の脱アルコール・白ワインだった。

◇10月例会 2日(水) 12時半～

ところ 神戸大学大阪クラブ

出席者 6名

経…深井喜一郎、黒田守彦、片山市藏

営…浅野 洋

法…天野昭信、水野 洋

黒田君が「知っておきたい地球科学―ビッグバンから大地変動まで―」(岩波新書、鎌田浩毅著)を介して、南海トラフ巨大地震や富士山噴火について解説してくれた。

宇宙が誕生した137億年前から話は始まった。何しろ余り知識のない宇宙や

地球科学の内容故に大変興味深かった。

この広い宇宙全体が万有引力の法則に支配されていること、宇宙も地球も生きていることが基本にあり、项目的には太陽系の誕生、地球の構造、海上を吹く偏西風・貿易風・表層海流、自然の炭素循環システムと濃度変遷、プレート動き、南海トラフ関連地震の記録、富士山噴火の歴史・火山灰・溶岩流など。

なお、この日のスパークリングワインはアメリカ西海岸モントレイ産だった。

次回11月例会は明石の天文学科学館行きとなった。毎月明石から遠路出席の水野君を労わって現地開催とした。3回生の多数参加を待っている。

(片山市藏)

さんさん会 (昭33)

▽…関東例会…△

とき 11月29日(金)

ところ 東京六甲クラブ

出席者 12名

経…団彦太郎、羽路正治、三宅 明、山口輝男、豊田 穰

営：小川 博、広瀬義一、柳本保武、

小倉達朗

法：上月永文、松代充生

文：橋本良子

いつも近況を報告し合っているが、健康問題ばかりなので止めて、スマホに保存されている写真やビデオをテレビにミラーリングして、関連する話題を提供してもらった。報告者の新しい近況が知れて良かった。

続いて、混沌を極めつつある世情についての意見交換をした。SNSが選挙結果を左右しはじめ、国民民主党が躍進、兵庫県知事が再選という事態を招いたことをどう受け止めるかなどをきっかけの話題にした。

若者が選挙に行くようになれば、世の中は変わるが、今がその時期になっている。自民党の低金利政策が経済を悪くしたが、政権の変化が起きつつある今、財務省もその反省期に入りつつあり、10年もすれば経済は戻る（我々は生きていないが）であろう。産業構造を整理する必要がある。などの意見が出された。日本は人口5千万人で生き延びる国にすべき

だという意見も出された。

今回の会合についても、もう出かけられないというメンバーが出てきて、結局今後は18名のメンバーで関東さんさんを運営することになった。

（松代充生）

イレブン会（昭38）

▽：第44回東京ゴルフ例会：△

とき 11月8日（金）

ところ 東京相武CC

富士山の初冠雪が報じられた寒い一日だった。毎回参加していた元氣な辻内健吾君が夏に他界し、6人でのプレイとなった。

参加者には体に問題を抱える人が多かったが、皆元氣にプレイを終えた。今回も安田がエージェント達成。

成績

	G	N
優勝 安田 芳治（営）	84	72
準優勝 植杉 繁造（営）	96	74
3位 宮本 博之（営）	106	76

その他の参加者

経：津山 宏

営：金谷俊二、外山峯生

（安田芳治）

むしの会（昭39）

▽：東京納涼会：△

とき 8月1日（木） 11時半～

ところ 東京六甲クラブ

慣れ親しんだ「東京六甲クラブ」（旧東京凌霜クラブ）が帝劇ビル建て替えのため今年を最後に、今とは別の場所（新しい移転先は「有楽町電機ビル地下1階」）に移転するとの情報を得ました。

コロナが蔓延した数年前、納涼会では毎年「神田きくかわの鰻」を食してきました。帝劇ビルで、鰻を食していたことを思い出にするため、もう一度鰻を食べようということになり、皆の賛成を得て納涼会を開催することになりました。常連の方々に加え、コロナ以来5年ぶりという方も3名参加され、また、むしの会初参加の方も飛び入りで来られ、参加者が16名に上り、最近のリアル会合としては最多となりました。

冒頭、井詰会長の挨拶と乾杯の音頭で

納涼会はスタートし、思い思いに歓談しながら美味なる「鰻」に舌鼓を打ちました。食後一息ついて、着席順に、参加者各々3分間スピーチを行い、自分史を披露しました。80歳を過ぎた皆の関心事は、殆どといっていいくらい健康問題が大きなウエイトを占めていました。これから元気に過ごされることを祈念するばかりです。米寿、卒寿を目指して頑張ろうとの前向きな雰囲気でした。全員で集合写真を撮り、前会長の山本君の「一本締め」で閉会しました。

参加者 16名

経：井詰 潔、梅井昭三、岡田俊一、

大島一晃、多田和夫、堀井彰三、

山崎英昭、山本雅俊

営：熊谷 清、寺本正利、広瀬直樹、

藤山欣也、前田典一、宮地 威、

横川 弘

法：尾崎正次

(横川 弘)

▽：東京9月度例会：△

(Zoomミーティング)

とき 9月19日(木) 午後2時～

今月の卓話は広瀬君が担当し「桜旅の写真」と題し、本年春に福島、19年春に長野で追いかけた桜の写真を披露した。

福島には16年から18年にかけて3年連続で桜を追いかけたが、今年が4回目最後の旅。福島県内の一本桜を格付けした「番付表」を参考に計画を立てたが、天候や開花タイミングが合わないとい現地で見頃の桜を探すことになる。今年は玉川村→大玉村→二本松市→本宮市のしだれ桜を追いかけた。品種はベニシダレやエドヒガンが多く、ソメイヨシノより長寿で大きく、正に「映え」る。

大玉村の相応寺、二本松市の本久寺・円東寺・大隣寺、本宮市の日輪寺等のしだれ桜が青空に映えて丁度満開の見頃で、美しい姿を思う存分堪能した。

次に19年春の長野への桜旅。計画に載っていないなかった千曲市戸倉宿キティパークの情報を得て、斜面の広大な公園で数百本の満開の桜達を楽しんだ。その後は計画通り長野市の松代城跡(海津城跡)、上田市の上田城跡公園へと足を伸ばし、やはりタイミング良く満開の桜を楽しむことができた。

16世紀半ばに築城された松代城は度重なる火災や水害で往時の姿を殆ど留めないが、石垣や橋を彩る桜の向こうに北アルプスが望める。上田城は真田昌幸築城の平城で、大手門入口の大しだれやお堀の両側に並ぶソメイヨシノが見事。

少し時間が余ったので、以前紹介した福島の有名な三春の滝桜、合戦場のしだれ、花園の桜、越代の桜等の写真を映したが、音声が途中で突然聞こえなくなるトラブルが発生。最後の質疑の時には回復したが、少し残念。スタート直後にも説明用に準備した「桜旅7年間のリスト・福島県内一本桜番付表・福島県地図」を映すことができず、分かり難かったことと思う。

来月は、片山君が卓話を担当し、「トロイ戦争」の題で講演してくれそうです。大いに期待しましょう。

参加者 12名

経：井詰 潔、山川豊夫、山崎英昭、

山本雅俊

営：上杉 強、片山 甫、熊谷 清、

広瀬直樹、藤田 勝、前田典一、

横川 弘

法…尾崎政次

(広瀬直樹)

▽…東京10月度例会…△

(Noonミーティング)

とき 10月17日(木) 午後2時～

12名が参加して開催。卓話は片山君が担当し、ギリシャ神話の第2回目となる「トロイ戦争」について、絵画を使って説明した。質疑応答を含めて1時間半にわたる大変面白い講演でした。

講演概要は、次の通り。

BC13世紀ごろにあったとされる「トロイ戦争」は10年間続いたが、その最後の1年間で、BC8世紀頃の吟遊詩人ホメロスが「イーリアス」で歌った。プテイーアの王ペレウスとテティス(オリンポスの12神よりランクは低い神、アキレウスの母)との結婚の場に、一人だけ招かれなかった「不和の女神」エリスが「世界で最も美しい女神に」との言葉とともに黄金のリンゴを投げ込み、ゼウスはその審判をトロイの皇子パリスに任せる。物語はここから始まり、パリスの審判で、三美神(ヘラ、アテナ、アフロディテ)

のうちらからアフロディテを選び、世界一の美女ヘレネをスパルタ王から奪いトロイ戦争の原因を作った。

物語は、英雄アキレウスを中心に展開し、ギリシャ方の知将オデッセウスによる「木馬の計」でトロイが滅び、トロイ方の将アイネイアス(アフロディテの子)はトロイからイタリアに逃れ、ローマ帝国の祖となる。

卓話後、横川幹事より「むしの会2025年度計画」の素案が紹介され、11月中には年間計画を作成したいとのこと。併せて、出席者に卓話担当の希望を聞いた。

参加者 12名

経…井詰 潔、坂本憲三、森島英一、
山川豊夫、山崎英昭、山本雅俊
営…片山 甫、熊谷 清、広瀬直樹、
藤田 勝、前田典一、横川 弘

(横川 弘)

神戸六七会(昭42)

▽…9月度大阪定例会…△

とき 9月12日(木)

ところ 神戸大学大阪クラブ

8月は予定していたビヤパーティを猛暑のため急遽中止したので、2か月ぶりの開催となりました。この日も35℃と真夏並みの猛暑でしたが、今年最多の20名が元気な顔を見せてくれました。

食事をとりながら、時の話題として自民党総裁選を肴に話が盛り上がりました。特に後輩の高市さんについては他の候補と比べても彼女の能力の高さを賞賛し、難しくはあるが当選すればと期待の声も上がりました。

食事後、駒井直彦さん(営、稲葉ゼミ)の「相続事例に学ぶ」と題する卓話に移りました。概要は次の通り。

15の事例に添って具体的な相続人数、課税価格、申告納税額をベースに相続での注意点及び相続直前の相続対策の解説をして頂きました。身近な問題であり参加者は自分のケースを念頭に興味津々の思いで拝聴しました。

これ迄も相続の話は色んな会合で聞いたことはあります。しかし、ほぼ同じような一般的な話ばかりでしたが、今回のお話は相続を担当された体験から実際に役に立つ実務的な細かい事例の説明で非

常に得難いお話でした。

また、参加者からも各自が抱えている多くの問題提起に対し、公認会計士の三宅さん（経、宮下ゼミ）からも説明があり、本当に有意義な定例会でした。

本卓話で取り上げられた、相続において特に見逃され易い注意点は次の通りです。

1. 名義預金（口座名義人と実際にお金を出した人が違う預金のこと）

子や孫名義の口座に預金をするときは、贈与税申告か申告不要の贈与には贈与契約書作成が必要。

2. 専業主婦の場合、自分名義の預金金額が大きいと夫からの贈与とみなされる可能性がある（金の出どころ（例えば親からの相続）を説明できる証拠が必要）。

3. 贈与の確証なければ贈与でなく相続とみなされ、後年相続課税される（時効は民法の7年でなく税法上は基本的に時効はない）。

4. 相続が発生した場合、相続人が戸惑わないように、相続人に生前から相続財産の内訳と相続配分についても自分

の意思を明確に伝え、遺言書を作成しておくことが必要。

5. 遺産分割に際しては、子及び孫（子のない場合は兄弟姉妹）の配偶者間での揉め事に苦勞することを覚悟しておくこと。

出席者 20名

経：池田正伸、森口康徳、杉原 豊、

宮本又郎、滝谷善彦、花房幹雄、

三宅 晃

経Ⅱ：九重谷卓史

営：関口年弘、前川洋一郎、高見伸一、

平松秀則、駒井直彦、福島 繁、

吉岡伸敏、小西 華

営Ⅱ：小山哲史、富井良一

文：廣野幸夫

工：中務幸雄

▽：10月度大阪定例会…△

と き 10月10日（木）

ところ 神戸大学大阪クラブ

今夏のこれまでにない暑さを乗り越え、やっと秋らしい気配が漂う季節となりました。今回は卓話をお休みし、盛り上がりを見せている米国大統領選挙、日本の

自民党総裁選結果と総選挙についてフリートークの場としました。

一・米国大統領選挙

昨日開催された凌霄午餐会での神戸大学法学研究科蓑原俊洋教授による講演「迫る米大統領選挙とその結果…日本は何を覚悟すべきか」を聴講された吉岡、小山、杉原さんから、講演内容を次の通り紹介頂きました。

オクトーバーサプライズで大きな変化の可能性を残すも、蓑原先生の選挙予想は僅差でハリス氏の勝利。この場合、日本としては従来の路線を継承すれば良い。しかし、トランプ氏勝利となれば大統領権限を大幅に強化し国際的な同盟関係も軽視するとして、日本は「国益を担保できる中長期的なプランの作成が焦眉の急だ」と指摘されました。

参加者によるディスカッション内容は次の通り。

ほぼ全員がハリス勝利を期待する中でトランプ氏への懸念が噴出しました。①トランプ氏は商人で政治経験もない。②法律順守をしない。③物事を全て商売の損得勘定で判断する。④花房さんから

30年前に不動産王としてのトランプの著作を読んだ中で失敗は他人のせい、成功は自分の力と兎に角自己ファーストの塊と紹介された。⑤なぜ米国人がこんなトランプ氏に熱狂するのか理解出来ない。⑥石破首相はトランプ氏（両者ともキリスト教プロテスタント）に対抗できるか？⑦もし、トランプ氏が敗北すれば、米国が分裂するほど大混乱するリスクを感じる。

二、自民党総裁選結果

神戸六七会は卒業25周年同窓会で、1992年総選挙に初めて奈良から無所属で立候補、敗北された高市さんをお迎えし「タックス・ペイヤー」（納税者は政府の税金使途を監視すべき）の講演をして頂きました。また、本日参加者に自民党員が二人おられ両者とも高市さんに投票されました。以上の理由からも高市さんの総裁選敗北を殆んどメンバーが残念がりました。選挙戦略上靖国参拝を封印していればとの意見もありました。

総裁就任後の石破新総理の迷走、森山幹事長頼りの党運営や岸田前総理路線の継承で、何らの政治改革が見通せない失

望感が強かった。総選挙後の自民党内紛のおそれと政権交代可能性の高い選挙にも拘わらず野党統一の出来ない野党への不甲斐なさを感じたとの意見も。

三、生成AIについて

花房さんから、日経新聞の生成AIに係わる記事に関し、日経新聞に直接電話で意見交換した内容として「AIの知能が人類を超え、人類を滅ぼす時期が近づいている」とのメッセージを紹介。AIの専門家はこのリスクを隠蔽しており、このリスクの解明を試みる者もリジェクトされている状態が現実である。花房さんは更に情報を集めて将来報告したいとのこと。

出席者 13名

経：池田正伸、杉原 豊、花房幹雄、

三宅 晃

営：関口年弘、高見伸一、駒井直彦、

吉岡伸敏、小西 萃

営Ⅱ：小山哲史、富井良一

文：廣野幸夫

工：中務幸雄

（小西 萃）

関東四四会（昭44）

▽：7月度納涼会：△

とき 7月9日（火）

ところ 横浜「スカンディヤ」

横浜山下公園に程近い北欧料理の名店に13名が集合し、バイキングを偲ばせた重量感のある装飾に囲まれた2階でスカンジナビア・スモーガス料理を堪能した。

当日は酷暑でもあり、会食後の横浜散策を中止し珈琲館でのブ레이크を経て散会した。

出席者 13名

経：小西 順、森 泰造、有本常美

営：井上良彦、森井敏晴、溝口正平、

番 尚志

法：藤井 誠

工：小島省三、玉置昭平

教：岩井良子、藤井園子、森井晴子

▽：8月度納涼会：△

とき 8月26日（月）

ところ 有楽町「綴」

日比谷・有楽町から至近にあるニュートーキョー系列の「綴」での2年連続の

納涼会に13名が集合した。

個室でのイタリアン・フレンチ料理を堪能し和やかな会食となった。

久しぶり参加の川田さんのアイデアで「順不同、くじで順番を決める」サプライズ近況報告を経て散会した。

出席者 13名

経…安居院彰、小西 順、三宅基治、

森 泰造

営…溝口正平、番 尚志、森井敏晴

工…揖場 熙、小島省三、川田道夫、

玉置昭平

教…岩井良子、森井晴子

(有本常美)

東京 18 会 (昭45)

▽…10月例会…△

と き 10月18日(金) 正午～

ところ 東京六甲クラブ

昼食懇親会を行い、「私の終活」について意見交換・自由討議。幹事は川崎さんと横地さん。

メンバーが喜寿を迎え、終活を考える年齢となりました。

参加者 15名

経…柴田一郎、真塩敏幸、竹本鉄三、

山田晴男、横地 旦

営…上巳 浩、永田真文、山内二三、

葉山 孝、小寺 明、佐良 賢、

大辻茂雄、中村常保

法…林 佑佑、河崎英三

(中村常保)

互 礼 会 (昭50)

▽…卒業50周年記念

同窓会のご案内!!…△

「互礼会」(昭50、23回生)の卒業50周年記念同窓会を、2025年10月25日(土)の大学ホームカミングデイに合わせて開催します!!

当日の企画が固まり次第、ご案内を発信しますので、必ず当日の日程を確保しておいてください。

また、この記事をご覧頂く機会がないであろう凌霄会会員でない同期のお知り合いにもお声かけをお願いします。

(世話役・東 誠一郎)

国民経済雑誌 第228巻 第3号 (令和6年9月) 3

論 文

Midastarモデルについて

一閾値自己回帰モデルと混合頻度データ……………茂 木 快 治
競争優位に関する研究視座の考察……………張 嘉 楠

書 評

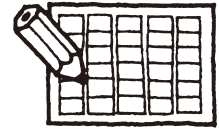
岩壺健太郎著『なるほどファイナンス』……………俊 野 雅 司

中尾悠利子・石野亜耶・國部克彦編著

『AIによるESG評価—モデル構築と情報開示分析—』……………夫 馬 賢 治

支部

通信



◇石川◇

▽…令和6年度総会・懇親会…△

とき 10月17日(木) 午後6時半～
ところ ANAホリデイイン

金沢スカイ

2016年に全学部横断の組織として「神戸大学石川県校友会」を立ち上げ、その後2019年まで毎年総会と懇親会を開催していましたが、コロナの影響で2020年以降開催を見送っており、今回5年ぶりの開催となりました。

同窓生が多く在籍する石川県庁、北國銀行、北陸銀行、北陸電力、EIZOの幹事を通じて出席を促すとともに、過去の同窓会出席者全員にメール等で連絡をとりましたが、5年の間に連絡が取れなくなっている方も多く、また、石川県庁在籍の方は、能登半島地震及び能登の豪

雨災害対応等で1名しか参加できなかったこともあり、今回は19名の参加にとどまりました。

最初に総会を開き、実盛祥隆会長のあいさつに続き、前回総会からの収支報告が行われました。その後、長沖与一顧問、向山典佐副会長(向山税理士事務所)の退任、田井徳太郎氏(田井屋)、柴田未来氏(しばた未来法律事務所)の副会長就任について、出席者全員の承認が得られました。

総会の後の懇親会は田井徳太郎副会長の乾杯の挨拶で始まり、一人1分半のルールでの自己紹介、恒例のビンゴゲームが行われました。最後に柴田未来副会長が「来年からは毎年総会・懇親会を開催します」と宣言して終了しました。

久しぶりの開催という不安があったものの、やってみると楽しい時間となりました。出身校のOB会の存在意義を再認識しました。

出席者 19名

経済…4名

経営…6名

法…3名

文…1名
工…4名
医…1名

(昭56営・向山典佐)

◇東京◇

▽…ホームカミングデイin東京…△

とき 10月26日(土)
ところ 東京六甲クラブ

昨年に引き続き「ホームカミングデイin東京」を開催しました。

式典の同時中継をクラブの大型スクリーンにて視聴し、終了後は懇親パーティーで盛り上がりました。今年の参加者は23名、昭和38年卒から平成27年卒、親・子・孫の三世代にまたがり、学部もすべての学部からの参加。まさにワン神戸としてのイベントでした。

基調講演の福田氏は、初めて知った方が多かったですが、面白い話しぶりに引き込まれ、クラブに寄贈されていた多数の著書を皆さんで持ち帰りました。学生の活動、応援団の演舞、どれをとっても神戸の香りがしました。

懇親会ではワイワイガヤガヤ、初参加の留学生イヴァネさんからは神戸の思い出話が披露され、最若手の平成27年人文科学研究科卒ヒートンさんからも「神戸が一番!」の言葉で中締めとしました。神戸まで行くのはちょっとしんどい、と言う方、是非来年はHCD in 東京に参加頂き、神戸の仲間との語らいを楽しんで頂ければと思います。

(46経、野崎 信)

▽: ありがとう帝劇ビル

出光美術館: △

とき 9月13日(金)

ところ 東京六甲クラブ

出光美術館の田中伝主任学芸員をお招きして、「出光美術館の軌跡 ここから、先へ/伴大納言絵巻から若冲へ」と題して解説いただき、その後美術館鑑賞を行いました。

まずは出光美術館誕生の経緯を、その最大の功労者である出光佐三にまつわる数々の逸話を交えてお話しいただいた。今回の展示物の解説を美術館としての意図を中心に聞かせて頂きました。どち

らかという土地な趣味であった出光佐三の思想とジョー・プライスとの出会いや、所蔵品の譲受が現在の美術館収蔵品の豊かさにつながっている。

有名な建築家であるフランク・ロイド・ライトとの関わりも大変興味深いものでした。

出光美術館も12月25日までの展示会を最後に、しばらく休館となります。

参加者は39名、昭和35年卒から平成7年卒まで幅広く、ご夫妻での鑑賞も5組と大勢で賑わいました。

(57法、鶴原 誠)

▽: ありがとう帝劇ビル

コンサート「日本の抒情」: △

とき 10月6日(日)

ところ 東京六甲クラブ

鈴木香代子さん(51教)の歌、村上江里佳さん(59教)のピアノで大正浪漫から現代までの日本の心と風景を奏でて頂きました。

第1部では、「待ちぼうけ」「宵待草」「初恋」「しぐれに寄せる抒情」などなど。

第2部では鈴木さんが颯爽と「さくら

横ちょう」「風の光芒」(源義経題材の歌)「Stand Alone」を歌い上げ、拍手が鳴り止みませんでした。

鈴木さんが初めてクラブで歌ったのは、もう20年も前のこと。まだピアノがなくてカセットデッキ持ち込みで伴奏を流しながらの歌唱だったそうです。その後、会員有志の厚意によりピアノが置かれ、教育学部・発達科学部音楽科同窓生による「Bel monte六甲」も結成でき、月一度、世代を超えた交流も楽しんでいます。

参加者はクラブ会員・卒業生の32名に加えて、鈴木さん・村上さんのファン26名も加わり、大きな賑わいとなりました。

(46経、野崎 信)

▽: ありがとう帝劇ビル

ミュージカルライブ: △

とき 10月20日(日)

ところ 東京六甲クラブ

帝国劇場で上演されたミュージカルを、小寺美穂さん(平14保健)の司会で、ミュージカル俳優森田浩貴さん達と、六甲クラブの時代の流れも絡めながら、振り返りました。

曲名は、「サウンドオブミュージック」
全ての山にのぼれ、エーデルワイス、な
どメドレー、「レミゼラブル」夢やぶれて、
オンマイオウン、対決、民衆の歌、など
メドレー、「ラマンチャの男」見果てぬ夢、
「マイフェアレディ」踊りあかそう、「王
様と私」Shall we dance、など。

参加者は22名、加えて小寺さんファン
の20名も加わり大盛況。昭和32年卒から
平成22年卒まで、祖父から孫の年代に渡
り、ミュージカルを楽しみました。

(46経、野崎 信)

▽：第170回木曜会：△

とき 9月12日(木)

ところ 東京六甲クラブ

紫陽会(教育・発達科学・国文・国際
人間科学)担当で、国際文化科学研究科の
板倉史明教授をお迎えし「映画をより深
く味わうための映画学入門」と題してご
講演いただきました。

板倉先生は、筑波大学第二学群比較文
化学類を卒業後、京都大学人間・環境学
で博士号を取得。東京国立近代美術館フ
イルムセンター主任研究員を経て、12年

前に神戸大学国際文化研究科教授。主
な著書に『映画と移民』(単著、新曜社、
2016)、『神戸と映画』(編著者、神
戸新聞総合出版センター、2019)な
どがあり、テレビ出演だけではなく、第
2回京都映画文化賞(1999年)を受
賞されるなど、あらゆるところで活躍
中です。

講演は、映画の基礎用語、ショット、
カット、シーン、センチンス、シークエ
ンスなどの細かい解説から始まり、メイ
ンは、映画制作時の演出7ポイントにつ
いて。①セット②小道具③衣装④俳優の
動かし方と演技⑤編集(フィルムのつな
ぎ方)⑥撮影(色、アングル、長さ)と
照明⑦音(音楽、効果音、声)について
目の付け所を教えていただいた後、映画
を観てみると、監督の仕掛けてあるきめ
細かい演出をあちこちに見つけることが
でき、俳優の何気ないしぐさや小道具の
一つ一つに込められた熱い思いが効果的
に伝わってきました。

今回、時間切れで観ることができなか
った日本映画「夜の河」の解説付き鑑賞会
も是非いつか拝見してみたいと思います。

参加者は、クラブ参加25名、Zoom参
加8名の計33名。平成生まれの若者や女
性の参加者が多い、紫陽会らしい明るく
にぎやかな会となりました。

(60教、菅河真紀子)

▽：第171回木曜会：△

とき 10月10日(木)

ところ 東京六甲クラブ

「生涯健康を実現する方法」をテーマに、
群馬大学大学院未来先端研究機構ウイル
スバスター開発研究センター長・医学系
研究科脳神経再生医学分野の平井宏和教
授による講演。現代社会が抱える健康課
題について科学的な視点から多面的に解
説され、健康維持のために私たちができ
る具体的なアプローチを示された。

高血圧や糖尿病などの慢性疾患につい
て、薬物治療では完全に治癒することが
難しく、医療の力だけでなく、予防を心
がけることで経済的・精神的な負担を軽
減するメリットがある。

次に、腸内環境と健康の関係。肥満が
腸内の悪玉菌の増加に起因すること、ま
た善玉菌を増やすためにはオリゴ糖や食

物繊維を積極的に摂取することが効果的。

そして、幸福感と神経伝達物質の関係。ドーパミン、オキシトシン、セロトニンといった神経伝達物質が心の健康に重要な役割を果たすこと、特に「ドーパミンの幸福」は一時的であり、「オキシトシンの幸福」や「セロトニンの幸福」を重視することが持続的な幸福感を得る鍵である。

病気になるってからの治療ではなく、病気になるための予防に力を入れることが大切。特に、日常生活の中で無理なく実践できる食事改善や運動が重要。また、心の健康も含めた「全人的な健康」の考え方は、これからの健康管理の指針として非常に有用。

参加者は、クラブ参加17名、Zoom参加10名の計27名でした。

(平24医、加来佐和子)

▽: 第15回東京六甲クラブ杯

ゴルフ大会…△

とき 8月30日(金)

ところ 大浅間ゴルフクラブ

大型の台風10号が九州に上陸し、全国

的に不安定な天候が続く中、従来「神戸

大学学友会長杯ゴルフ大会」として開催してきたゴルフ大会は、「校友会」の発足に伴い「学友会」が消滅したことにより、今年から取りあえず「東京六甲クラブ杯ゴルフ大会」として開催しました。

当初19名の参加申込に対し、台風の影響で参加者は12名に減少しましたが、前日までの雨とは打って変わり、奇跡的に、ときおり薄日が差す絶好のゴルフ日和となり、参加者は和気藹々とプレーを満喫されました。

成績(新ペリア方式)

優勝 多田 賢男(昭49農)

準優勝 辻 等(昭44営)

第3位 安井 泰朗(昭54営)

ベストグロス賞(94) 多田賢男

その他の参加者

飯塚延幸(46経)、森本高行(46営)、藤

田祥治(46営)、武藤敏直(49経)、梶井

香樹(49農)、渡部賢一(50経)、青木俊

造(51経)、末澤寿一(51農)、田中 易

(56農)

次回は、10月24日、茨城ゴルフ倶楽部で第69回石井光次郎杯ゴルフ大会を開催

予定。

皆様のご参加をお待ちしています。

(藤田祥治)

◇神 戸◇

▽: 第1578回午餐会…△

とき 9月11日(水)

ところ 湊川神社「楠公会館」

講師 神戸大学名誉教授

石井 淳蔵 氏

演題 「進化するブランドと日本の経営」

講師略歴

昭和45年神

戸大学経営学

部卒、昭和50

年大学院経営

学研究科博士



課程修了、商学博士。同志社大学商学部

教授、神戸大学大学院経営学研究科教授、

流通科学大学学長、流通科学研究所所長

を歴任。平成22年阪神電鉄監査役、平成

27年レンゴー監査役。日本商業学会会長、

日本マーケティング協会理事、日本マー

ケティング学会会長歴任。

講演概要

多くの日本の会社は、自身の会社ブランドを大事にします。そしてそのブランドは、時代とともに進化しています。会社ブランドに重点を置き、その進化を進めるといふ日本の会社のやり方は、世界でも独特のやり方だと言われてきました。そのやり方にどのような利点があるのか、そしてどうして日本の会社はそうしたブランドづくりを行うのかをご講演いただきました。

出席者 53名

石光輝男（昭21）、三木谷節子（29経）、升谷 博（31営）、鶴 浩一（32経）、高橋 潔、吉田昭彦（32営）、福本哲也、高倉俊夫、安中一雄、吉田 健（32法）、四谷 實、石原謙一（33経）、荷宮英文、大原八十八（34経）、曾根 準、高崎正弘（34営）、山邑陽一（34法）、井上 惇（35法）、杉田文夫（36経）、柿 聰、王 鞍 功（36営）、谷田光彌（37営）、前田慎一郎（37法）、藤田宜紀、鈴木雅式（38経）、藤原達也（38営）、新垣恒則（40営）、村岡 孝（41経）、前川洋一郎、松尾 享（42営）、今村文繁（43経）、

松重君予（43法修）、坂井信也、進藤政和（45経）、安藤幹雄（45法）、一木 仁（46経）、阪本 恵、田中貴俊（46営）、嶋谷 健（47経）、岩佐良明（48経）、飯田敏康（48営）、村田克明（50経）、芝池 勉（51営）、岸本晴夫、西岡慶則（52営）、若狭一弘（55経）、森地高文（56営）、三宅陽子（32文）、森岡宏次（41工修）、石賀暢一（45農）、浦嶋まさ子（53教）、谷田明穂、平田 晃（ゲスト）

▽第1579回午餐会△

とき 10月9日（水）

ところ 湊川神社「楠公会館」

講師 神戸大学法学研究科教授

箕原 俊洋 氏

演 題 「迫る米大統領選挙とその結果

..日本は何を覚悟すべきか」

講師略歴



1992年

カリフォルニア

大学ディヴィ

ス校卒、19

96年神戸大

学政治学修士、1998年同博士。19

99年神戸大学法学部助教授、2005（07年オックスフォード大学客員フェロー及びライデン大学客員教授、2017年神戸大学法学研究科教授、2019年インド太平洋問題研究所理事長。

講演概要

米国約250年の歴史で、初めて有罪判決が下ったトランプ前大統領。にもかかわらず、岩盤支持基盤に支えられた彼の人気は一向に衰える気配を見せず、また、暗殺未遂事件を経てからは「神のご加護」があったことを訴えてキリスト教右派の支持を取り込んでさらに選挙戦に弾みがついた。他方、活気を欠いていた民主党は、大統領討論会以降、周囲に多くの不安を抱えさせていたバイデン大統領が突如退陣を表明し、代わって副大統領のハリスが民主党の大統領候補になったことで、選挙の潮目は大きく変わり、接戦州で競り合うようになってきた。とはいえ、マイノリティーの女性が果たして大統領の座を射止めることができるのか。11月5日の投票日が間近に迫る中で、選挙の現況を解説し、両候補が主張する政策と日本への影響を分析しつつ、日本

の取るべき対応についてご講演いただきました。

出席者 69名

石光輝男(昭21)、三木谷節子、小川光生(29経)、升谷 博(31営)、朝倉榮一(31法)、鶴 浩一(32経)、吉田昭彦(32営)、福本哲也、高倉俊夫、安中一雄、吉田 健(32法)、四谷 實、石原謙一、河合利一(33経)、森清晴夫(33営)、荷宮英文(34経)、野々垣剛、曾根 準、高崎正弘、寺井洋一(34営)、宮崎高明、岡村二郎(34法)、井上 惇(35法)、杉田文夫(36経)、柿 聰、王鞍 功(36営)、左鴻秋義(37経)、加輪上敏彦(37営)、藤原 博(37法)、青山徳次、藤田宜紀、鈴木雅式(38経)、須田 巖、上杉 強(39営)、新垣恒則(40営)、根岸 哲(40法)、村岡 孝(41経)、杉原 豊(42経)、平松秀則、松尾 享、吉岡伸敏、小山哲史(42営)、長谷州二(42法)、今村文繁(43経)、松重君予(43法修)、大澤一敏(44経)、長谷川鎌一(44営)、野口紀之、坂井信也、進藤政和(45経)、安藤幹雄(45法)、一木 仁(46経)、田中貴俊(46営)、嶋谷 健(47経)、岩佐良明(48経)、

飯田敏康(48営)、村田克明(50経)、高士 薫(50法)、岸本晴夫(52営)、山本亮三(53営)、吉岡猛逸(54営)、森地高文(56営)、浅井良昭(61法)、赤塚宏一(37船)、森岡宏次(41工修)、石賀暢一(45農)、浦嶋まさ子(53教)、平田 晃(ゲスト)、福田優也(法3年)

▽：第1580回午餐会：△

と き 11月13日(水)

ところ 湊川神社「楠公会館」

講師 一般財団法人神戸観光局

神戸フィルムオフィス

担当部長 松下 麻理 氏

演 題 「神戸大学で撮影された

映画・ドラマ」



講師略歴

奈良市生まれ。神戸市内3つのホテルでの勤務を経て、2010

年に神戸市が初めて公募した広報専門官に就任。2013年からは広報官として神戸市の広報を担う。2015年からは

神戸フィルムオフィスにて、映像作品の誘致やロケ支援を通じて神戸の魅力発信を行っている。

講演概要

日本における映画発祥の地である神戸。21世紀の新しい映像文化を神戸から発信します。神戸フィルムオフィスは映画やドラマの撮影を誘致し、様々な支援を行っています。

神戸大学は映像制作者が撮影を熱望する人気のロケ地。神戸大学で撮影されたさまざまな作品を、撮影時のこぼれ話と共に紹介していただきました。

出席者 45名

石光輝男(昭21)、三木谷節子、小川光生(29経)、升谷 博(31営)、鶴 浩一(32経)、高橋 潔、吉田昭彦(32営)、福本哲也、高倉俊夫、渡辺忠男、安中一雄、吉田 健(32法)、石原謙一、河合利一(33経)、森清晴夫(33営)、荷宮英文(34経)、曾根 準、寺井洋一(34営)、岡村二郎(34法)、井上 惇(35法)、杉田文夫(36経)、柿 聰、王鞍 功(36営)、谷田光彌、渡邊洋司(37営)、新垣恒則(40営)、根岸 哲(40法)、村岡 孝

(41経)、杉原 豊(42経)、野口紀之、坂井信也、進藤政和(45経)、安藤幹雄(45法)、一木 仁(46経)、瀬野銅太郎(46営)、嶋谷 健(47経)、村田克明(50経)、岸本晴夫、西岡慶則(52営)、若狭一弘(55経)、石賀暢一(45農)、谷田明穂、平田 晃、子安奈都子、磯辺康子(ゲスト)

(村田克明)

◇愛媛県◇

▽…夏の同窓会…△

とき 8月3日(土)
ところ ネストホテル松山

「延安の間」

神戸大学校友会愛媛県支部としては第1回となる同窓会を開催しました。と申しまして、凌霜会として長年続けてきた神戸大学同窓会を引き続き行つて、内容的には旧交を温める会としてその伝統を引き継いでいます。

今回の話題は二つ。一つは、現在、神奈川県に在住の加藤裕朗先輩(昭和32経)が松山に帰省され、久し振りに愛媛県支

部の同窓会にも御出席をいただいたこと。これまでも開催日に併せて帰省の日を調整されていましたが、今回もそれが叶い、大先輩のお話をお伺いすることができました。

もう一つは、加藤章先輩(昭47農)が、松山市に隣接する東温市の市長として三選されたことです。今回の同窓会出席は叶いませんでした。今回の冬の同窓会には是非お越しただいて、抱負などお話を聞かせていただければ有り難いと思っています。

出席者 12名

加藤裕朗(昭32経)、満野 光(38工)、渡部 剛(44経)、渡部浩三(48経)、村上 聖(48工)、山崎芳樹(49法)、松本浩伸(55営)、宮本 徹(55経)、越智和彦(55法)、大西亮一(58法)、藤川広治(61工)、佐伯典昭(平1経)

(越智和彦)

◇福岡◇

▽…令和6年家族会…△

とき 10月25日(金)午後6時

ところ 稚加栄

コロナ明け後4年ぶりの開催となった家族会を参加者14名で開催することができました。

家族会といっても昔は、子供、孫の出席がありました。現在では会員の高齢化により、一部の会員の夫人が出席される会合となっています。

当日は、昭和37年卒の西川實氏の乾杯の音頭で開宴しました。久しぶりに顔を合わせる方も多く、じっくりと話し込んで頂こうとの趣旨で特段の催しを企画することもなく楽しい2時間を過ごすことができました。

最後に、今回初参加の昭和40年卒原猛氏、昭和53年卒川野正裕氏のリードで「商神」を大合唱し散会となりました。

出席者 14名

西川 實(昭37)、原 猛(昭40)、小森俊介(昭43)、白石信子、竹崎敏和(昭46)、同夫人、小澤良一(昭51)、同夫人、藤下 博(昭52)、同夫人、漆間道宏(昭52)、川野正裕(昭53)、平井義人(昭54)、日下健太(平4)

(経・藤下 博)



藤蔭四の会（藤井茂ゼミ新制4回）

とき 令和6年5月24日（金）
ところ 六甲台

レストラン「さくら」

社会科学系図書館、他

毎年5月に京都、大阪等で集まってきたが、今年は初めて母校で開催。全員が満90歳超となり、出席は6名のみ（含、家族3名）。

レストラン「さくら」にて昼会食・懇談の後、図書館にて大先輩・中山正實画伯の壁画「青春」他を鑑賞。出光佐三記念六甲台講堂は都合により入れなかった。

思い出のキャンパス棟、黒松、楠木など年季の入った佇まいなどを堪能して散会。

参加者

東谷 晟、福永幸雄、酒井國男
家族

東谷勢津子、柴田敦子、西川和子（故、西川明氏の夫人、藤井教授のご息女、横浜在住、毎年参加）

（酒井國男）

幸ゼミ（新野ゼミ）

▽：2024年度総会…△

とき 9月22日（日）

ところ 六甲台アカデミア館

これまで年1回はこの時期に開催していましたが、2020年12月に新野幸次郎先生が逝去なされて以降は、新型コロナウイルスの流行もあり開催することができませんでした。しかしながら、幸ゼミ会員の再開への強い希望もあり、昨年度に続いての開催となりました。当日は朝から雨模様様の1日でしたが、ゼミOB・OG31名の参加がありました。

総会はこれまで通り、第1部として背広ゼミをアカデミア館3階の「さくら」で行い、僭越ながら、筆者が最近の様々なマクロデータを使いながら主として2010年代の日本経済の状況について話題提供をさせていただきました。その後、

参加者と一緒に今後の日本経済の在り方等について活発な意見交換を行い、大変有意義な背広ゼミとなりました。

第2部の懇親会は同じくアカデミア館3階の「さくら」で行い、最初に和田義次会長（14回生）からご挨拶をいただき、その後、会長のご発声による乾杯がありました。出席者は、お互い歓談しあったあと参加者の近況報告が行われましたが、それぞれに現在の仕事内容や過ごし方、さらには、ユニークな趣味の実践などユーモアを交えて報告があり、楽しい時間を過ごすことができました。

最後は、参加者が記念撮影を行い、今年度の幸ゼミ総会はお開きとなりました。参加者

14回生（昭41）…和田義次

15回生（昭42）…小野村敏文、片山誠一、

前田武文、森口康徳

19回生（昭46）…前田隆夫

21回生（昭48）…田中康秀

22回生（昭49）…高谷晋介、滝本 学、

正岡茂明、枡井俊一、

森 嘉彦

23回生（昭50）…大東辰雄

Ⅱ 23 回生 (昭51) …… 嘉村勝行

25 回生 (昭52) …… 山本浩司

26 回生 (昭53) …… 片木茂久

27 回生 (昭54) …… 蔭山秀一、畠山恭子、

山崎修一、山田幸三

28 回生 (昭55) …… 石井 昇、上田真造、

長谷川博史、村上尚典

31 回生 (昭58) …… 中西博人

32 回生 (昭59) …… 川口浩司、原 秀樹

33 回生 (昭60) …… 田渕信也、村島明成

34 回生 (昭61) …… 新昶完志、長澤幸一
(田中康秀)

グリークラブ関西OB会

▽…5 年ぶり第38 回…△

と き 9 月21 日 (土)

ところ 神戸大学大阪クラブ

2019 年9 月に開催してから、実に
5 年ぶりの開催となりました。コロナの
影響もありやっと開催にこぎつけること
が出来ました。現役の2 名を含め、35 名
が集まり12 時半開会。

浅野洋さん (30 営) 差し入れのシャン
パンでの乾杯で会は始まりました。初参

加の岩瀬芳則さん (53 経)、望月薫博さ
ん (57 営)、吾妻信章さん (57 営) から
の挨拶の後、現役生参加の米谷和真さん
(工4 年)、小西玄基さん (海1 年) から
現役グリークラブの状況、寄付の依頼が
ありました。

現状のグリーの厳しい状況 (現在6 名)
や、その中でもジョイントコンサートを
開催し、グリーの灯をともし続けている
ことが報告されました。新入団員を確保
して、少しでも増やしてほしいものです。

その後、井上和雄さん (38 経)、阪上
公博さん (60 工)、岩瀬芳則さん (53 経)
が順にいつもの愛唱歌を指揮して、参
加者全員で合唱しました。愛唱歌は、
「希望の島」、「Standchen」、「Song of
Soldiers」、「Uboy」、「秋のメロ」、「商
神」そして「遥かなる友に」でした。久
しぶりの合唱にもかかわらず、元気いっ
ぱいの歌声がホールに響きわたっていま
した。

六甲男声合唱団員の参加は13 名と多く、
本年12 月7 日の70 周年記念定期演奏会の
案内をし、閉会となりました。

来年は、9 月の第一土曜日 (6 日) に

12 時半から開催します。
参加者

浅野 洋 (30 営)、大谷 遷 (31 理)、丹
下豊吉 (32 工)、寺井洋一 (34 営)、加輪
上敏彦 (37 営)、桐ヶ窪卓 (37 経)、井上
和雄 (38 経)、加藤雅夫 (39 法)、川島国
暉 (42 経)、丹下良祐 (44 営)、的場元信
(44 営)、三木研司 (44 経)、岡田登史彦 (45
営)、徳重光彦 (45 営)、前田豊治 (45 経)、
奥村 隆 (46 営)、永井哲郎 (47 営)、上
田 孝 (50 経)、板敷 勝 (52 経)、丸山
文雄 (52 経)、苗田英彦 (52 工)、金平哲
也 (53 経)、岩瀬芳則 (53 経)、北条 淳
(53 経)、西本憲生 (53 工)、松尾誠司 (55
経)、樋口莊一郎 (56 営)、望月薫博 (57
営)、吾妻信章 (57 営)、濱田 輝 (59 法)、
柏木将男 (59 法)、村田一朗 (59 教)、阪
上公博 (60 工)、米谷和真 (工4 年)、小
西玄基 (海1 年)
(永井哲郎)

宝生流謡会

▽…東京地区OB・OG 例会…△

と き 10 月17 日 (木)

ところ 東京六甲クラブ

毎年恒例の東京地区神戸大学宝生会OB・OG会を開催。「紅葉狩」「船弁慶」の2曲を往年と遜色のない元氣いっぱいの声で謡いました。

今日の謡会のために遙々神戸から2名の参加がありました。伊東静夫師範と一緒に若手代表として神戸本部OB・OG会の藤森会長が参加、高齢化の進む東京地区宝生会にとっては明るい材料の一つになりました。

出席メンバー各人の近況報告と宝生流関連情報の交換で盛り上がりました。老境にあつて能楽の世界に心酔している人、能楽から離れて本人や家族の健康、子供の教育問題等々これまで長期に亘る苦闘をようやく脱して心の安寧が訪れたことをしみじみ述懐する人など、それぞれ悲喜交々の人生航路を歩んで来た頼もしい仲間達です。

来年5月には、神戸大学宝生会（神戸大学宝生流能学部）再興10周年記念の大会が神戸で企画中とかで、当地区からの参加希望もあり本部神戸との連携を強めることを確認しました。

若手の活躍の期待を込め、来年の開催を約して散会となりました。

出席者 7名

井上良三（昭41経）、伊東静夫（昭42経）、
和田 博（昭43経）、古賀正明（昭45営）、
上田安子（昭46文）、徳井久義（昭47経）、
藤森丈太郎（令2経）

（井上良三）

東京六甲クラブ囲碁会 神戸KUC囲碁クラブ

▽…箱根囲碁研修会…△

とき 11月20日～21日
ところ 箱根仙谷原

ホテル花月園

新装なった小田原駅前の新城下町は、郷土の偉人といわれる二宮金次郎夫妻の銅像も置かれ、ブームタウン化していて外人観光客も大勢で大変な賑わい。その駅前以北条早雲の像から、バスで1時間足らずで花月園についた。紅葉には少し早いが濃い緑の谷間からは霧が沸き、白銀輝く富士山も望める景勝の地で、調度も整っているこの花月園では古くから囲

碁、将棋のタイトル戦が行われていて、最近ではこの10月22日～23日に柴野虎丸と一力遼の囲碁名人戦の第5局が打たれたばかり。

メンバーは東京六甲クラブ10名、神戸KUC4名、技術師会5名の19名で、棋力に応じてA、B、Cの3クラスに分かれて対局した。

A級優勝は斉藤紀明さん（東京六甲・昭47）、B級優勝は河辺弘さん（東京六甲・昭34）、C級優勝は木戸健二さん（神戸KUC・昭48）の結果になった。例年のことながら東京六甲クラブの担当者の行き届いた配慮で、今年も仙境に遊ぶ2日間を満喫できた。

碁は、手談といわれるように盤上での会話であるが、盤外での会話も楽しい。元TBSのアナウンサーで紅一点の川村麻紗子さんは、有段者で日本棋院の普及指導員、全碁協広報委員長を務められ、ほかにも各種囲碁大会を主催するなど囲碁の普及に活躍されている。また、全員の写真の撮影をされている川本晃生さんは90歳を超えてなお世界のスポーツ観戦にも関心があり、今年はアメリカ西海

岸に大谷翔平を、東海岸にテニスの新星
ココ・ガウフを観戦に行かれた。夕食の
歓談の中では、内部告発文書に端を發し
た兵庫県知事の不信任議決と17日に行わ
れた選挙結果も話題になった。

東京六甲クラブ囲碁会は毎月第2金曜
日・第4金曜日に、神戸KUC囲碁クラ
ブは毎月第4金曜日に中央区諏訪山地域
福祉センター（元町駅北徒歩7分）で例
会を開催しており、棋力を問わず新規加
入者を歓迎している。

（34法・岡村二郎）

水霜談話会

▽：第635回例会：△

とき 9月12日（木）正午～

ところ 如水会館

講師 神戸大学先端膜工学研究

センター長

教授 松山 秀人 氏

演題 「地球環境問題（水不足、温暖化）

の解決に貢献する膜技術」

如水会参加者

峯岸 準一（昭40） 乃村 晃（昭40）

神田 芳雄（昭41） 鶴澤 静（昭44）
倉澤 亨（昭45） 渡邊 彰（昭46）
上田 幸伺（昭46） 三善 信明（昭47）
大井 篤（昭48） 網屋 伸介（昭56）
佐藤 文男（昭59）

凌霜会参加者

宮崎 徹夫（昭40） 田邊 弘幸（昭43）
松田 武（昭43） 道野 徹（昭46）
内田 健温（昭51） 松平 正久（昭52）
田中 秀一（昭55） 田中 幸一（昭55）
北野 幸広（昭55） 鶴原 誠（昭57）

（経・道野 徹）

大阪凌霜短歌会

□第393回（9月9日）

ところ 大阪凌霜クラブ

出詠者 11名

老松の巖たる幹にれいしの葉

巻きつきいはいば青き実を下ぐ

昭30営 宮本 靖彦

偶々に水の惑星に九十年

何をあくせく思い煩う

昭30経 黒田 守彦

地を擦らんばかりに往き来するつばめ

虫湧く夕べ餌採り忙し

昭34法 加藤 高明

酷暑下に息をひそめし庭の蚊は

盆明け涼めば一氣に攻め来る

昭41経 林 耕作

淀屋はん道頓はんとくらぶれば

松下はんは少し小さい 田土 成彦

変らない幼なじみの声

されど会うをためらう八十路すぎれば 田土 才恵

□第394回（10月21日）

ところ 大阪凌霜クラブ

出席者 11名

行き暮れの子期せぬ暗さとその寒さ

帰って来たね浪速の秋が

昭30営 宮本 靖彦

会いたいと千葉より癌の姉来たり

京で食事す妹も呼び

昭30経 黒田 守彦

夏枯れの野辺に鮮やか紅い花

十日遅れの彼岸花咲く

昭34法 加藤 高明

「うめきた」に芝と噴水現れて

よそ行き児童が濡れはしゃぎおり

昭41経 林 耕作

その五分何なんだらうバスの来る方を

眺めてバス待つ時間 田土 成彦

ひたむきに歩みし茶道覚えたる

大徳寺納豆そのしょっぱさも

田土 才恵

(黒田守彦)

東京凌霜俳句会

▽:8月例会(658回):△

第49回インターネット句会を行った。

出句・選句者は6名。リアル句会出席者は4名。

今回の自選句は次のとおり。

夏蝶の修羅のごとくに翻る

昭32営 大隅 徳保

監督の声まで日焼けしてをりぬ

昭36法 福島 有恒

秋立つや噛みしめて飲む井戸の水

昭41工 宗村 俊明

棚経に向かう僧侶のヘルメット

昭42文 稲葉小宇天

金木犀父の遺せし墨をする

昭46農 星川 白行

みんなの軀きらりと路の上

昭46経 橋爪 耕読

熊野ひろしさんから今年3月以来の投

句がありました。締め切り期限に間に

合いませんでしたので、そのうちの一句

を掲載します。

風の盆母には判る笠の中

昭30経 熊野ひろし

▽:9月例会(659回):△

第50回インターネット句会を行った。

出句・選句者は6名。リアル句会出席者は4名。

今回の自選句は次のとおり。

鳥獣の戯画出て遊ぶ秋の月

昭32営 大隅 徳保

誰も居ぬ池は蜻蛉の交差点

昭36法 福島 有恒

池塘ゆく風のきらめき草紅葉

昭41工 宗村 俊明

送電塔目印にして墓参り

昭42文 稲葉小宇天

とりどりに色づく風や山装ふ

昭46農 星川 白行

鉄棒に体揺すれば秋の風

昭46経 橋爪 耕読

▽:10月例会(660回):△

第51回インターネット句会を行った。

出句・選句者は6名。リアル句会出席者は4名。

今回の自選句は次のとおり。

絵硝子の十二使徒像小鳥来る

昭32営 大隅 徳保

吾亦紅あるとも見えぬ風に揺れ

昭36法 福島 有恒

出格子に映ゆる日差しや秋の水

昭41工 宗村 俊明

鶏頭を植えたる庭に軍鶏の籠

昭42文 稲葉小宇天

ざわめきを越えて秋風上高地

昭46農 星川 白行

幼稚園門の表示は「うんどうかい」

昭46経 橋爪 耕読

(経・橋爪信篤)

大阪凌霜俳句会

▽:9月(第490回)例会:△

とき 9月30日(月)

ところ 大阪凌霜クラブ

出席者5名。各自の自選句は次の通り。

秋暑し地震大雨能登半島

昭32 山際美代子

十六夜の月に控への雲の舟

昭36 石井のぼる

雀さて鳩きて水を原爆忌

昭39 新谷 壯夫

熱帯夜鳴いてよいかと秋の虫

昭44 八十嶋敦子

一頭に出合ふ頂渡り蝶

昭46 石原真紀子

▽：10月（第491回）例会：△

とき 10月28日（月）

ところ 大阪凌霜クラブ

出席者4名。各自の自選句は次の通り。

不許の門なれども灘の新酒なら

昭36 石井のぼる

通草の実ムンクの叫び見えてきし

昭39 新谷 壯夫

閑かさの極まりに鳴る添水かな

昭40 吉本隆太郎

フランス語の声の降りたる松手入

昭46 石原真紀子

▽：11月（第492回）例会：△

とき 11月25日（月）

今月は晩秋の吟行を実施。大川・中之

島クルーズの後、ホテルニューオオタニ

でランチ。引き続き句会を行った。

出席者は7名。各自の自選句は次の通り。

クルーズやこれはこれとは秋陽中

昭32 山際 みこ

浮鳥の目線に現れて天守閣

昭33 伊達 雅和

紅葉の真只中に大阪城

昭36 石井のぼる

橋いくつ潜りて出遭ふ城小春

昭39 新谷 壯夫

牡蠣舟の昭和を醸すビル狭間

昭40 吉本隆太郎

冬暖か春風馬堤の橋くぐる

昭44 八十嶋敦子

手振りあふ八軒家浜冬ぬくし

昭46 石原真紀子

（経・新谷壯夫）

凌霜川柳クラブ

▽：10月句会：△

投句者 8名（投句者間の互選で進行）

宿題「揺らぐ」

五点句

朝決めた禁酒禁煙揺らぐ宵

昭34経 大原八十八

幾たびか揺らぎながらもダイヤ婚

昭34営 井上 朗

友逝きて自信が揺らぐ我が体

昭52営 奥村 昌彦

三点句

米不足揺れる稲穂に頭垂れ

どちらかな「揺れる」「揺らす」恋心

平16法 上羽 利明

二点句

金メダル取るまで心揺るがない

昭44経 三谷 史生

100年で築いた聖地揺るぎなし

昭52営 奥村 昌彦

AIを揺らぐ心で使ってる

平9経 伏木真理子

一点句

良くぞ生きそれでも揺らぐ老い心

昭34 渡辺仁太郎
揺るぎない決意を語る各候補

昭34 経 大原八十八

天辺に昇ると揺らぐ主義主張

昭34 井上 朗

揺らぐ州大統領の首決める

昭44 経 三谷 史生

買いもんに行けば誘惑一升瓶

昭62 農 藤井 貞雄

宿題「時事川柳をテーマに」

六点句

目には目をいつまで続く殺し合い

昭34 渡辺仁太郎

五点句

神様よ酷いじゃないか能登豪雨

昭34 井上 朗

四点句

恐ろしやポケベルまでも殺人器

昭34 渡辺仁太郎

ミyakミyakが不人気振りに涙する

昭44 経 三谷 史生

三点句

ナマズです南海トラフ予知します

昭44 経 三谷 史生

総裁も知事も民意を外に置き

昭52 奥村 昌彦
歳聞かれアランドロンと同年

昭34 経 大原八十八

ついにくる定形郵便百円台

平9 経 伏木真理子

一点句

決戦投票改革の声消えていく

昭34 経 大原八十八

北中露高みの見物米選挙

昭52 奥村 昌彦

県産品蟹蠣玉葱酒と知事

昭62 農 藤井 貞雄

兵庫知事あれでは嫁も大変だ

平16 法 上羽 利明

トランプか打つ手を模索経営者

平9 経 伏木真理子

次回は令和7年1月、宿題「選ぶ」で

2句、「時事川柳」で2句。1月10日（金）

までにメールで太平までお送りください。

Mail: kohira2382@raums.jp

川柳で「憂と晴らし」や「心のゆとり」

を持つてほしいものです。

（凌霜川柳クラブ事務局 大平賀寿子）

神戸大学ニューズネット委員会OB会

1月17日に阪神・淡路大震災から30年を迎えるのを前に、学内ではさまざまな企画展が開催されています。

社会科学系図書館は、所蔵資料を中心とした写真や地図などで紹介する資料展「阪神・淡路大震災30年 あの日神戸―記憶の継承―」を、本館2階展示ホールで開催しています。震災当時の被災状況や街の様子と30年後の復興を遂げた現在の様子とともに展示しています。入場無料で、2月3日（月）まで。

また大学文書史料室は、阪神・淡路大震災の犠牲となった神戸大生・教職員を紹介する特別展「1995. 1. 17―神戸大学震災犠牲者の追憶―」を神戸大百年記念館1階展示ホールで開催しています。入場無料、1月31日（金）まで。

ニューズネット委員会も、六甲や深江周辺の被災した街を記録したパネル写真展「あの日、壊れた街 六甲道・深江・三宮」を開催。神戸大鶴甲第1キャンパス「ラーニングコモンズ」に続いて、1月31日（金）まで百年記念館1階展示

ホールに会場を移して展示しています。

11月12日、学長選考・監察会議の結果、藤澤正人・現学長が次期学長予定者に決定しました。2期目の任期は2025年4月1日から2027年3月31日まで。今回の学長選は同氏と國部克彦・経営学研究科長が立候補していました。藤澤学長は、1984年に神戸大医学部卒。

神戸大ニュースネット委員会が配信した、8月中旬から11月中旬のニュースのヘッドラインをお届けします。詳しいニュースは、ホームページ<https://kobe-u-newsnet.com>をご覧ください。



◎山野ジャズコン マソックは13位、古川千鶴さんにソリスト賞 8月18日
◎はちの巣座が新人公演「いつまでも君を」 8月24日

◎学長選・最終候補者の所信表明と面接映像公開 8月30日

◎硬式野球部、秋季開幕2連勝 1部復帰向け好発進 9月5日

◎30回目の灘チャレンジ 学生と地域が1・17伝える 9月15日

◎神大ラリー豊岡市で 自動車部主催

9月15日

◎ニュースネットが夏合宿 震災30年の取材計画決める 9月28日

◎百年記念館にスターバックス開店 10月1日

◎神戸市バス運賃 20円値上げ 10月1日

◎生物学で社会をよりよく iGEM summitメンバー募集 10月1日

◎男子ラクロス、ファイナル3進出 関西連覇まであと2勝 10月6日

◎神戸大生の飲食店検索アプリ「えーごはん」リリース 10月13日

◎ベルカン業界セミナー 六1キャンパスで開幕 10月20日

◎秋新歓 鶴1食堂横で始まる 10月21日

◎社会科学系図書館で震災資料展始まる 10月22日

◎学生会館 Wi-Fi 開通 10月22日

◎業界・企業説明会スタート キャリアセンター主催 10月22日

◎大学文書史料室の震災30年特別展始まる 百年記念館で 10月24日

きく異なる 10月25日

◎あの頃の景色再び 第18回ホームカミングデー 10月26日

◎理工系就職ガイダンス開始 26年卒対象に工・理・農学部同窓会主催 10月28日

◎男子ラクロス 22年ぶり関西連覇果たす 11月4日

◎秋晴れのなか六甲祭開幕 六甲台に笑顔 11月9日

◎壺井達也、GPシリーズ初の表彰台 NHK杯3位 11月9日

◎藤澤正人・現学長が次期学長予定者に 11月12日

◎第300回迎えた都市安全研オープンゼミナール 11月16日

◎ニュースネット震災30年写真展始まる 鶴1で 11月21日

◎兵庫県知事選 前尼崎市長の稲村氏(平10法修)は13万票余差で及ばず 11月17日



みなさんのサークル・部活OB会の周年事業、ゼミ同期会など、神戸大学関連の情報をお寄せください。メールは

newsnet_kobe_u@goo.jp へ。

最新のニュースや速報はX(旧ツイッター)@newsnet_kobe_u)で、詳しくはサイト(<https://kobe-u-newsnet.com>)をご覧ください。

(神戸大学ニュースネット委員会OB会)



飛 び 立 っ
オ オ タ カ
球 = 郎

名古屋凌霜ゴルフ会

▽:第241回例会:△

とき 10月18日(金)

ところ 貞宝CC

参加者 11名

今回も最高齢84歳の方も参加され元気に安全に開催しました。また63歳の新人?も新しく参加いただきましたが、もともと増やしたいと考えていますので愛知県の方々、下記幹事メール宛へ是非申し込みをお願いします。

次回は、2025年4月17日(木)、貞宝CCです。

成績

優勝	矢佐 俊幸 (45営)	91	G
2位	宮里 宣哲 (45法)	98	N
3位	新井 範彦 (53営)	102	
		76.8	



その他の参加者

飯 武明 (38経)、久保敏英 (43法)、中尾益大 (46営)、阿部哲男 (46経)、前川眞基 (48経)、藤縄康通 (53経)、小林義弘 (53経)、原口栄二郎 (58経)
(新井範彦)

茨木凌霜会

▽:9月7K会:△

とき 9月22日(日)

ところ 茨木CC東西コース

毎年恒例の7K会(Kがイニシャルに付く7大学対抗戦)に茨木凌霜会として参加しました。当日は、あいにくの大雨で8名参加予定が5名の参加に。

各大学とも参加者が少なくなつてしまい、対抗戦は来年に持ち越しとなりました。60名近くの参加者のもと、雨の中でのプレーとなりましたが、楽しい交流会となりました。

成績

第6位	岩波 嘉信 (平16営)	87	G
第11位	藤田 周史 (平14医)	85	N
第17位	澤 秀司 (昭50理)	102	
		77	

第34位 湯ノ谷英生 (昭47営) 98 81
第44位 牧 恭彦 (昭63医) 104 83

(岩波嘉信)

廣野如水凌霜KUC会

▽：第204回例会：△

(第228回廣野凌霜会)

とき 7月13日 (土)

当初予定の6月23日が警報級の悪天候のため、この日に振替え開催した。

村津さんがパープレーで優勝、角元さんご寄贈の23年度取り切り賞と橋本(覚)さんご寄贈の24年度賞と併せ受賞されました。

今回は10月12日 (土) です。

成績

優勝	村津 敬介 (ゲスト)	G	H	N
2位	宮本 知治 (61工)	91	19	72
3位	佐藤 潤 (平1理博)	101	26	75
4位	戸田 宏 (38経)	94	16	78
その他の参加者		95	17	78

角元敬治 (60法)、山本亮三 (53営・ゲスト)

▽：第205回例会：△

(第229廣野凌霜会)

とき 10月12日 (土)

倶楽部選手権開催中のコース設定に9

人がチャレンジし、宮本さんが28ポイントで優勝、橋本覚さんご寄贈の24年度賞と併せ受賞されました (内規による繰り上げ)。

今回は、12月28日 (土) です。

成績

優勝	宮本 知治 (61工)	H	P
2位	村津 敬介 (ゲスト)	24	28
3位	橋本 一豊 (31経)	19	29
4位	佐藤 潤 (平1理博)	48	24
その他の参加者		16	23

西原興一郎 (40海)、和氣弘典 (平3経)、
枘本守生 (如水)、山本礼二郎 (如水)、
山本亮三 (53営・ゲスト)

(佐藤 潤)

芦屋凌霜KUC会

▽：第393回：△

とき 9月21日 (土)

11名の参加を得て開催。蒸し暑いながらも太陽の照りつけがなく、ほどよい夏場 (9月ですが!) のゴルフになりました。山村さんが優勝、夏はスタミナが心配とのことでしたが、無理をせず打ちつ

西宮高原ゴルフ倶楽部KUC

▽：第42回競技会：△

とき 10月14日 (月・祝)

ところ 西宮高原ゴルフ倶楽部

朝から快晴。当コースは海拔400m前後あり、気温が下界より1〜2度低いとはいえ、午後はまだ夏でした。

次回第43回は、12月1日 (日) の予定。

成績

優勝	高田 正三 (56医)	G	H	N
2位	戎野 正洋 (53工)	98	29	69
3位	北条 悦子	92	22	70
4位	堀 和博 (44経)	98	27	71
その他の参加者 (成績順)		89	14	75

久野久榮、清水洋二 (48営)、小山保和 (42営)、畑 善太 (52経)、後藤 謙 (36海)、宮崎教嘉 (平6営)、北条念郎 (46工院)

(酒井國男)

ないだおかげでスコアがまとまったとのこと。

成績

G N

優勝 山村 武平 (47医)

109 67

第2位 大井 静雄 (48医)

101 70

第3位 佐藤 稔 (45法)

92 74

その他の参加者

工藤雅和 (49工)、尾崎 馨 (37医)、高

松良一 (53理)、南 昌作 (平10法)、大

原八十八 (34営)、藤盛孝博 (49医)、田

野美雄 (54経) 石川光一 (51工)

▽:第394回:△

とき 10月19日 (土)

当初12名参加予定でしたが、スタート前から雨が降り始め、これから強くなるとの予報が出たため6名での競技となりました。途中雨が激しく降り、濃霧も発生し視界がまったくなくなり午前中で終了。優勝は住本さん。9月の「敬老の日杯」で3位に入って調子を上げ、今日も雨とガスのなか乱れることなく真ん中ショットで実力を実証された。

成績 (ハーフ・SF制)

G P

優勝 住本 泰三 (35海) 51 16

第2位 佐藤 稔 (45法) 50 13
第3位 小嶋 弘行 (46工) 47 12

その他の参加者

大井静雄 (48医)、藤盛孝博 (49医)、尾

崎 馨 (37医)

▽:第395回:△

とき 11月16日 (土)

例会は吉田山会との交流会としておこなわれ、当会7名、吉田山会11名が参加されました。

今回で9回目。団体戦は行なわず表彰もしませんが、励みとしてそれぞれ上位5人の合計を競っています。ネット合計で当会は388、吉田山会は373となり残念ながら敗者となりました (5勝4敗)。

個人戦は、吉田山会の山口孝司さんが強い雨の中、午前午後乱れることなく落ち着いたゴルフで優勝。凌霜KUC会では第2位に佐藤が、第3位に住本さんが入賞し健闘。石川さんは昨年の交流会に続きベスグロです。

成績

G N

優勝 山口 孝司 (吉田山会) 98 71

第2位 佐藤 稔 (45法) 96 72
第3位 住本 泰三 (35船) 101 75

その他のKUC会参加者

石川光一 (51工)、尾崎 馨 (37医)、

保山政廣 (54営)、藤盛孝博 (49医)、大

原八十八 (34営)

(佐藤 稔)

花屋敷KUC会

▽:第258回:△

とき 9月29日 (日)

ところ 花屋敷GCひろのコース
永く続いた猛暑、残暑が流石に10月間近となり、漸く秋の気配を感じながら12名参加で開催。

谷村智佐子さんがネット72のスコアで今年度初優勝。また今年度の花屋敷GC新会員 (法人会員) の澤田博和さん (昭62法) がKUCに入会いただきました。今年1月からゴルフを始めたとのことでしたが、最近毎週ラウンドされているとのこと。

成績

G H N

優勝 谷村智佐子 (平1文) 95 23 72

2位 山根 修治 (50工院) 89 15 74
 3位 玉利 俊彦 (49営) 94 17 77
 その他の参加者 (成績順)

泉谷太一 (29経)、箕輪周一 (平13海)、
 中西兵衛 (57工院)、坂田英洋 (48工)、
 井上 茂 (52営)、泉谷生子、西原 剛
 (平10工)、澤田博和 (62法)、阿部太聞
 (43営)

▽:第259回:△

とき 10月26日 (土)

ところ 花屋敷GCひろのコース

漸く秋が感じられる天候の中、9名の
 参加で開催。ここ数日の朝・昼・夜の気
 温差が大きく、風邪をひいたり、猛暑の
 疲れがどつと出る方もおられるようで、
 健康のありがたさを改めて考えさせられ
 ました。

9月例会3位の玉利氏がネット72のス
 コアで今年度初優勝。

成績

優勝	玉利 俊彦 (49営)	88	G		
2位	田畑 正吾 (平7営)	86	12	16	H
3位	西原 剛 (平10工)	97	20	74	N
その他の参加者 (成績順)					

箕輪周一 (平13海)、古賀征夫 (41営)、
 井上 茂 (52営)、泉谷太一 (29経)、泉
 谷生子、杉本正人 (平3経)

▽:第260回:△

とき 11月17日 (日)

ところ 花屋敷GCひろのコース

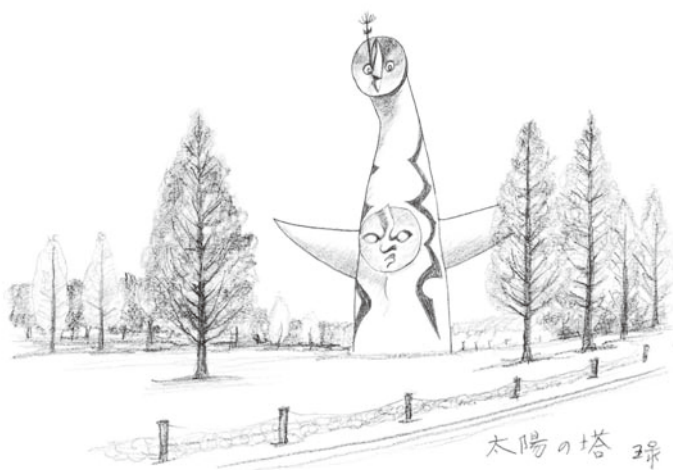
朝7時半頃より小雨が降り始めたが、
 スタートの9時には雨もすっかり止み晴
 れの中、7名が参加。当初参加予定のメ
 ンバー2名が、朝の雨で残念ながらキャ
 ンセルされた。

今会はセルフプレー、古賀征夫氏がグ
 ロス91、ネット72で今年度初優勝。

成績

優勝	古賀 征夫 (41営)	91	G	19	H	72	N
2位	西原 剛 (平10工)	95	19	76			
3位	山根 修治 (50工院)	95	13	82			
その他の参加者 (成績順)							
井上 茂 (52営)、渡辺千佐子、杉本正 人 (平3経)、渡辺 昇 (50法)							

(井上 茂)

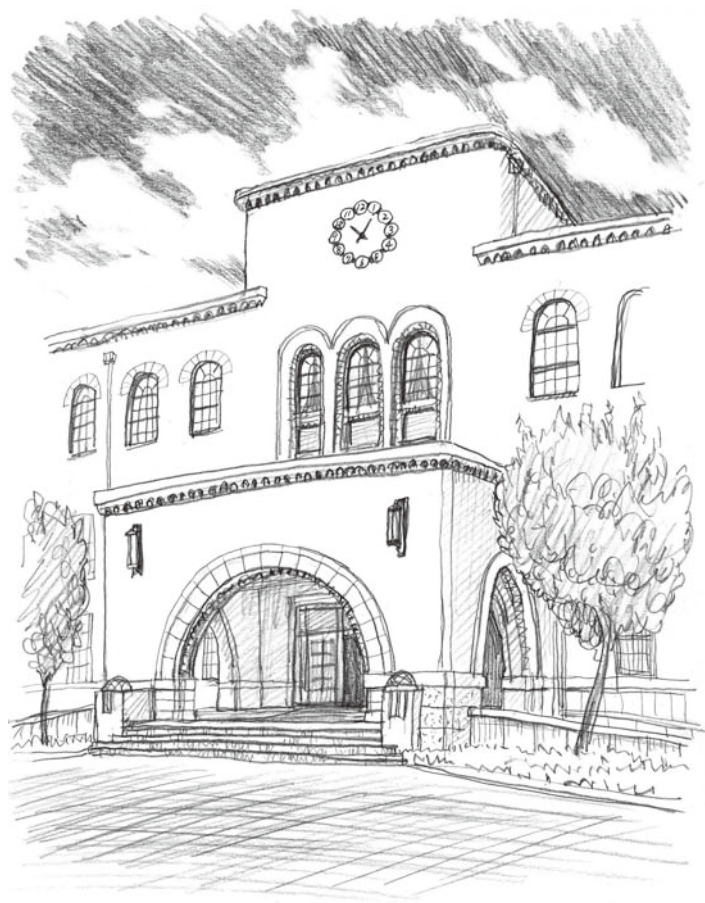


物 故 会 員

坪 井 珍 彦 昭24	令和 6 年 9 月13日	池 永 滉 昭37	令和 6 年 9 月 6 日
辻 川 嘉 彦 昭26	令和 5 年 7 月25日	近 江 清 勝 昭38	令和 6 年 6 月15日
吉 田 富 政 昭26	令和 6 年 6 月17日	春 名 美 典 昭39	令和 6 年 8 月28日
的 場 政 史 昭27	令和 6 年 9 月22日	田 中 從 之 昭40	令和 6 年 8 月18日
和 田 實 昭31	令和 6 年 1 月27日	上 原 隆 弥 昭41	令和 6 年 3 月 5 日
浅 野 定 志 昭31	令和 6 年 4 月 9 日	中 畑 勝 明 昭41	令和 6 年 9 月12日
茂 木 孟 昭34	令和 6 年 9 月16日	小 浜 進 昭43	令和 6 年 6 月23日
徳 田 浩 次 昭35	令和 6 年 9 月29日	藤 原 潤 一 昭46	令和 6 年 5 月25日
奥 村 智加男 昭35	令和 6 年10月21日	八 坂 文 教 昭46	令和 6 年11月 2 日

ご遺族、ご友人、支部、大学本部から連絡のありました会員・元会員のうち、ご遺族のご了承のありました方を掲載しています。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。



六甲台本館 琢

国内支部連絡先 (転勤の際にはご連絡ください)

北海道	060-0061 札幌市中央区南1条西4丁目 南館ビル5階 (株)一光堂 内山晴記(昭50経) haruki.ucym@live.jp
東北	980-0804 仙台市青葉区大町1-3-7 佐々木フミ子(昭61法) funiko-law@crest.ocn.ne.jp
東京	100-0005 千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル地下2階 東京六甲クラブ内 tokyo@roko-club.jp (03-6211-2616)
横浜	236-0003 横浜市金沢区幸浦2-1-15 松田真人(昭60経) m.matsuda@ame-nhkspg.co.jp
浜松	431-0451 湖西市白須賀5739 浜名湖カントリークラブ 藤田正治(昭48経) fujitamasaharu@eagle.ocn.ne.jp
石川	920-0855 金沢市武蔵町1-14 Mビル2F しばた未来法律事務所 柴田未来(平9法) office@shibataniaki.com
富山県	930-8686 富山市牛島町15番1号 北陸電力(株)人事総務部 布見博幸(平19営) hiroism716@gmail.com
福井県	918-8065 福井市水越1-510-1 朝倉真博(昭55法) kapi_shop@yahoo.co.jp
名古屋	461-0018 名古屋市中区主税町2-18 名古屋リーガルオフィス 出田真太郎(昭61経) sideta@n-legal.jp
三重県	510-0812 四日市市西阿倉川1488-1 伊藤久弥(昭58法) i-hisaya@city-net.ne.jp
京滋	520-0867 大津市太平1-24-21 駒井直彦(昭42営) komai1944@gmail.com
大阪	530-0001 大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第一ビル11階 神戸大学大阪クラブ内(06-6345-11150)
奈良県	藤村佳嗣(昭52営) shindai.nara@gmail.com
和歌山	640-8656 和歌山市本町1-35 (株)紀陽銀行人事部 北川剛大(平8営) bob4747bob@ezweb.ne.jp
播磨	浅井良昭(昭61法) asai@usukuchi.com
鳥取県	689-1111 鳥取市若葉台北1-1-1 公立鳥取環境大学 田中洋介(昭57営) yohsukekuni028@gmail.com
島根県	690-0845 松江市西茶町27 大下弘之(平5法) oshimo-hiroyuki@pref.shimane.lg.jp
岡山	713-8115 倉敷市玉島道口4-2-1-1 木下憲明(昭58経) nhk-tamashima@ac.aunone-net.jp
福山	720-0045 福山市宝町6-7 下江正文(昭52法) shimoe2980@docomo.ne.jp
広島	730-8670 広島県安芸郡府中町新地3-1-1 マツダ(株)車両技術部塗装技術グループ 河瀬英一(平16工修) kanase.e@mazda.co.jp
下関	751-0806 下関市一の宮町1-2-1-1903 中島 潔(昭48営) kiyonakashima@nifty.com
香川	760-0027 高松市紺屋町2-6 高松フコク生命ビル 有限責任監査法人トーマン 大石皓平(平28営) kohei.47b@gmail.com
愛媛県	791-8083 松山市新浜町6-6 越智和彦(昭55法) ochimai@gmail.com
徳島	770-0868 徳島市福島1-7-24 (株)西内商店 西内元信(平1工) nishiuti9880@gmail.com
高知県	780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1 (株)四国銀行イノベーション推進部 藤坂 徹(平13経) tourun0617@gmail.com
北九州	806-0021 北九州市八幡区黒崎3-1-7 アースコート黒崎駅前ビル2階 廣瀬公認会計士事務所 廣瀬隆明(昭52営) hirose@kkvc.co.jp
福岡	810-0041 福岡市中央区大名2丁目11-25 新栄ビル501 日下健太(平4経) kenta@kusakacpa.com
熊本県	862-0941 熊本市中央区出水7-42-1 宮崎豊喜(昭42経) toyokim1124@gmail.com
大分	870-0021 大分市府内町3-4-1 (株)大分銀行
宮崎	880-0211 宮崎市佐土原町下田島20304番地50 今村安秀(昭56経) yasui056@leaf.ocn.ne.jp
鹿児島	892-0827 鹿児島市中町11番4号 熊谷ビル4階 弁護士法人鹿児島中央法律事務所 立石隆博(平27法院) (099-216-3644)

支部活動をご投稿ください

編集後記

異様に暑かった夏・秋も過ぎて、ようやくいつもの冬が戻ってきました。六甲台の紅葉も11月の下旬には本格的に色づき始めたように思います。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

年末になりますと、中間試験（小テスト）や期末（またはクォーター末）試験などの準備に取りかからないといけないのですが、このような定期試験でいつも頭を悩ますのが採点作業です。もちろん受講者が多いと多くの答案を採点しなければならず、それ自体が大変なことなのですが、中には非常に判読の困難な文字が綴られている答案が一定の確率で出現し、それがさらなる頭痛の種となるのです。判読困難性は、当該学生の文字の癖に由来することもあるのですが、多くは学生が時間不足のせいで急いで書くあまり、文字が過剰に「泳いで」しまうことで生じます。その必死な姿勢に答えて、こちらも真剣に判読作業に努めるのですが、そのためにどうしても時間がかかってしまいます。

ところで、2026年度の司法試験からパソコンで答案を作成するCBT方式（Computer Based Testing）が始まります。またそれにあわせて、法科大学院の期末試験などもパソコン対応にすることが検討されております。これが実現すれば、少なくとも判読困難な文字の判読作業からは解放されそうです。これが学内の試験一般にまで広がるのかどうかまだ分かりませんが、六甲台キャンパスにもICT化の波が確実に押し寄せてきているようです。

みなさまには、良いお年をお迎えくださいませ。

（編集委員長 法学研究科教授 行澤一人）

投稿規定

次号の原稿締切日は2月10日（必着）、原則、7日以上遅延の原稿は次に回しますので、ご承知おき下さい。発行は4月初旬です。

原稿は簡潔に、人名や固有名詞は明瞭に願います。著者校正希望は、特にその旨を申し出下さい。申し出なき場合は編集部責任校正とします。規定字数は厳守して下さい。規定を超える場合は編集部で割愛しますのでご了承下さい。字数は次のとおり（出席者名、卒年・学部等除く）。

クラス大会 1,000字以内

凌霜ひろば 1,000字以内

支部例会 400字以内

クラス会・各種つどい 〃

追悼文 1,000字以内

本と凌霜人（書評） 600字以内

（著者および評者は会員に限る）

原稿は極力、Eメール添付でお願いします。

E-mail: ryoso@ryosokai.net Fax: (078) 805-3837

編集委員長 行澤一人

編集委員

大住敏之 松尾憲治 清水泰洋

鈴木純 岸本晴夫 西岡慶則

堀口雅一